

# 小中学校の 海洋教育実施状況に関する 全国調査

報告書

2012(平成24)年12月

日本財団  
海洋政策研究財団

## 目次

---

1: アブストラクト .....	1
2: 調査の目的 .....	2
3: 調査の方法 .....	3
1) 質問設計 .....	3
2) 質問送付 .....	3
(1) 教育委員会宛 .....	3
(2) 学校宛 .....	3
3) 回答受付 .....	4
4) 回答の確認 .....	4
5) アンケート原文 .....	4
4: 調査の結果 .....	7
1) 回答の内訳 .....	7
2) 集計結果（シングル） .....	8
(1) 学校のロケーション .....	8
(2) 海洋教育の認知度 .....	10
(3) 海洋教育の実施状況 .....	12
(4) 海洋教育内容の自由記述の有無 .....	14
(5) 体験学習の有無 .....	18
(6) 学校外機関・個人の協力 .....	22
(7) 学校外機関・個人の役割 .....	27
(8) 学校外機関に期待するサポート .....	31
(9) 海洋基本法の認知度 .....	33
(10) 海に関して子どもたちが学ぶべきこと .....	35
(11) 震災による海の学習の重要化 .....	37
(12) 震災によって教えるべきだと思ったこと .....	39
3) 集計結果（クロス） .....	41
(1) 学校のロケーションと海洋教育の認知度 .....	41
(2) 学校のロケーションと海洋教育の実施状況 .....	45
(3) 学校のロケーションと学校外機関に期待するサポート .....	50
(4) 海洋教育の実施状況と海洋教育内容の自由記述の有無 .....	55
(5) 海洋教育の実施状況と体験学習の有無 .....	56
(6) 海洋教育の実施状況と学校外機関・個人の協力 .....	57
(7) 学校外機関・個人の協力と役割 .....	58
(8) 学校外機関・個人の協力とニーズ .....	59
(9) 学校外機関・個人の役割とニーズ .....	62
4) 集計結果（各地域） .....	65
(1) 県別・学校種別回答率 .....	65
(2) 県別の学校のロケーション .....	67
(3) 県別の海洋教育の認知度 .....	68
(4) 県別の海洋教育の実施状況 .....	69

## 1: アブストラクト

---

2013年3月の海洋基本計画の改訂において、「海洋に関する国民の理解の増進と人材育成」に関する記述内容をより具体的なものにすることが、我が国の海洋教育の普及を推進する上で不可欠な条件と考えられる。この実現には、単に見直しを訴えるだけでなく、客観的なデータの分析に基づく具体的かつ網羅的な提案を行うことが重要であるが、その核となる最も基礎的なデータである我が国の海洋教育実施状況については、まだ全く把握されていない。そこで本調査では、全国の国公立及び私立の小学校 21,371 校、中学校 10,639 校を対象にアンケート調査を行った。

アンケートでは主に、海洋教育の実施度とその内容、学校のロケーション・地域による海洋教育の実施度の偏り、海洋教育に対する期待やニーズ、海洋基本法の認知度、東日本大震災による海洋教育への影響等に関して質問をした。

小学校からは 21,371 校中 4,203 校(19.7%)、中学校からは 10,639 校中 2,490 校(23.4%)、合計で 32,010 校中 6,706 校(20.9%)の有効回答が得られた。県別では宮城県が最も回答率が高く 32.4%、大阪府が最も低く 10.6%であった。徒歩 15 分程度で海に行ける学校が 13.0%、逆に電車やバスを使わないと行けない学校が 69.2%であった。県別では徒歩 15 分程度で海に行けると学校の割合が最も高いのは長崎県の 52.1%、逆に電車やバスを使わないと行けない割合が最も高いのは東京都で 86.4%であった。

「海洋教育」という言葉の認知率は 29.2%であった。学校のロケーションによって有意な差があり、徒歩 15 分程度で海に行ける学校の認知度が高かった。海洋教育の実施状況は、教科書の範囲で実施している学校が 62.8%と大部分を占め、総合的な学習の時間で取り組んでいるのは 16.7% (課外活動を含めると 20.0%) であったが、そのうちの半分以上である 10.4%はトピックスの 1 つとしての扱いであった。

総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいる学校のうち、72.0%が体験学習を行い、83.1%が学校外機関・団体と連携していた。学校外機関・個人の役割として最も選択率が高かったのは体験学習用の施設の利用で 50.7%であったが、期待するサポートとして最も選択率が高かったのは外部講師で 49.5%であった。期待するサポートは、学校のロケーションにより有意な差があり、外部講師と共同開発は、徒歩 15 分程度の場合は有用だと考えられ、体験学習プログラムは、電車やバスの場合に有用だと考えられる傾向にあった。また、期待するサポートは、学校外機関との連携状況によっても有意な差があった。

海洋基本法の認知度は 23.9%で、第 28 条について知っているのはわずか 4.3%であった。海に関して子どもたちが学ぶべきこととして選択率が高かったのは海の環境に関する内容で 60.9%であった。東日本大震災によって、海の学習が大切だと考えるようになったと回答したのは 83.2%であった。

## 2: 調査の目的

---

海洋基本法が制定されて5年、我が国の海洋政策は海洋基本計画が示した12の柱に沿って進められているが、その柱の一つである「12) 海洋に関する国民の理解の増進と人材育成」については、特に初等中等教育における海洋教育の現状を見る限り十分な実践が進んでいるとは言い難い状況にある。その理由の一つとして、海洋基本計画では「学校教育においては、海洋基本法等の趣旨を踏まえて早急に高等学校の教科「水産」の学習指導要領の見直しを行うとともに、現場実習等を通じた実践的な教育を推進するほか、高等学校の実習船等の整備を推進する。さらに、小学校、中学校及び高等学校の社会や理科等において海洋に関する教育が適切に行われるよう努めるほか、海洋に関する教育の実践事例の提供を図るなど海洋教育の普及促進に努める。」と記載されるのみで漠然としており、政策的指針として具体的な方法や内容が明示されていないことが挙げられる。

一方、海洋基本計画はその策定から5年が経過する2013年3月に改訂時期を迎え、その内容については見直しが予定されている。この機を捉え、「海洋に関する国民の理解の増進と人材育成」に関する記述内容をより具体化したものへと改めることは、我が国の海洋教育の普及を推進する上で不可欠な条件と位置づけられる。この実現には、単に見直しを訴えるだけでなく、客観的なデータの分析に基づく具体的かつ網羅的な提案を行うことが重要であり、特に民間の海洋専門研究機関にはその役割が求められよう。

しかしながら、提言の核となる最も基礎的なデータである我が国の海洋教育実施状況について、これまで全国規模で調査された例がなくその実態は全く把握されていない。海洋教育の普及推進を具体化させるためにはこの調査が不可欠であり、また海洋基本計画改訂までの時間を考えれば、早急な対応が必要となっている。

そこで本調査では、全国の小中学校を対象に、学校教育における海洋に関する教育活動の実施状況調査を行い、統計資料として有効と考えられる小中学校各1000校（計2000校程度）のサンプルデータを収集し、分析・取りまとめののち一般に公表するとともに、提言の基礎データとして活用することを目指す。

### 3: 調査の方法

我が国の海洋教育実施状況に関する基礎データを収集するため、全国の国公立及び私立の小学校 21,371 校、中学校 10,639 校を対象にアンケート調査を行った。

#### 1) 質問設計

教員の回答にかけることができる時間やアンケートの送付・回収・入力のコストを考えると、アンケートの分量は A4 用紙 2 枚程度が適切であると考えられたため、まずはこのアンケートを通して知りたいことを以下のように絞り、それぞれについてなるべく分かりやすく簡潔な問いとなるよう配慮しながら設問を作成していった。

- ・海洋教育の実施度とその内容
- ・学校のロケーション、地域による海洋教育の実施度の偏り
- ・海洋教育に対する期待やニーズ
- ・海洋基本法の認知度
- ・東日本大震災による海洋教育への影響

海洋教育を実施しているかどうかは、教科書の範囲内で扱っているのか、総合的な学習の時間で扱っているのかによって大きな違いがあるため、単に実施しているかどうかだけを質問するのではなく、どのように実施しているかを質問した。また、その際に、学校外の支援機関の利用についても質問した。学校のロケーションは、海からの距離そのものよりも、どの程度海に行きやすいと考えているかどうかを質問した。子どもたちが海について学ぶべき内容を問う設問の選択肢として、「21 世紀の海洋教育に関するグランドデザイン（高等学校編）～海洋教育におけるコンピテンシーと内容領域、及び学習事例～」(海洋政策研究財団、2011 年 7 月)における内容領域の学習課題を参考とした。

#### 2) 質問送付

質問票と回答の送付に係る費用や、時間の制約などを考慮し、質問の送信、回答の受取ともに FAX で行うこととした。なお、小中学校へ質問票を送付する前に、各自自治体の教育委員会宛にアンケートを行う旨の周知を、以下の様な内容で行った。

##### (1) 教育委員会宛

- 送付方法： 普通郵便
- 送付数：
- 封筒： 長 3 茶色クラフト封筒
- 差出人名： スタンプ押印
- 同封物： 挨拶状、アンケート用紙（2 枚 1 組）
- 発送日： 3 月 5 日 19 時頃に新宿郵便局に持ち込み

その後、全国の小中学校 31,165 校へ以下の様な内容でアンケートの FAX 送信を行った。

##### (2) 学校宛

- 送付方法： FAX（自動配信サービスを利用）
- 送付数： 31,165 校

送付書類：	挨拶状、アンケート用紙（2枚1組）		
送信日：	3月7日 07:30	首都圏	8,116件
	3月8日 10:00	東海地方	3,367件
	3月8日 12:00	信越・北陸地方	2,216件
	3月8日 14:00	近畿地方	4,116件
	3月8日 16:00	東北地方	3,189件
	3月9日 10:00	中国地方	2,401件
	3月9日 12:00	四国地方	1,349件
	3月9日 14:00	九州地方	4,184件
	3月9日 16:00	北海道・沖縄地方	2,227件

当初1日1回10,000件程度を送信予定であったが、直後に回答を頂けるケースが想定よりも多く、受信回線が混雑したため、翌日から2時間ごとの送信に変更した。

### 3) 回答受付

回答はNTTひかり電話のFAXサービスを利用して受信した（話し中や、通信規格の問題で受信できなかった場合は、通常のFAX機に誘導）。受診結果の概算（重複や白紙受信などがあるため概算値となっている）は以下の通りであった。

図表1：回答受付状況

3月07日(水)	544件	3月20日(祝)	55件
3月08日(木)	776件	3月21日(水)	464件
3月09日(金)	993件	3月22日(木)	146件
3月10日(土)	178件	3月23日(金)	90件
3月11日(日)	122件	3月24日(土)	17件
3月12日(月)	1,051件	3月25日(日)	6件
3月13日(火)	784件	3月26日(月)	35件
3月14日(水)	556件	3月27日(火)	17件
3月15日(木)	358件	3月28日(水)	13件
3月16日(金)	265件	3月29日(木)	11件
3月17日(土)	53件	3月30日(金)	11件
3月18日(日)	56件	3月31日(土)	4件
3月19日(月)	352件		
合計		6,957件	

### 4) 回答の確認

学校名や送信元FAX番号などから回答学校を特定し、重複して回答のあった学校については回答内容を照合し、日付の新しいものを採用した。また、白紙を受信した場合（裏返してFAX送信）や、2枚中1枚のみ受信した場合などは、FAXにて再度の送信を依頼した。その結果、最終的な受付数は6,706校となった。

### 5) アンケート原文

送付したアンケートの原文を次ページに掲載する。

## 【海洋教育に関するアンケート】

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、10分ほどお時間を頂きまして、ご回答と、FAXでの返信にご協力下さい。

氏名	<input type="text"/>	役職・担当学年	<input type="text"/>	担当教科	<input type="text"/>
所属学校名	<input type="text"/>	学校住所	<input type="text"/>		

- 質問 1：児童生徒を連れて、あなたの勤務する学校から海まで行こうとすると、どの程度かかりますか？  
以下より最も近い選択肢の番号に○をつけてください。

- |                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 徒歩 15 分程度で、いつでも行くことができる。<br>2. 徒歩 30 分～1 時間程度で到着するので、半日～1 日程度の日程で行くことができる。<br>3. 電車やバスを使わないと行くことができない。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- 質問 2：あなたは、「海洋教育」という言葉を知っていましたか？  
当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

1.はい	2.いいえ
------	-------

- 質問 3：あなたの勤務する学校は、以下のどれに最も近いですか？  
最も近い選択肢の番号に○をつけてください。

- |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 海に関する教育や活動は行っていない。<br>2. 海に関しては教科書に載っている範囲の内容について教えている。<br>3. 総合的な学習の時間で、「海そのもの」あるいは「海に関わるもの(生物や仕事など)」をメインテーマとした学習を行っている。<br>4. 総合的な学習の時間で、メインテーマとしてではないが、「海に関わるもの」を取り上げたり学習したりしている。<br>5. 教科と総合的な学習の時間を連携させるなどして、海洋教育を重視している。<br>6. 教育課程外で海に関する活動を行っている。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- 質問 3-2：質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。  
その海に関する学習や活動は、どのような内容の学習ですか？

対象学年：	年生	時数：	時間
概要：			

※複数ある場合は、別紙にお書きください。

- 質問 3-3：質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。  
その海に関する学習において、体験学習(臨海学校、漁村体験、磯の調査等)を行なっていますか？  
当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。またそれはどのような体験学習ですか？

体験学習の有無：	1.行なっている	2.行なっていない
概要：		

※複数ある場合は、別紙にお書きください。

■質問 3-4：質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。

その海に関する学習において、学校外の機関や個人の協力を得て実施していますか？  
連携している学校外の機関をすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 大学や研究機関	4. 財団法人等の公益機関	6. その他⇒	
2. 水族館等の博物館	5. 市民団体やNPO等	7. 連携なし	
3. 漁業協同組合等の漁業関連団体			

■質問 3-5：質問 3-4 でいずれかの学校外機関を選択した方にお聞きします。

その海に関する学習における学校外機関の役割に当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 教材や副読本の提供	4. 体験学習用の機材の提供	6. その他⇒	
2. 外部講師の派遣	5. 体験学習用の施設の利用		
3. 施設見学と解説の対応			

■質問 4：学校外機関からどのようなサポートを受けることができれば、あなたの学校の海に関する学習がさらに充実する、あるいは、あなたの学校でも海に関する学習に取り組めるようになると思いますか？ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

1. 教材の提供	6. 専用施設での体験学習プログラムの提供	
2. 外部講師	7. 授業の共同開発	
3. 施設での解説	8. その他⇒	
4. 海の学習のトータルな提案	9. 特に無い	
5. 海に関する学習を集めた事例集やwebサイトでの情報発信		

■質問 5：あなたは海洋基本法についてご存知ですか？

ご自身のお考えに近い選択肢を1つ選んで、番号に○をつけて下さい。

1. 海洋基本法において、「学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進」が掲げられていることを知っている。
2. 海洋基本法の存在を知っている。
3. 海洋基本法は知らない。

■質問 6：小中学校において、子どもたちが海に関してどのようなことをもっと学ぶべきだと思いますか？

ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

1. 現在の教科書に掲載されている内容で充分	9. 海の環境に関する内容	
2. 海と私たちの生活の関連性に関する内容	10. 海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	
3. 海の災害や防災に関する内容	11. 海に関する産業など経済活動に関する内容	
4. 海での観光やレジャー・スポーツに関する内容	12. 海の管理に関する内容	
5. 海に関連した文化や芸術に関する内容	13. 海に関係した国際的な取り組みに関する内容	
6. 海にまつわる歴史に関する内容	14. 海の体験学習(臨海学校、漁村体験、磯のフィールド調査)など	
7. 海や地球の仕組みに関する内容	15. その他⇒	
8. 海に生きる生物に関する内容	16. 特に無い	

■質問 7：あなたは、東日本大震災によって、「海」を知る事や学ぶ事がより大切だと考えるようになりましたか？当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

1.はい      2.いいえ

■質問 7-2：質問 7 で「1.はい」を選択した方にお聞きします。

具体的にどのようなことを教えるべきだと思うようになりましたか？

--

以上、ご協力ありがとうございました。誠に恐れ入りますがこのアンケート用紙(2枚)を3月21日(水)までにFAXにてご返信下さい。

FAX:03-6276-4277

管理 No. FX



## 4: 調査の結果

### 1) 回答の内訳

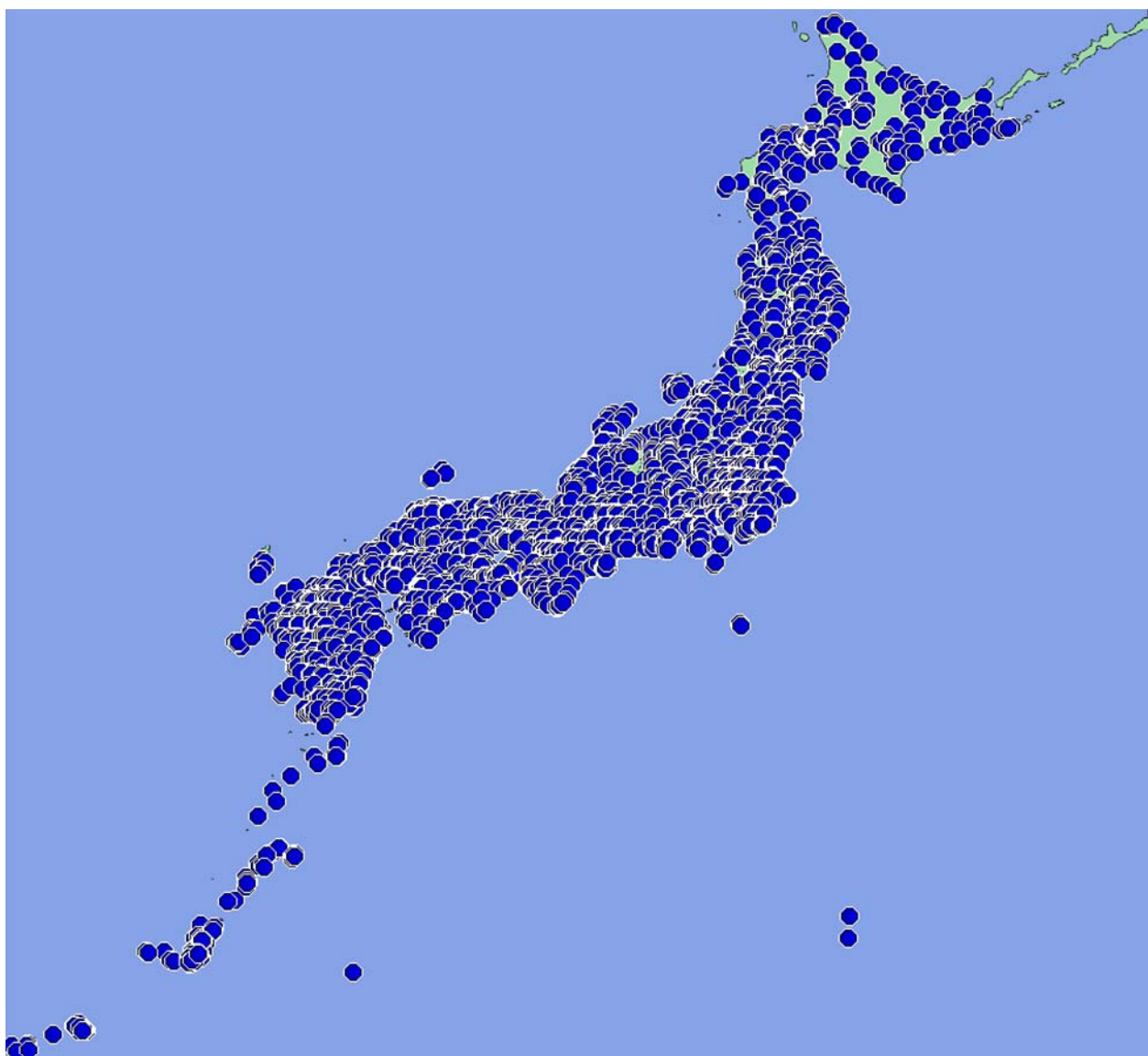
小学校からは 21,371 校中 4,203 校(19.7%)、中学校からは 10,639 校中 2,490 校(23.4%)、合計で 32,010 校中 6,706 校(20.9%)の回答が得られた。

図表 2 : 学校種別の回答校数

学校種別	回答数(校)	学校数(校)	回答率(%)
小学校	4,203	21,371	19.7
中学校	2,490	10,639	23.4
小中学校	13	-	-
計	6,706	32,010	20.9

回答が得られた学校を地図上にプロットすると、以下のようになり、概ね全国からバラつきなく回答を得られた。また、臨海部だけでなく、山間部の学校からも多くの回答が得られた。

図表 3 : 回答校の分布図



## 2) 集計結果 (シングル)

### (1) 学校のロケーション

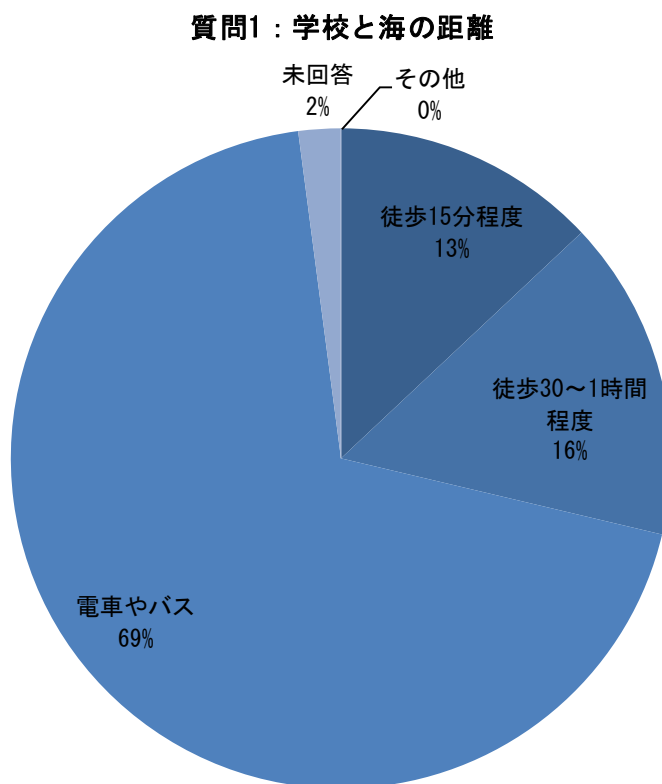
■質問 1：児童生徒を連れて、あなたの勤務する学校から海まで行こうとすると、どの程度かかりますか？  
以下より最も近い選択肢の番号に○をつけてください。

1. 徒歩 15 分程度で、いつでも行くことができる。
2. 徒歩 30 分～1 時間程度で到着するので、半日～1 日程度の日程で行くことができる。
3. 電車やバスを使わないと行くことができない。

学校から海までどの程度で行けるかを質問したところ、徒歩 15 分程度で海に行ける学校は、全体の 13.0% であった。逆に電車やバスを使わないと行けない学校は 69.2%であった。このことから、臨海部だけでなく、山間部の学校からも回答を得たことが分かる。

図表 4：学校と海との距離

質問1：学校と海の距離	度数(校)	割合 (%)
1 徒歩15分程度	872	13.0
2 徒歩30～1時間程度	1,053	15.7
3 電車やバス	4,642	69.2
未回答	139	2.1
その他	0	0.0
計	6,706	100.0



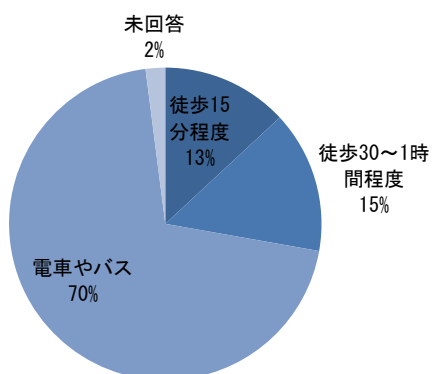
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 5：学校種別の学校と海との距離

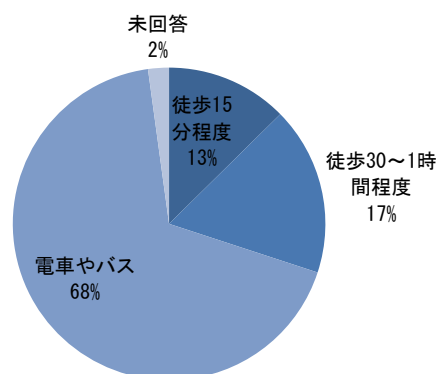
		質問1：学校と海との距離				計
		1 徒歩 分程 度 15	2 徒歩 程 度 1時 30分 程度	3 電車 や バス	4 未 回 答	
種 別	1 小学校	550 13.1	618 14.7	2,950 70.2	85 2.0	4,203
	2 中学校	314 12.6	434 17.4	1,688 67.8	54 2.2	2,490
計		864 12.9	1,052 15.7	4,638 69.3	139 2.1	6,693

※下段の数字は%

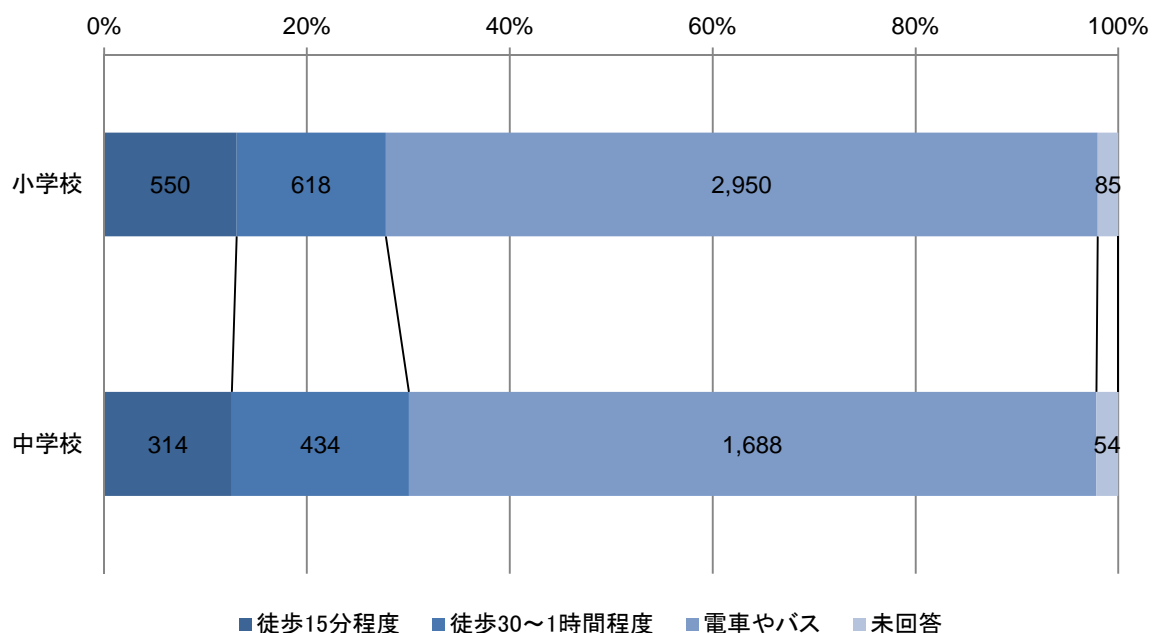
小学校(4,203校)から  
海まで行くのに必要な時間



中学校(2,490校)から  
海まで行くのに必要な時間



学校種別の海まで行くのに必要な時間



## (2) 海洋教育の認知度

■質問 2：あなたは、「海洋教育」という言葉を知っていましたか？  
当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

1.はい

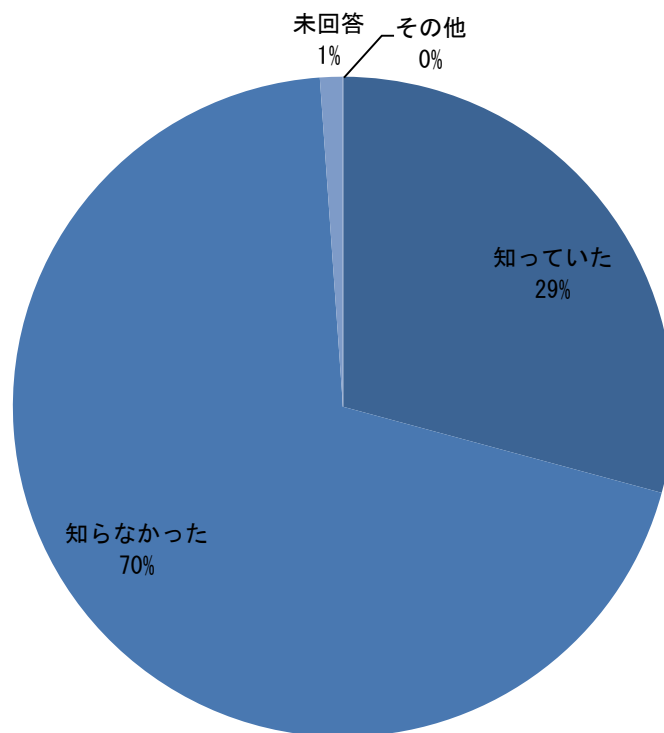
2.いいえ

海洋教育という言葉を知っているかどうかを質問したところ、知っていると回答したのは 29.2%であった。この割合は、「2-1. 学校のロケーション」において、徒歩 1 時間以内で海に行けると回答した学校の割合とほぼ同じであった（詳しい相関は「3-1. 学校のロケーションと海洋教育の認知度」を参照）。

図表 6：海洋教育という言葉の認知度

質問2：ワード「海洋教育」の認知度	度数(校)	割合(%)
1 知っていた	1,958	29.2
2 知らなかった	4,673	69.7
未回答	75	1.1
その他	0	0.0
計	6,706	100.0

質問2：ワード「海洋教育」の認知度



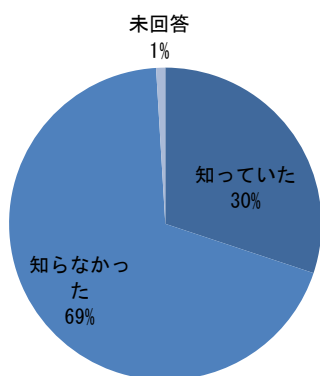
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表7：学校種別の海洋教育という言葉の認知度

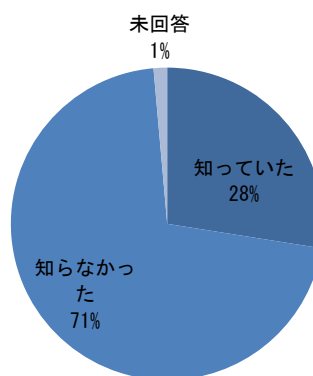
		質問2：海洋教育の認知度			計
		1 知 っ た て い	2 か 知 っ ら な か つ た	3 未 回 答	
種 別	1 小学校	1,266 30.1	2,897 68.9	40 1.0	4,203
	2 中学校	685 27.5	1,770 71.1	35 1.4	2,490
計		1,951 29.1	4,667 69.7	75 1.1	6,693

※下段の数字は%

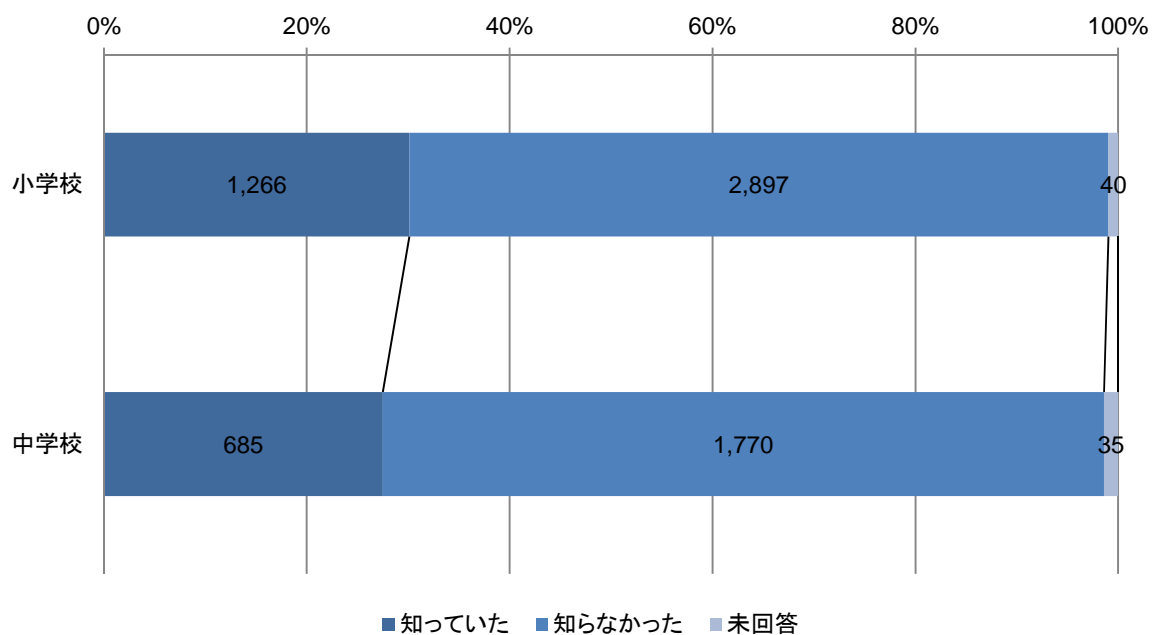
小学校(4,203校)の  
海洋教育の認知度



中学校(2,490校)の  
海洋教育の認知度



学校種別と海洋教育の認知度



### (3) 海洋教育の実施状況

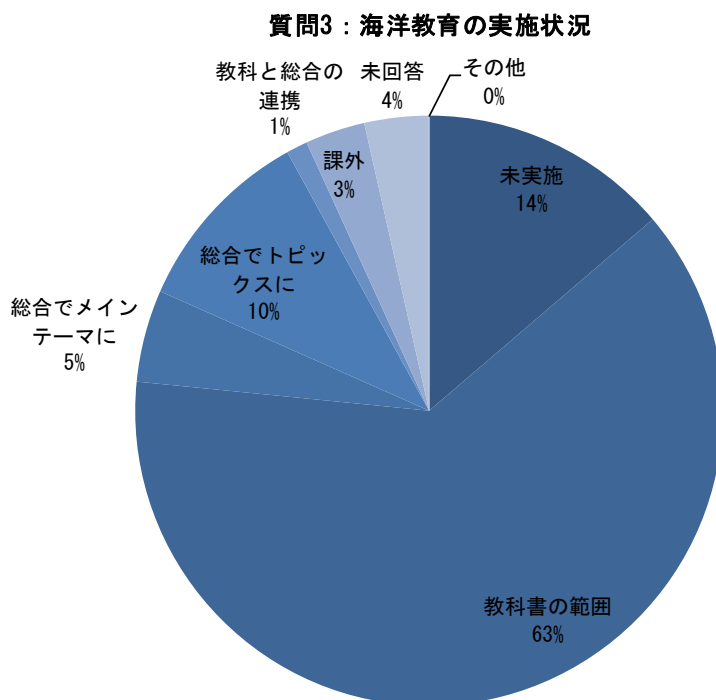
■質問3：あなたの勤務する学校は、以下のどれに最も近いですか？  
最も近い選択肢の番号に○をつけてください。

1. 海に関する教育や活動は行なっていない。
2. 海に関しては教科書に載っている範囲の内容について教えている。
3. 総合的な学習の時間で、「海そのもの」あるいは「海に関わるもの(生物や仕事など)」をメインテーマとした学習を行なっている。
4. 総合的な学習の時間で、メインテーマとしてではないが、「海に関わるもの」を取り上げたり学習したりしている。
5. 教科と総合的な学習の時間を連携させるなどして、海洋教育を重視している。
6. 教育課程外で海に関する活動を行っている。

海洋教育の実践状況を質問したところ、教科書の範囲で実施している学校が 62.8%と大多数であった。未実施と合わせると約 8 割が教科以外の海洋教育には取り組んでいなかった。総合的な学習の時間で海洋教育に取り組んでいる学校は 16.7%（課外活動を合わせると 20.0%）であったが、そのうち 10.4%はトピックスの1つとしてのみの扱いであった。

図表 8：海洋教育の実践状況

質問3：海洋教育の実施状況	度数(校)	割合(%)
1 未実施	922	13.7
2 教科書の範囲	4,213	62.8
3 総合でメインテーマに	340	5.1
4 総合でトピックスに	695	10.4
5 教科と総合の連携	78	1.2
6 課外	221	3.3
未回答	237	3.5
その他	0	0.0
計	6,706	100.0



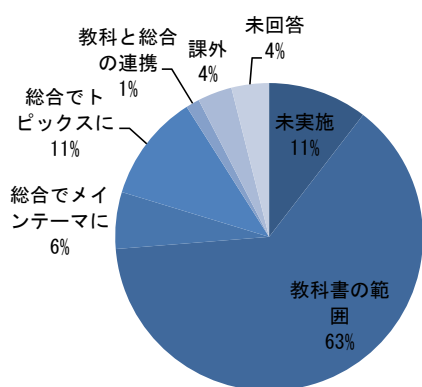
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表9：学校種別の海洋教育の実践状況

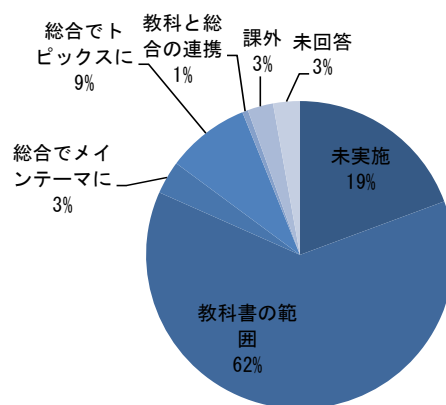
種別	質問3：海洋教育の実践状況							計
	1 未実施	2 教科書の範囲	3 総合でメインテーマ	4 総合でピックアップ	5 教科と総合の連携	6 課外	7 未回答	
1 小学校	439 10.4	2,660 63.3	251 6.0	475 11.3	60 1.4	152 3.6	166 3.9	4,203
2 中学校	482 19.4	1,551 62.3	87 3.5	218 8.8	15 0.6	67 2.7	70 2.8	2,490
計	921 13.8	4,211 62.9	338 5.1	693 10.4	75 1.1	219 3.3	236 3.5	6,693

※下段の数字は%

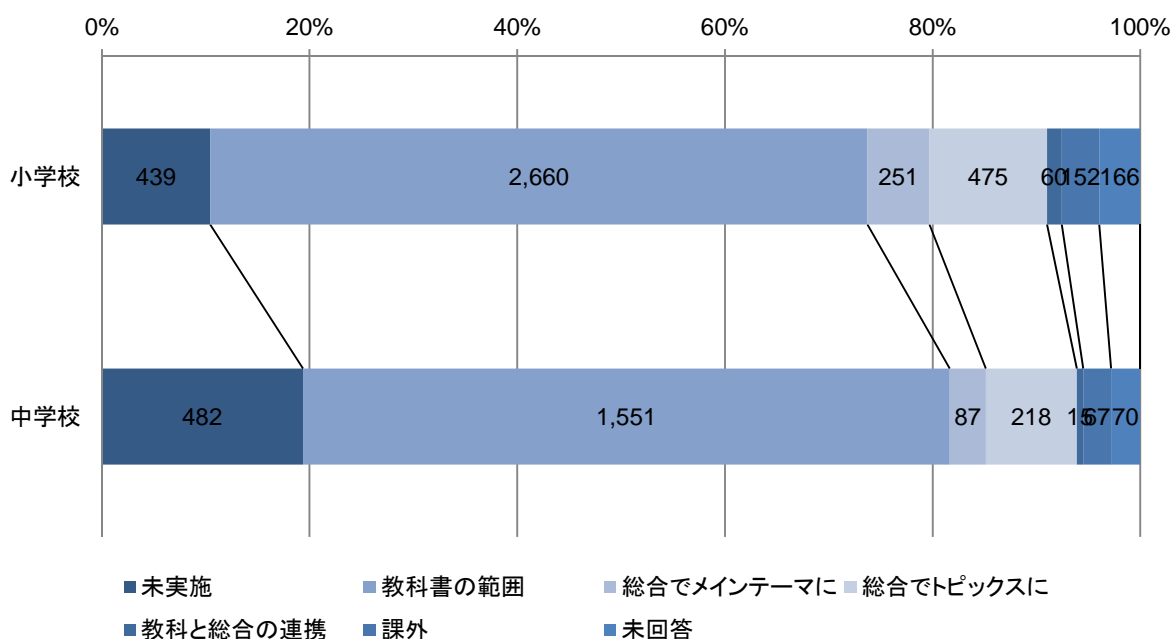
小学校(4,203校)の海洋教育実施状況



中学校(2,490校)の海洋教育実施状況



学校種別の海洋教育実施状況



#### (4) 海洋教育内容の自由記述の有無

■質問3-2：質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。  
その海に関する学習や活動は、どのような内容の学習ですか？

対象学年：	年生	時数：	時間
概要：			

※複数ある場合は、別紙にお書きください。

質問3において総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校(質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校 1,334校)のみに関して、自由記述の有無を集計したところ、98%がその学習の概要を自由記述にて回答した。

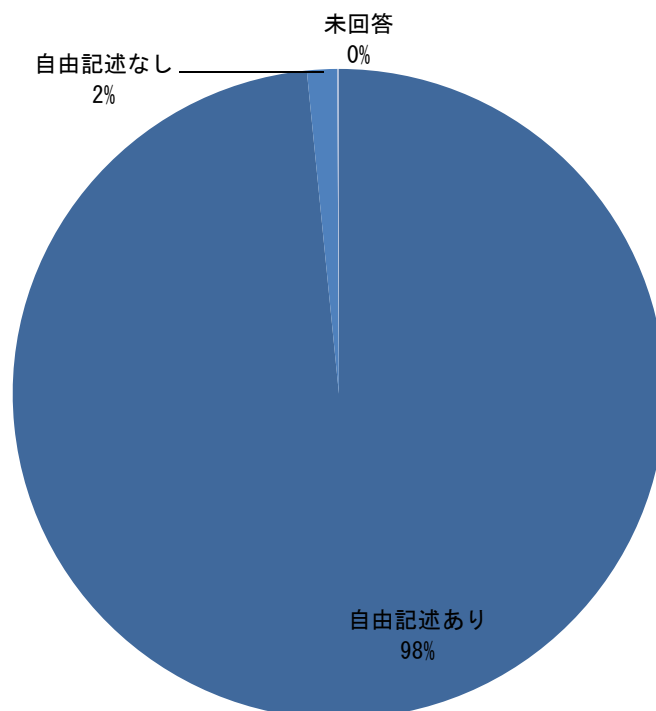
図表10：海洋教育内容の自由記述の有無

質問3-2：学習の概要	自由記述の有無	度数(校)	割合(%)
1	自由記述あり	1,313	98.4
0	自由記述なし	20	1.5
	未回答	1	0.1
計		1,334	100.0

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計

#### 質問3-2：学習の概要 自由記述の有無

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計





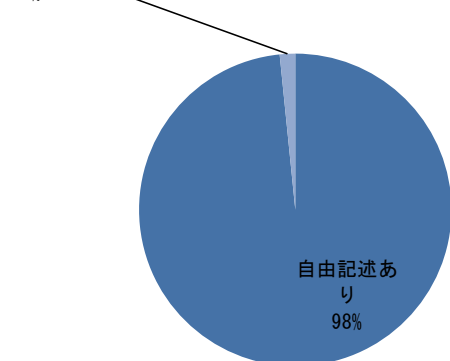
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 11：学校種別の海洋教育内容の自由記述の有無

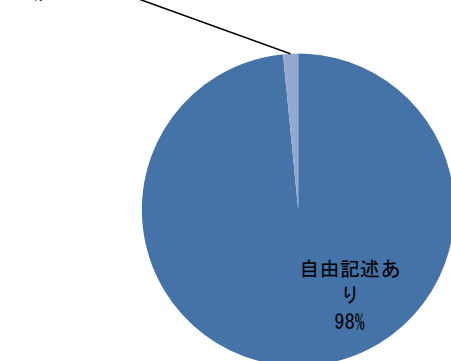
種別	質問3-2：海洋教育内容の自由記述の有無		計
	自由記述あり	自由記述なし	
小学校	923 98.4%	15 1.6%	938
中学校	381 98.4%	6 1.6%	387
計	1,304 98.4%	21 1.6%	1,325

※Q3で3～6と回答した学校のみ集計  
※下段の数字は%

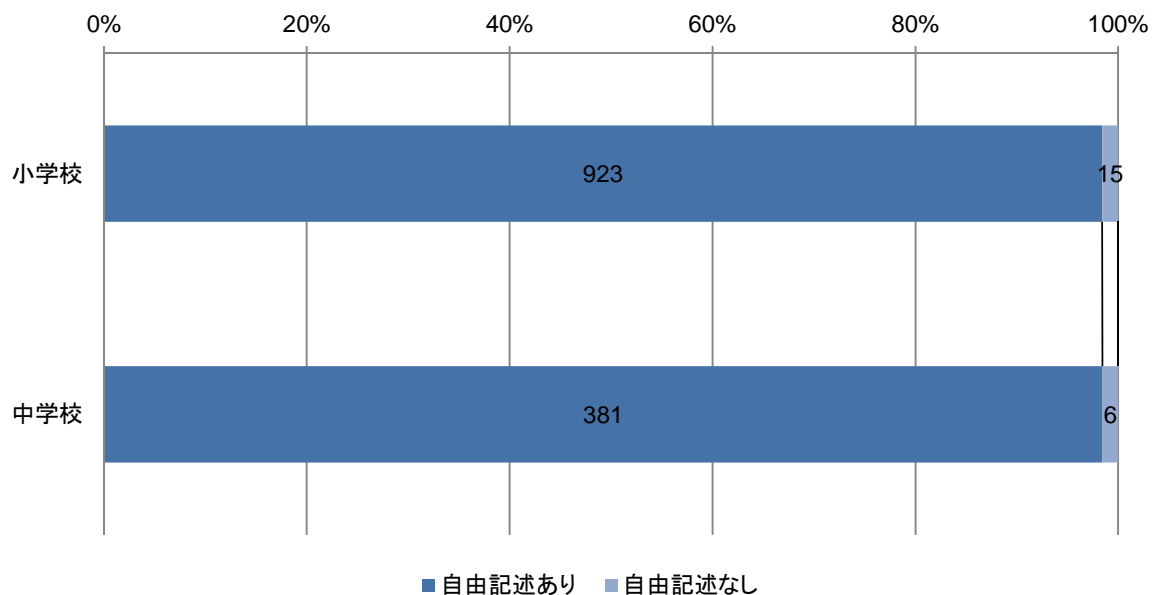
質問3で3～6と回答した小学校(938校)の海洋教育内容の自由記述の有無



質問3で3～6と回答した中学校(387校)の海洋教育内容の自由記述の有無



学校種別と海洋教育内容の自由記述の有無  
(質問3で3～6と回答した学校のみ)

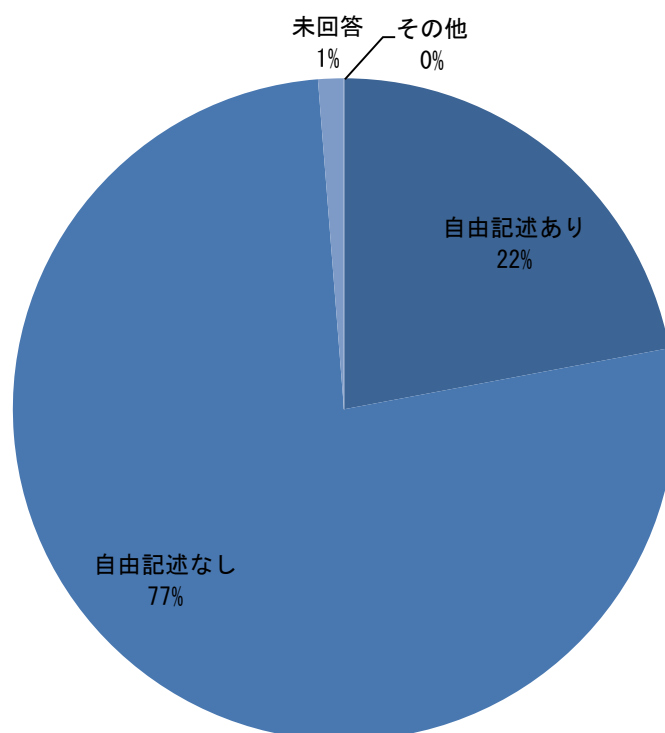


なお、質問 3 の回答にかかわらず、全サンプルを集計した結果は以下の通りであった。

図表 12：海洋教育内容の自由記述の有無（全サンプル）

質問3-2：学習の概要 自由記述の有無	度数(校)	割合(%)
1 自由記述あり	1,478	22.0
0 自由記述なし	5,144	76.7
未回答	84	1.3
その他	0	0.0
計	6,706	100.0

質問3-2：学習の概要 自由記述の有無

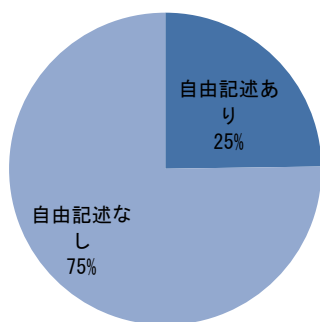


学校種別に集計したところ、以下のようになった。

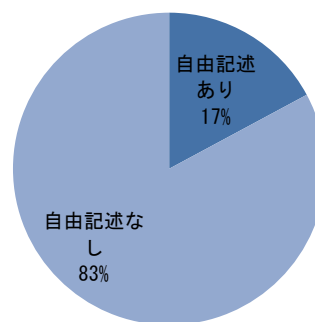
図表 13：学校種別の海洋教育内容の自由記述の有無

種別	質問3-2：海洋教育内容の自由記述の有無		計
	自由記述あり	自由記述なし	
小学校	1,041 24.8	3,162 75.2	4,203
中学校	427 17.1	2,063 82.9	2,490
計	1,468 21.9	5,225 78.1	6,693

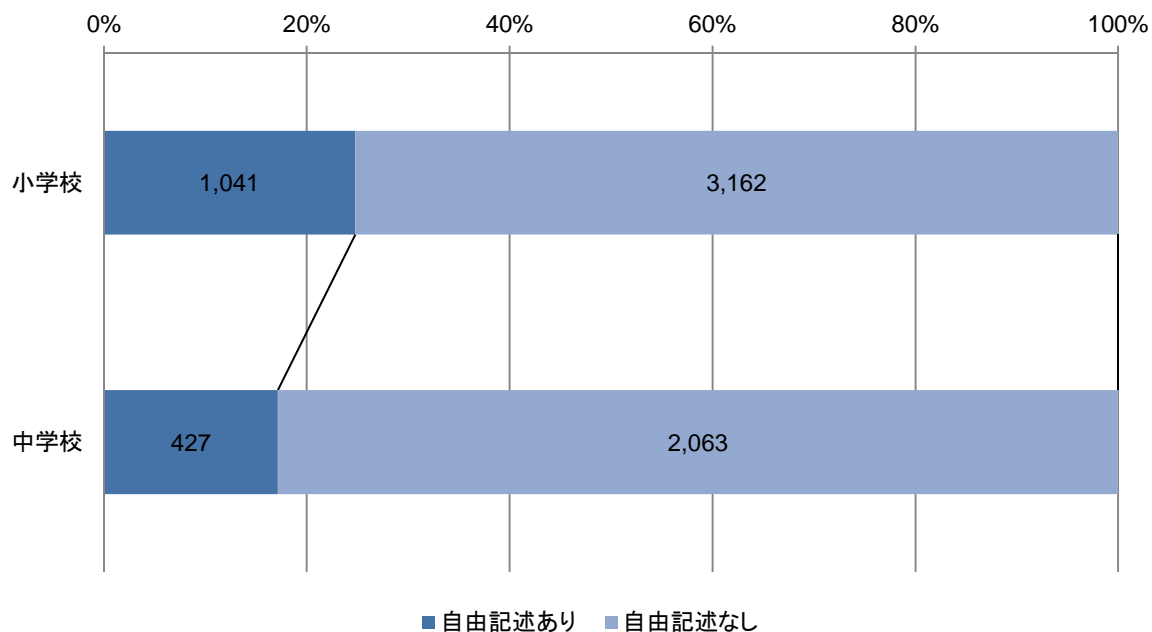
小学校 (4,203校) の海洋教育内容の自由記述の有無



中学校 (2,490校) の海洋教育内容の自由記述の有無



学校種別と海洋教育内容の自由記述の有無



## (5) 体験学習の有無

■質問 3-3 : 質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。  
その海に関する学習において、体験学習(臨海学校、漁村体験、磯の調査等)を行なっていますか？  
当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。またそれはどのような体験学習ですか？

体験学習の有無 :	1.行なっている	2.行なっていない
概要 :		

※複数ある場合は、別紙にお書きください。

質問 3 において総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校(質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択した学校 1,334 校) のみに関して、体験学習の有無を集計したところ、72.0%が体験学習を行なっていると回答した。

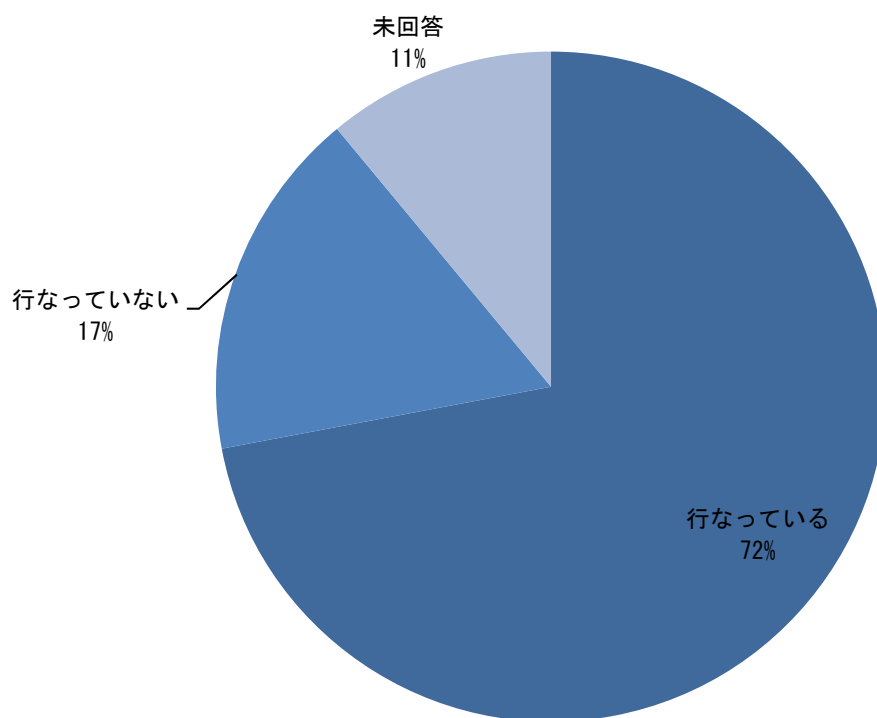
図表 14 : 海洋教育における体験学習の有無

質問3-3 : 体験学習の有無	度数(校)	割合(%)
1 行なっている	961	72.0
2 行なっていない	226	16.9
未回答	147	11.0
計	1,334	100.0

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計

### 質問3-3 : 体験学習の有無

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計



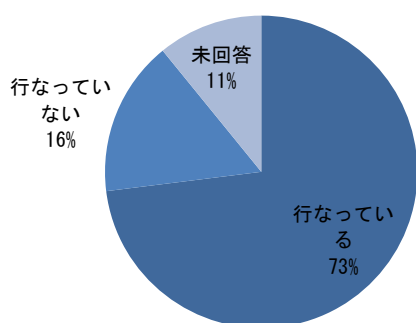
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 15：学校種別の海洋教育における体験学習の有無

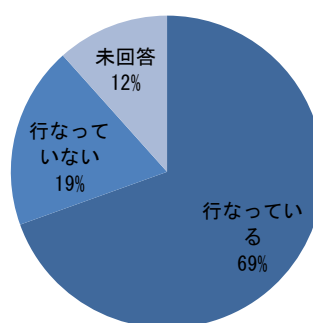
種別	質問3-3：体験学習の有無			計
	行なっている	行なっていない	未回答	
小学校	685 73.0	151 16.1	102 10.9	938
中学校	269 69.5	73 18.9	45 11.6	387
計	954 72.0	224 16.9	147 11.1	1,325

※Q3で3～6と回答した学校のみ集計  
※下段の数字は%

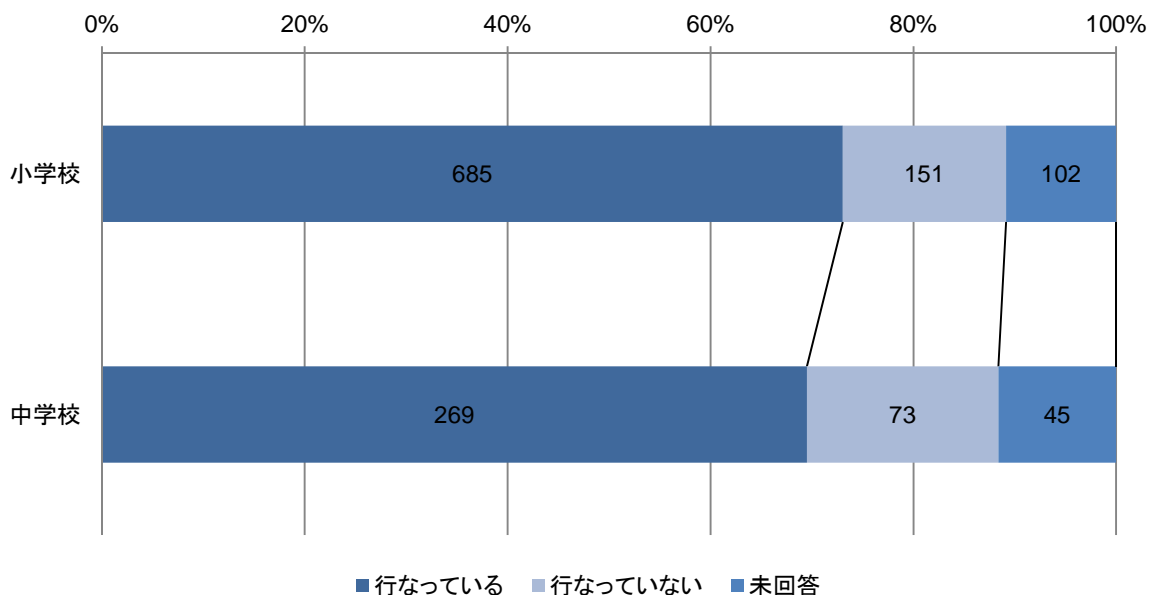
質問3で3～6と回答した小学校(938校)の体験学習の有無



質問3で3～6と回答した中学校(387校)の体験学習の有無



学校種別と体験学習の有無  
(質問3で3～6と回答した学校のみ)

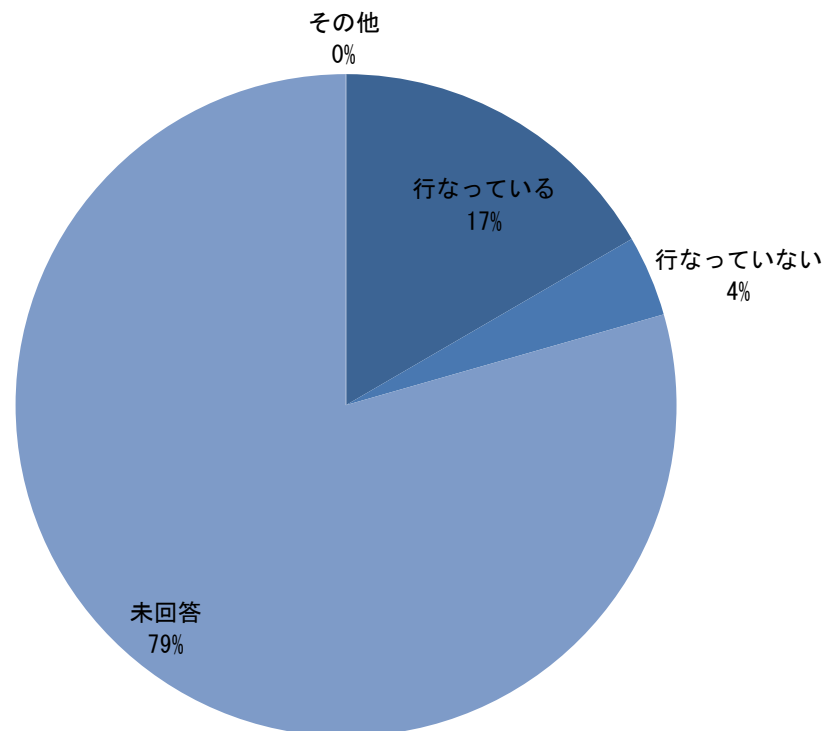


なお、質問3の回答にかかわらず、全サンプルを集計した結果は以下の通りであった。

図表 16：海洋教育における体験学習の有無（全サンプル）

質問3-3：体験学習の有無	度数(校)	割合(%)
1 行なっている	1,115	16.6
2 行なっていない	265	4.0
未回答	5,326	79.4
その他	0	0.0
計	6,706	100.0

質問3-3：体験学習の有無



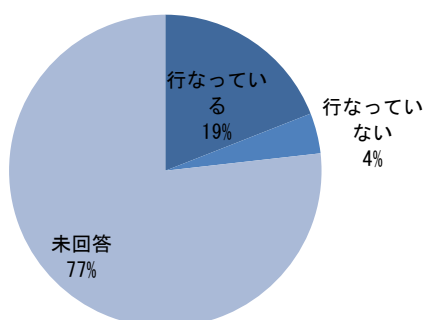
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 17：学校種別の海洋教育における体験学習の有無（全サンプル）

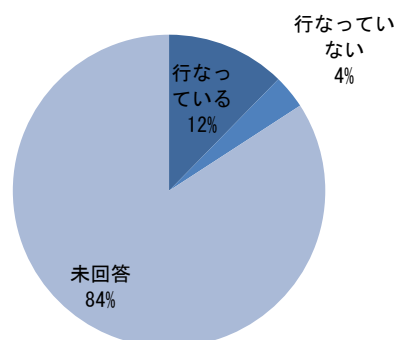
種別	質問3-3：体験学習の有無			計
	行なっている	行なっていない	未回答	
小学校	800 19.0	176 4.2	3,227 76.8	4,203
中学校	307 12.3	87 3.5	2,096 84.2	2,490
計	1,107 16.5	263 3.9	5,323 79.5	6,693

※下段の数字は%

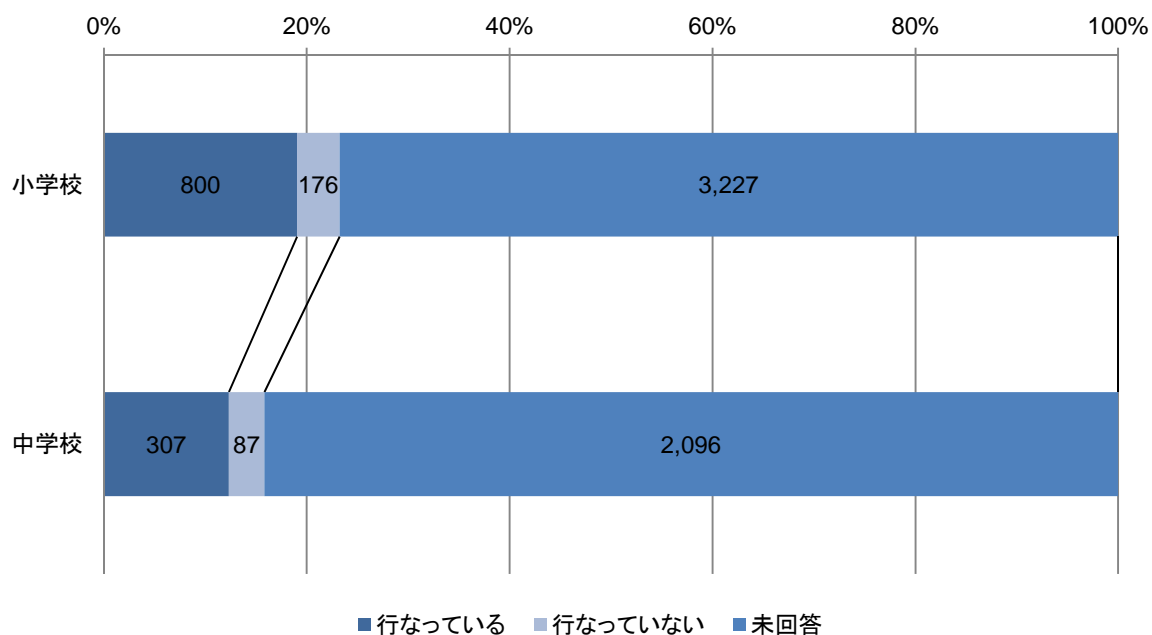
小学校(4,203校)の  
体験学習の有無



中学校(2,490校)の  
体験学習の有無



学校種別と体験学習の有無



## (6) 学校外機関・個人の協力

■質問3-4：質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方にお聞きします。

その海に関する学習において、学校外の機関や個人の協力を得て実施していますか？  
連携している学校外の機関をすべて選んで、番号に○をつけてください。

- |                   |               |         |
|-------------------|---------------|---------|
| 1. 大学や研究機関        | 4. 財団法人等の公益機関 | 6. その他⇒ |
| 2. 水族館等の博物館       | 5. 市民団体やNPO等  |         |
| 3. 漁業協同組合等の漁業関連団体 | 7. 連携なし       |         |

質問3において総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校(質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校 1,334校)のみに関して、学校外機関・個人の協力の有無を集計したところ、83.1%がいずれかの学校外機関・個人と連携があると回答した。特に、漁業協同組合等の漁業関連団体と連携したと回答した学校は34.9%と最も多く、水族館等の博物館、公益機関に比べ2倍以上であった。(複数回答可であるため、回答率の合計は100%とはならない)。

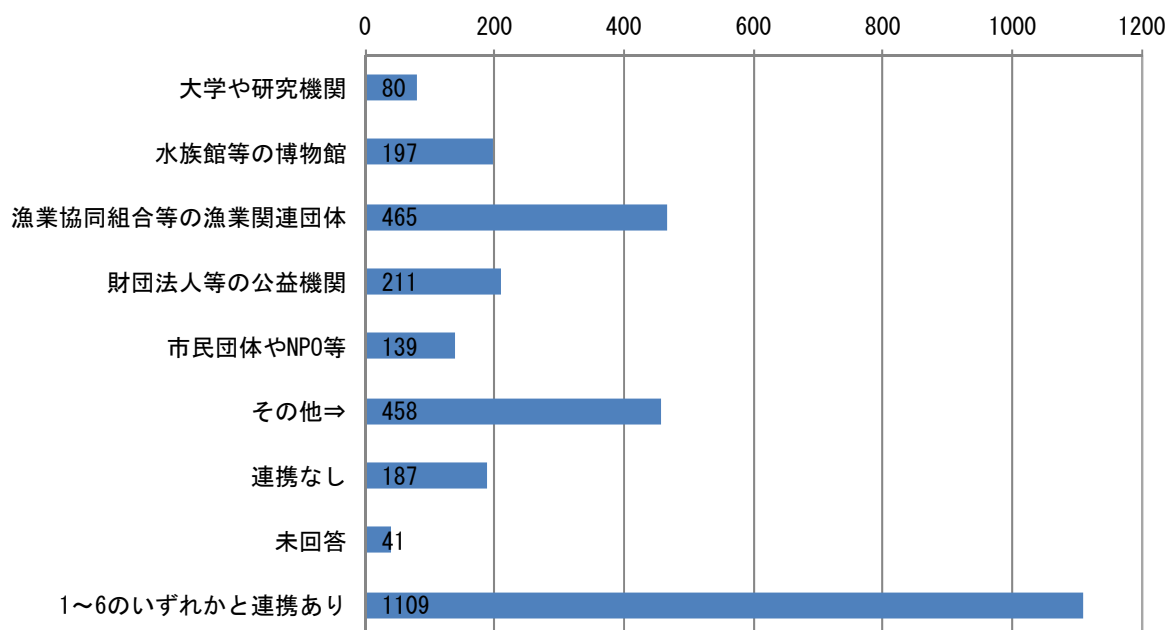
図表18：海洋教育における学校外機関・個人の協力状況

質問3-4：学校外機関・個人の協力	度数(校)	割合(%) n=1,334
1 大学や研究機関	80	6.0
2 水族館等の博物館	197	14.8
3 漁業協同組合等の漁業関連団体	465	34.9
4 財団法人等の公益機関	211	15.8
5 市民団体やNPO等	139	10.4
6 その他⇒	458	34.3
7 連携なし	187	14.0
未回答	41	3.1
1~6のいずれかと連携あり	1,109	83.1

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計

### 質問3-4：学校外機関・個人の協力 (n=1,334)

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計



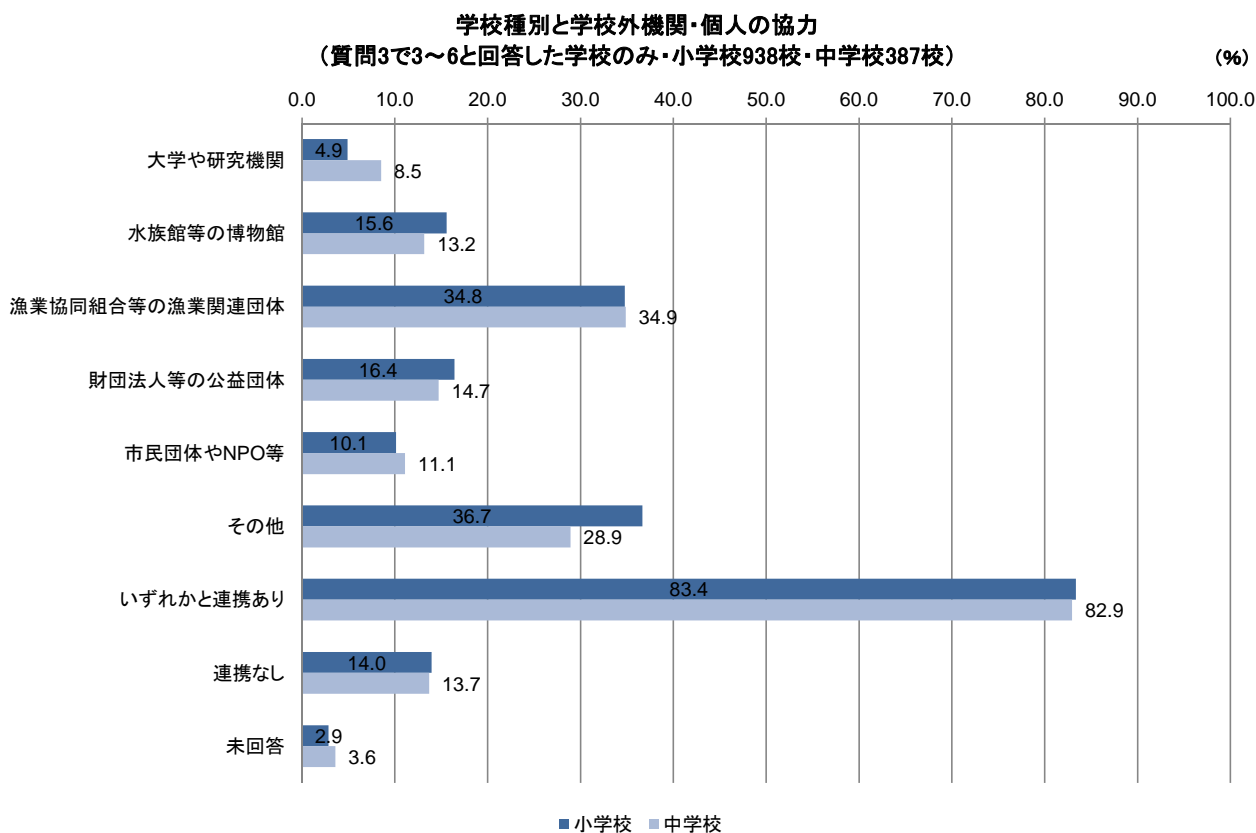


学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 19：学校種別の海洋教育における学校外機関・個人の協力状況

学校種別	質問3-4：学校外機関・個人の協力									学校数
	大学や研究機関	水族館等の博物館	漁業協同組合等の漁業関連団体	財団法人等の公益団体	市民団体やNPO等	その他	いずれかと連携あり	連携なし	未回答	
小学校	46 4.9	146 15.6	326 34.8	154 16.4	95 10.1	344 36.7	782 83.4	131 14.0	27 2.9	938
中学校	33 8.5	51 13.2	135 34.9	57 14.7	43 11.1	112 28.9	321 82.9	53 13.7	14 3.6	387
計	79 6.0	197 14.9	461 34.8	211 15.9	138 10.4	456 34.4	1,103 83.2	184 13.9	41 3.1	1,325

※Q3で3～6と回答した学校のみ集計  
※下段の数字は%

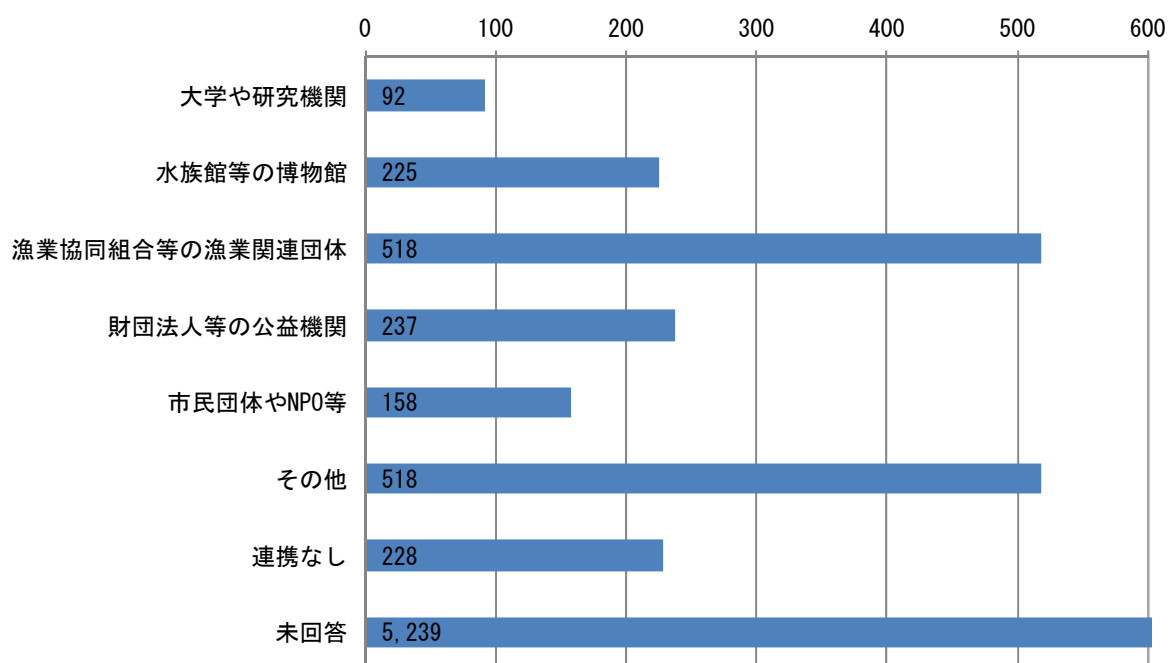


なお、質問3の回答にかかわらず、全サンプルを集計した結果は以下の通りであった。

図表 20：海洋教育における学校外機関・個人の協力状況（全サンプル）

質問3-4：学校外機関・個人の協力	度数(校)	割合(%) n= 6,706
1 大学や研究機関	92	1.4
2 水族館等の博物館	225	3.4
3 漁業協同組合等の漁業関連団体	518	7.7
4 財団法人等の公益機関	237	3.5
5 市民団体やNPO等	158	2.4
6 その他	518	7.7
7 連携なし	228	3.4
未回答	5,239	78.1

質問3-4：学校外機関・個人の協力（n=6,706）



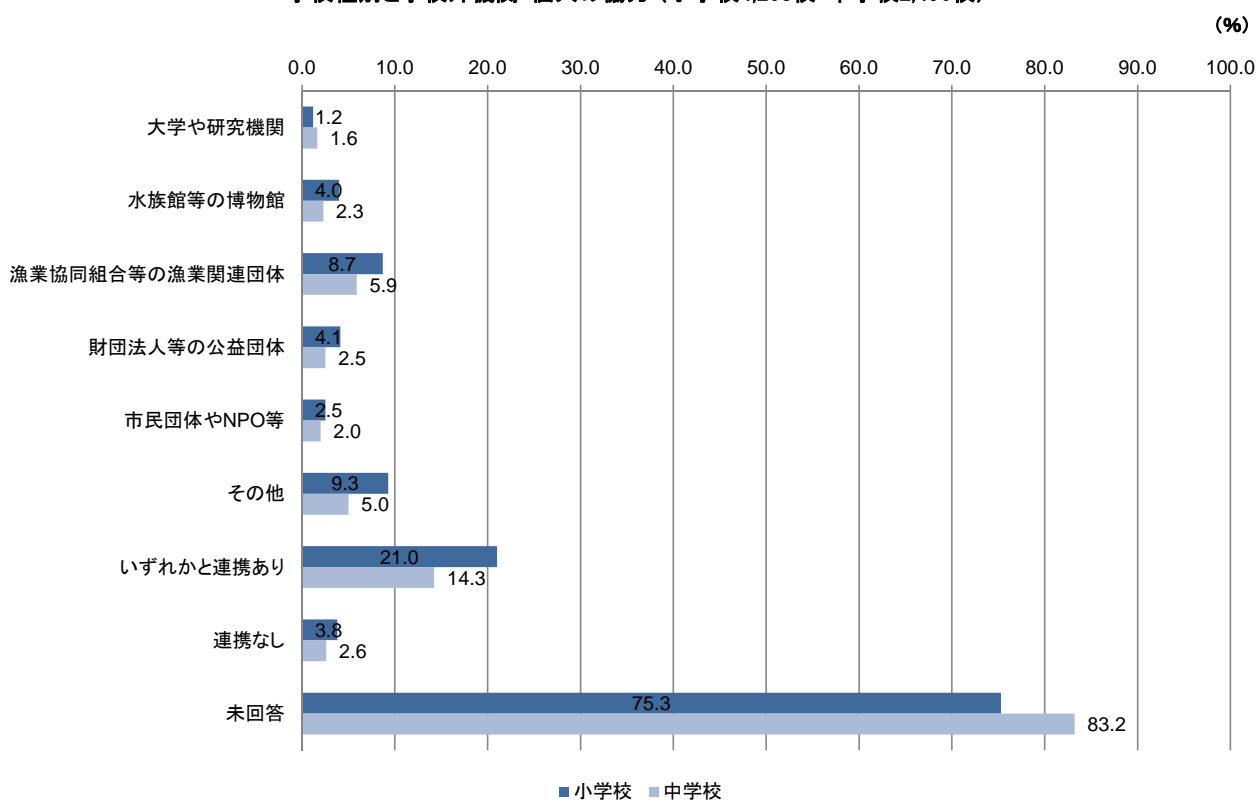
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 21：学校種別の海洋教育における学校外機関・個人の協力状況（全サンプル）

学校種別	質問3-4：学校外機関・個人の協力									学校数
	大学や研究機関	水族館等の博物館等	漁業協同組合等の漁業関連団体	財団法人等の公益法人	市民団体やNPO等	その他	いずれかと連携あり	連携なし	未回答	
小学校	50 1.2	168 4.0	366 8.7	174 4.1	106 2.5	391 9.3	883 21.0	160 3.8	3,164 75.3	4,203
中学校	41 1.6	57 2.3	147 5.9	63 2.5	50 2.0	125 5.0	355 14.3	65 2.6	2,072 83.2	2,490
計	91 1.4	225 3.4	513 7.7	237 3.5	156 2.3	516 7.7	1,238 18.5	225 3.4	5,236 78.2	6,693

※下段の数字は%

学校種別と学校外機関・個人の協力（小学校4,203校・中学校2,490校）



学校種・ロケーション・質問3の回答別に集計したところ、以下ようになった。

図表 22：学校種・ロケーション・海洋教育実施状況別の海洋教育における学校外機関・個人の協力状況

種別	ロケーション	Q3：海洋教育実施状況	該当学校数	質問3-4：学校外機関・個人の協力										
				大学や研究機関	水族館等	漁業関係団体	漁業協同組合等	等財団法人	市民団体等	その他	いずれか	大学や研究機関	公益団体	連携なし
小学校	徒歩15分	総合でメインテーマ	120	7	11	64	15	14	52	110	16	27	8	3
		総合でトピックス	159	8	10	80	20	18	57	133	16	36	6	2
		教科と総合の連携	21	3	4	12	4	10	20	20	7	5	1	0
		課外	28	1	3	11	5	2	7	19	4	7	7	2
		未実施・教科書以外	328	19	28	167	44	35	126	282	43	75	40	7
		総合	279	15	21	144	35	32	109	243	32	63	32	5
		総合トピックスor教科総合連携	180	11	14	92	24	19	67	153	23	41	25	2
		総合でメインテーマ	44	3	5	15	3	10	18	40	8	13	4	0
		総合でトピックス	95	3	11	35	12	9	37	80	13	21	12	3
	教科と総合の連携	7	3	3	3	4	2	0	7	4	4	0	0	
	課外	19	0	1	1	6	2	5	14	1	8	5	0	
	未実施・教科書以外	165	9	20	54	25	23	60	141	26	46	21	3	
	総合	139	6	16	50	15	19	55	120	21	34	16	3	
	総合トピックスor教科総合連携	102	6	14	38	16	11	37	87	17	25	12	3	
	電車やバス	総合でメインテーマ	83	4	26	26	21	12	25	69	28	28	6	8
		総合でトピックス	215	4	31	31	25	14	30	83	33	33	7	9
		教科と総合の連携	32	2	12	11	6	4	16	31	14	9	2	0
		課外	102	3	15	24	14	2	41	77	18	16	24	1
未実施・教科書以外		432	18	97	101	85	34	155	349	111	112	67	17	
総合		298	13	70	66	65	28	98	241	79	87	41	16	
総合トピックスor教科総合連携		247	11	56	51	50	20	89	203	65	68	37	8	
総合でメインテーマ		35	6	4	19	3	4	12	33	9	6	1	1	
総合でトピックス		77	2	5	36	6	7	26	65	7	11	12	0	
中学校	徒歩15分	教科と総合の連携	4	1	1	0	0	2	1	4	2	2	0	0
		課外	20	1	2	7	2	4	3	13	3	6	6	1
		未実施・教科書以外	136	10	12	62	11	17	42	115	21	25	19	2
		総合	112	8	9	55	9	11	38	98	16	17	13	1
		総合トピックスor教科総合連携	81	3	6	36	6	9	27	69	9	13	12	0
		総合でメインテーマ	11	0	0	3	1	1	5	9	0	2	2	0
		総合でトピックス	49	1	9	13	6	7	13	35	10	12	9	5
		教科と総合の連携	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		課外	10	1	1	2	1	1	1	7	2	2	2	1
	未実施・教科書以外	71	3	11	18	8	9	19	52	13	16	13	6	
	総合	60	1	9	16	7	8	18	44	10	14	11	5	
	総合トピックスor教科総合連携	50	2	10	13	6	7	13	36	11	12	9	5	
	電車やバス	総合でメインテーマ	40	4	9	20	7	6	10	36	12	13	2	2
		総合でトピックス	88	8	12	26	19	5	23	76	18	24	10	2
		教科と総合の連携	10	2	3	3	3	3	2	8	4	5	2	0
		課外	37	6	4	5	9	2	12	29	9	11	7	2
		未実施・教科書以外	175	20	28	54	38	16	47	149	43	53	21	6
		総合	128	12	21	46	26	11	33	112	30	37	12	4
総合トピックスor教科総合連携		98	10	15	29	22	8	25	84	22	29	12	2	

## (7) 学校外機関・個人の役割

■質問 3-5：質問 3-4 でいずれかの学校外機関を選択した方にお聞きします。  
その海に関する学習における学校外機関の役割に当てはまるものをすべて選び、  
番号に○をつけてください。

- |               |                |         |
|---------------|----------------|---------|
| 1. 教材や副読本の提供  | 4. 体験学習用の機材の提供 | 6. その他⇒ |
| 2. 外部講師の派遣    | 5. 体験学習用の施設の利用 |         |
| 3. 施設見学と解説の対応 |                |         |

質問 3 において総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答し（質問 3 で「3」「4」「5」「6」を選択）、かつ、質問 3-4 において学校外機関・個人の協力を得ていると回答した（質問 3-4 で「1」～「6」を選択）学校（1,109 校）に関して、学校外機関の役割を集計したところ、体験学習用の施設の利用が 50.7%と最も多かった。教材や副読本の提供と回答した学校が 14.4%と最も少なかった（複数回答可であるため、回答率の合計は 100%とはならない）。

図表 23：海洋教育における学校外機関・個人の役割

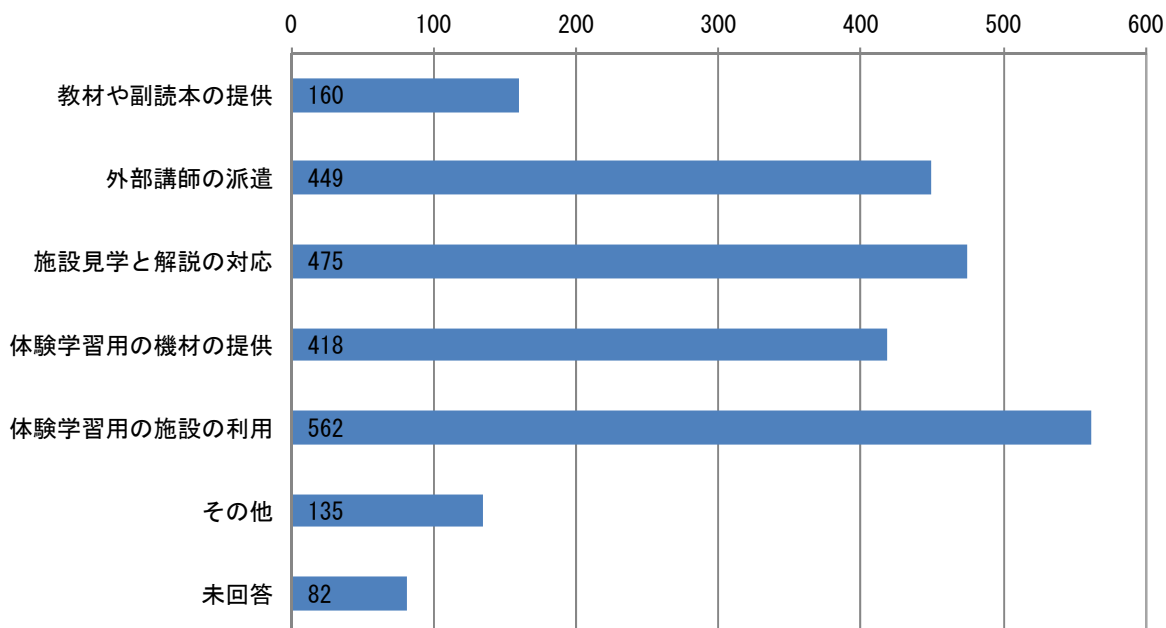
質問3-5：学校外機関・個人の役割	度数(校)	割合(%) n= 1,109
1 教材や副読本の提供	160	14.4
2 外部講師の派遣	449	40.5
3 施設見学と解説の対応	475	42.8
4 体験学習用の機材の提供	418	37.7
5 体験学習用の施設の利用	562	50.7
6 その他	135	12.2
未回答	82	7.4

※質問3で「3」～「6」を選択し、

かつ、質問3-4で「1」～「6」を選択した方のみ集計

### 質問3-5：学校外機関・個人の役割 (n=1,109)

質問3で「3」～「6」を選択し、かつ、質問3-4で「1」～「6」を選択した方のみ集計



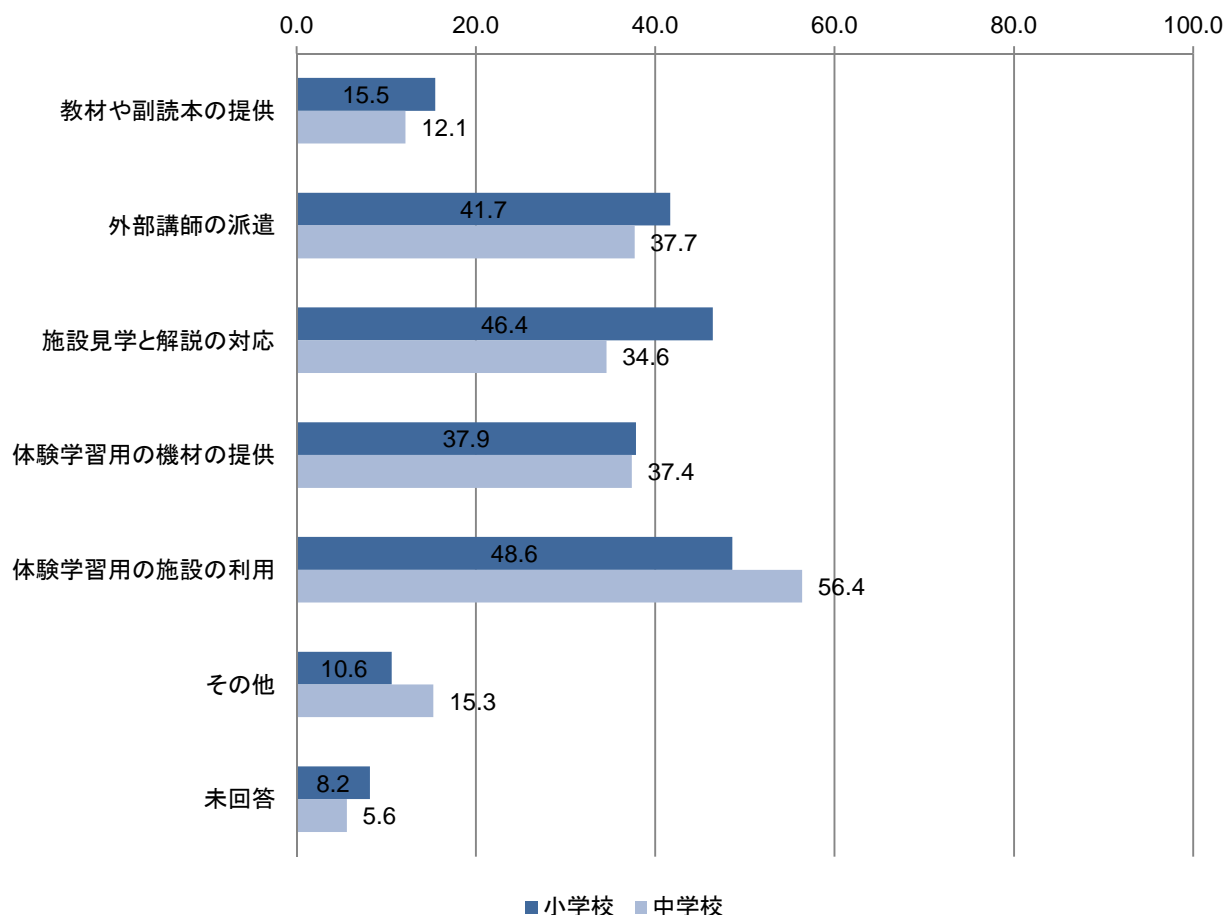
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 24：学校種別の海洋教育における学校外機関・個人の役割

種別	質問3-5：学校外機関・個人の役割							学校数
	読教材 本の 提供 や 提 副	外部 講師 の 派遣	と施設 見学 と 解説 の 対 応	体験 学習 用の 機 材 の 提 供	体験 学習 用の 施 設 の 利 用	その他	未 回 答	
小学校	121 15.5	326 41.7	363 46.4	296 37.9	380 48.6	83 10.6	64 8.2	782
中学校	39 12.1	121 37.7	111 34.6	120 37.4	181 56.4	49 15.3	18 5.6	321
計	160 14.5	447 40.5	474 43.0	416 37.7	561 50.9	132 12.0	82 7.4	1,103

※Q3で3～6、Q3-4で1～6と回答した学校のみ集計  
※下段の数字は%

学校種別と学校外機関・個人の協力  
(質問3で3～6、質問3-4で1～6と回答した学校・小学校782校・中学校321校) (%)

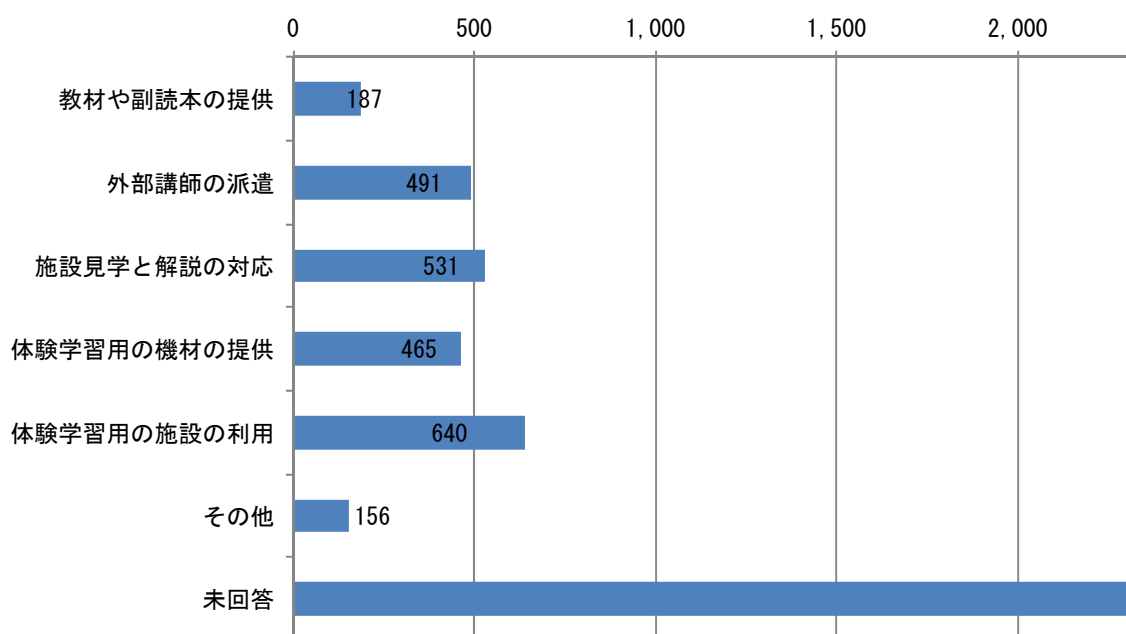


なお、質問 3、回答 3-4 の回答にかかわらず、全サンプルを集計した結果は以下の通りであった。

図表 25：海洋教育における学校外機関・個人の役割（全サンプル）

質問3-5：学校外機関・個人の役割	度数(校)	割合(%) n= 6,706
1 教材や副読本の提供	187	2.8
2 外部講師の派遣	491	7.3
3 施設見学と解説の対応	531	7.9
4 体験学習用の機材の提供	465	6.9
5 体験学習用の施設の利用	640	9.5
6 その他	156	2.3
未回答	5,535	82.5

質問3-5：学校外機関・個人の役割（n=6,706）



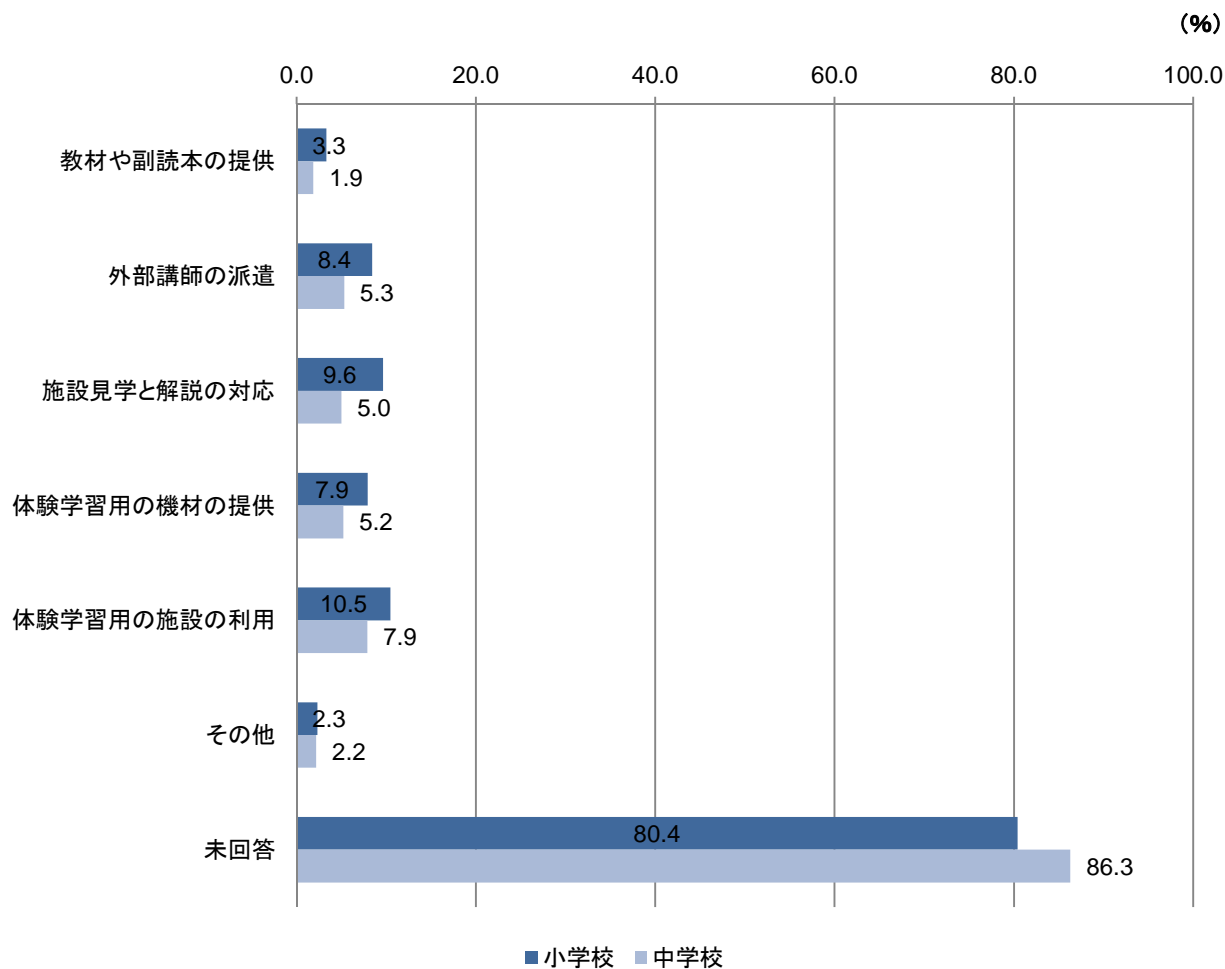
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 26：学校種別の海洋教育における学校外機関・個人の役割（全サンプル）

種別	質問3-5：学校外機関・個人の役割							学校数
	読教材の提供	外部講師の派遣	と施設見学の対応	体験学習用の機材の提供	体験学習用の施設の利用	その他	未回答	
小学校	140 3.3	355 8.4	405 9.6	333 7.9	441 10.5	98 2.3	3,380 80.4	4,203
中学校	47 1.9	133 5.3	125 5.0	130 5.2	197 7.9	55 2.2	2,149 86.3	2,490
計	187 2.8	488 7.3	530 7.9	463 6.9	638 9.5	153 2.3	5,529 82.6	6,693

※下段の数字は%

### 学校種別と学校外機関・個人の協力





## (8) 学校外機関に期待するサポート

■質問4：学校外機関からどのようなサポートを受けることができれば、あなたの学校の海に関する学習がさらに充実する、あるいは、あなたの学校でも海に関する学習に取り組めるようになると思いますか？ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

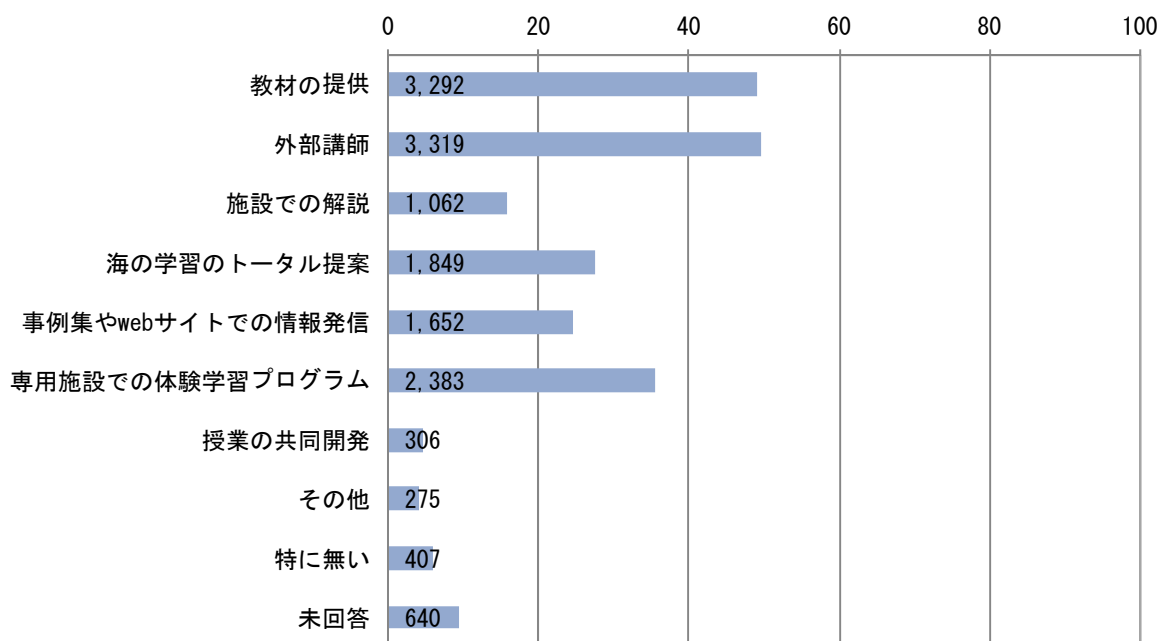
- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 教材の提供                       | 6. 専用施設での体験学習プログラムの提供 |
| 2. 外部講師                        | 7. 授業の共同開発            |
| 3. 施設での解説                      | 8. その他→               |
| 4. 海の学習のトータルな提案                | 9. 特に無い               |
| 5. 海に関する学習を集めた事例集やwebサイトでの情報発信 |                       |

学校外機関に期待するサポートを質問したところ、外部講師と回答した学校が49.5%で最も多く、次いで教材の提供が49.1%であった。授業の共同開発が4.6%で最も低かった。（複数回答可であるため、回答率の合計は100%とはならない）。

図表27：学校外機関に期待するサポート

質問4：学校外機関に必要なサポート	度数(校)	割合(%) n= 6,706
1 教材の提供	3,292	49.1
2 外部講師	3,319	49.5
3 施設での解説	1,062	15.8
4 海の学習のトータル提案	1,849	27.6
5 事例集やwebサイトでの情報発信	1,652	24.6
6 専用施設での体験学習プログラム	2,383	35.5
7 授業の共同開発	306	4.6
8 その他	275	4.1
9 特に無い	407	6.1
未回答	640	9.5

質問4：海の学習を広めるために学校外機関に必要なサポート (n=6,706) (%)



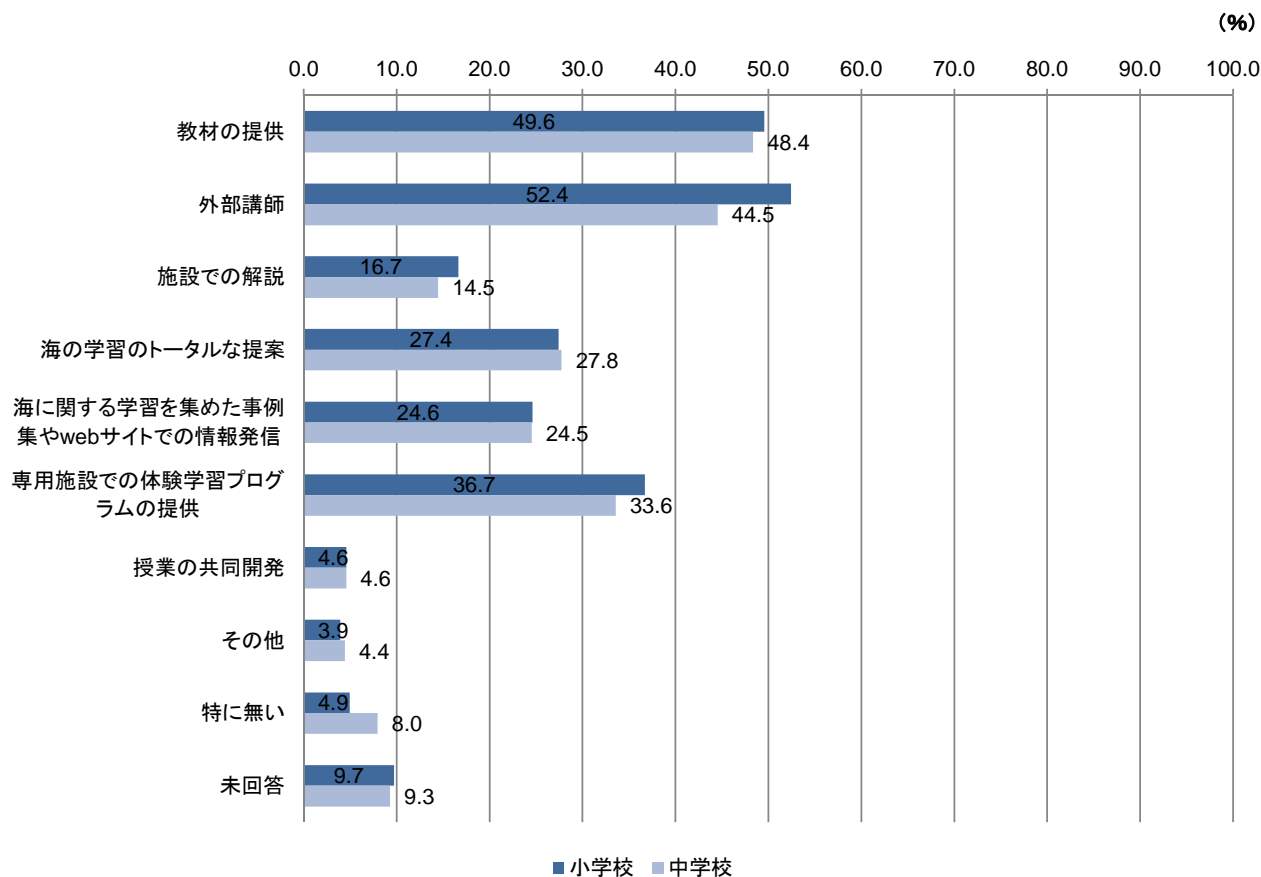
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 28：学校種別の学校外機関に期待するサポート

種別	質問4：学校外機関に期待するサポート										学校数
	教材の提供	外部講師	施設での解説	海の学習のトータルな提案	海に関する学習を集めた事例集やwebサイトでの情報発信	専用施設での体験学習プログラムの提供	授業の共同開発	その他	特に無い	未回答	
小学校	2,083 49.6	2,204 52.4	700 16.7	1,153 27.4	1,035 24.6	1,543 36.7	192 4.6	165 3.9	208 4.9	409 9.7	4,203
中学校	1,204 48.4	1,109 44.5	360 14.5	691 27.8	611 24.5	836 33.6	114 4.6	110 4.4	198 8.0	231 9.3	2,490
計	3,287 49.1	3,313 49.5	1,060 15.8	1,844 27.6	1,646 24.6	2,379 35.5	306 4.6	275 4.1	406 6.1	640 9.6	6,693

※下段の数字は%

学校種別と学校外機関に期待するサポート



## (9) 海洋基本法の認知度

■質問 5：あなたは海洋基本法についてご存知ですか？

ご自身のお考えに近い選択肢を1つ選んで、番号に○をつけて下さい。

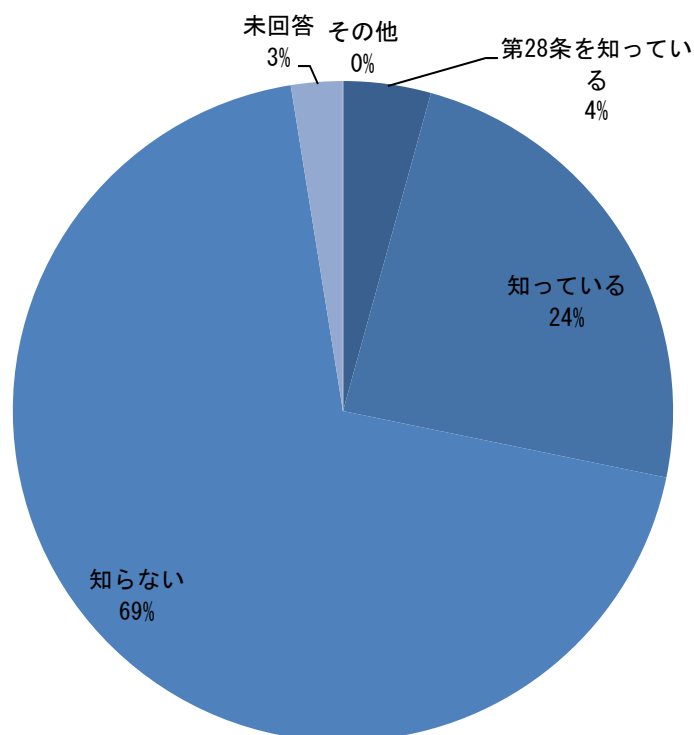
1. 海洋基本法において、「学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進」が掲げられていることを知っている。
2. 海洋基本法の存在を知っている。
3. 海洋基本法は知らない。

海洋基本法の認知度について質問したところ、69.2%が知らないと回答した。知っているのは 23.9%で、第 28 条について知っているのは 4.3%であった。

図表 29：海洋基本法の認知度

質問5：海洋基本法の認知度	度数(校)	割合(%)
1 第28条を知っている	288	4.3
2 知っている	1,605	23.9
3 知らない	4,643	69.2
未回答	170	2.5
その他	0	0.0
計	6,706	100.0

質問5：海洋基本法の認知度 (n=6,706)



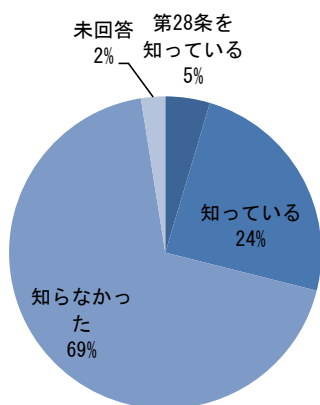
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 30：学校種別の海洋基本法の認知度

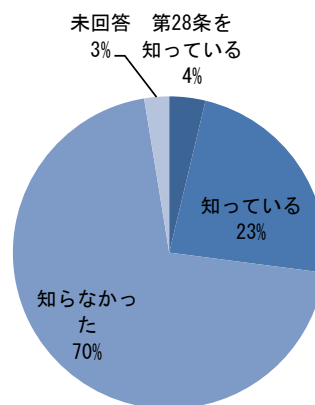
種別	質問5：海洋基本法の認知度				計
	第28条を知っている	知っている	知らなかった	未回答	
小学校	194 4.6%	1,022 24.3%	2,882 68.6%	105 2.5%	4,203
中学校	93 3.7%	581 23.3%	1,752 70.4%	64 2.6%	2,490
計	287 4.3%	1,603 24.0%	4,634 69.2%	169 2.5%	6,693

※下段の数字は%

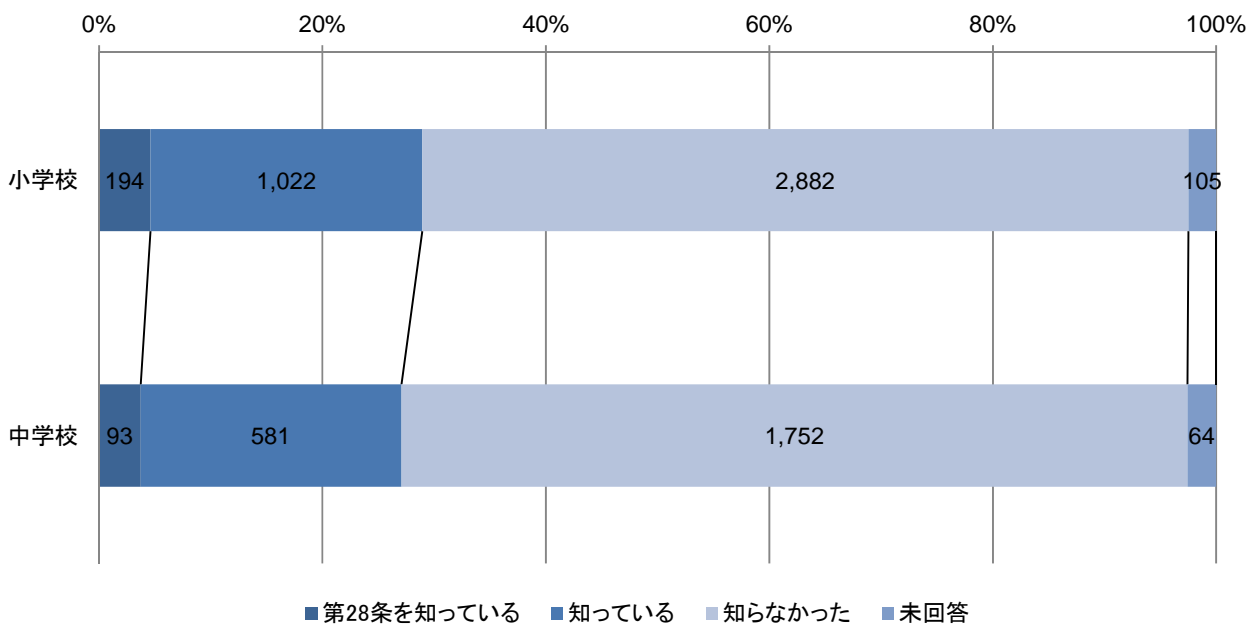
小学校(4,203校)の海洋基本法の認知度



中学校(2,490校)の海洋基本法の認知度



学校種別と海洋基本法の認知度



## (10) 海に関して子どもたちが学ぶべきこと

■質問6：小中学校において、子どもたちが海に関してどのようなことをもっと学ぶべきだと思いますか？  
ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

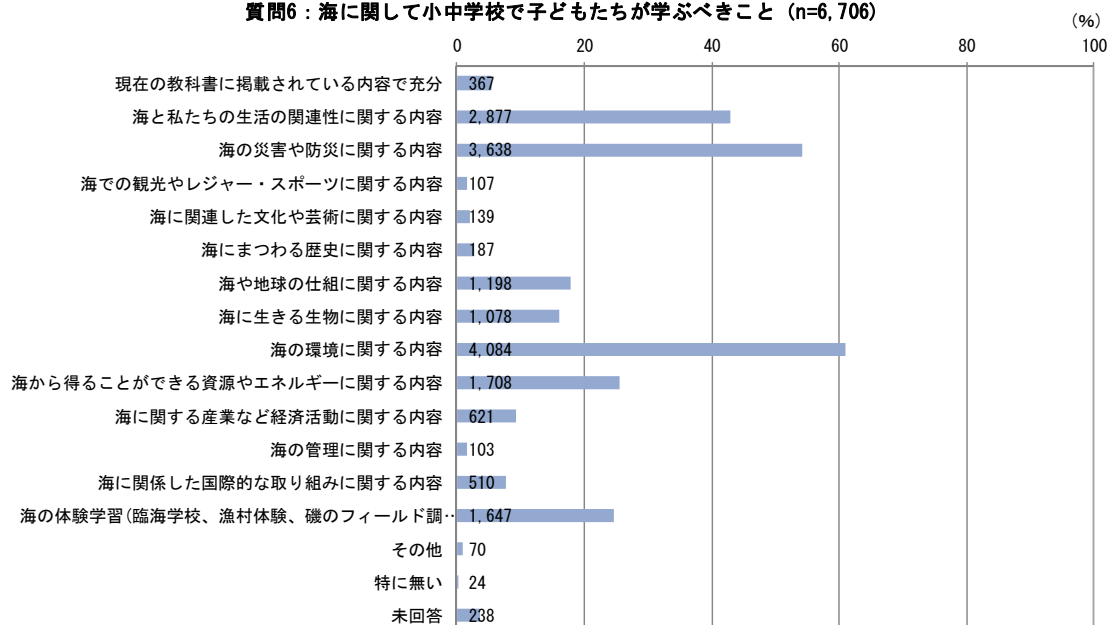
- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 現在の教科書に掲載されている内容で充分   | 9. 海に関する環境に関する内容                  |
| 2. 海と私たちの生活の関連性に関する内容    | 10. 海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容     |
| 3. 海の災害や防災に関する内容         | 11. 海に関する産業など経済活動に関する内容           |
| 4. 海での観光やレジャー・スポーツに関する内容 | 12. 海の管理に関する内容                    |
| 5. 海に関連した文化や芸術に関する内容     | 13. 海に関連した国際的な取り組みに関する内容          |
| 6. 海にまつわる歴史に関する内容        | 14. 海の体験学習(臨海学校、漁村体験、磯のフィールド調査)など |
| 7. 海や地球の仕組みに関する内容        | 15. その他⇒                          |
| 8. 海に生きる生物に関する内容         | 16. 特に無い                          |

海に関して子どもたちが学ぶべきことを質問したところ、60.9%が海の環境に関する内容と回答し最も多かった。次いで海の災害や防災に関する内容が54.2%、海と私たちの生活の関連性に関する内容が42.9%であった。(複数回答可であるため、回答率の合計は100%とはならない)。

図表31：海に関して子どもたちが学ぶべきこと

質問6：海に関して小中学校で子どもたちが学ぶべきこと	度数(校)	割合(%) n= 6,706
1 現在の教科書に掲載されている内容で充分	367	5.5
2 海と私たちの生活の関連性に関する内容	2,877	42.9
3 海の災害や防災に関する内容	3,638	54.2
4 海での観光やレジャー・スポーツに関する内容	107	1.6
5 海に関連した文化や芸術に関する内容	139	2.1
6 海にまつわる歴史に関する内容	187	2.8
7 海や地球の仕組みに関する内容	1,198	17.9
8 海に生きる生物に関する内容	1,078	16.1
9 海の環境に関する内容	4,084	60.9
10 海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	1,708	25.5
11 海に関する産業など経済活動に関する内容	621	9.3
12 海の管理に関する内容	103	1.5
13 海に関連した国際的な取り組みに関する内容	510	7.6
14 海の体験学習(臨海学校、漁村体験、磯のフィールド調査)など	1,647	24.6
15 その他	70	1.0
16 特に無い	24	0.4
未回答	238	3.5

質問6：海に関して小中学校で子どもたちが学ぶべきこと (n=6,706)



学校種別に集計したところ、以下のようになった。

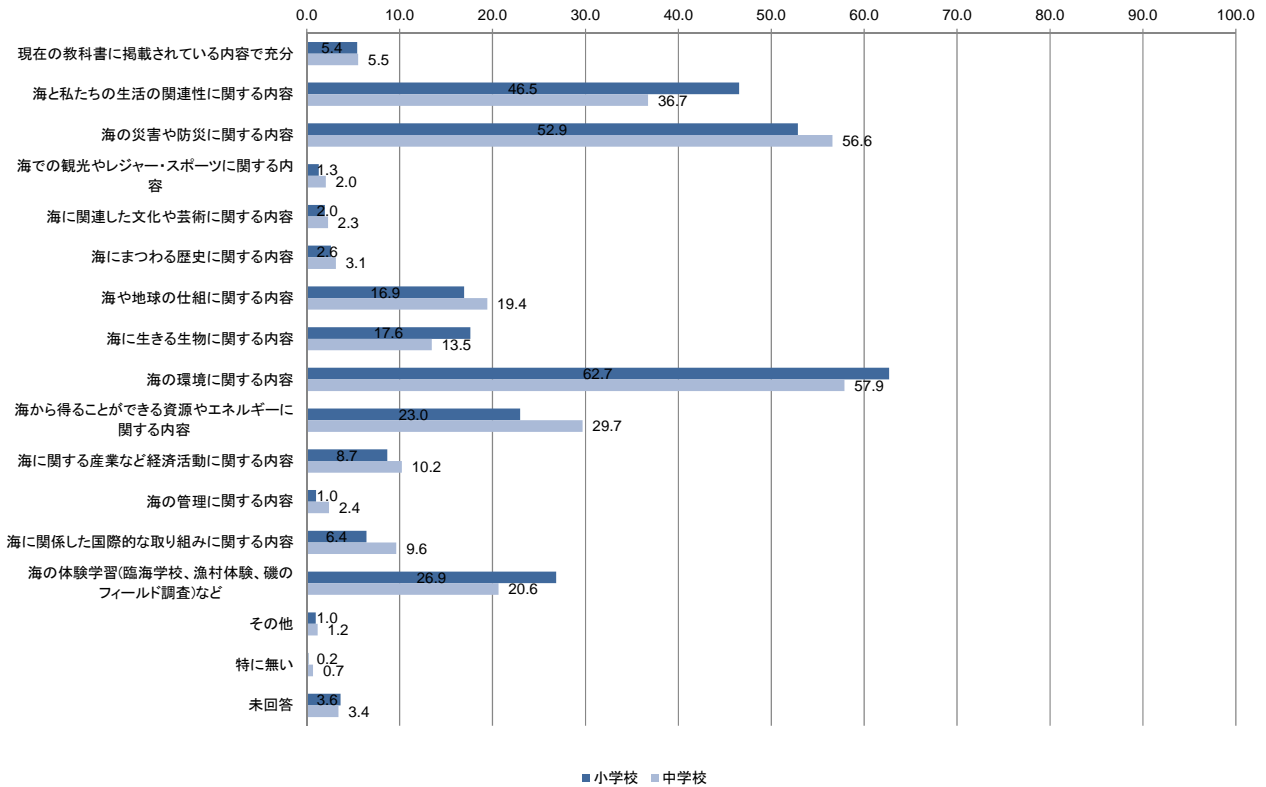
図表 32：学校種別の海に関して子どもたちが学ぶべきこと

種別	質問6：海に関して学ぶべきこと																	学校数
	現在の教科書に掲載されている内容で充分	海と私たちの生活の関連性に関する内容	海の災害や防災に関する内容	ジャー・スポーツに関する内容	海での観光やレジャー・スポーツに関する内容	海に関連した文化や芸術に関する内容	海にまつわる歴史に関する内容	海や地球の仕組みに関する内容	海に生きる生物に関する内容	海の環境に関する内容	海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	海に関する産業など経済活動に関する内容	海の管理に関する内容	海に関係した国際的な取り組みに関する内容	海の体験学習(臨海学校、漁村体験、磯のフィールド調査)など	その他	特に無い	
小学校	228	1,956	2,222	55	82	109	712	740	2,634	966	365	42	270	1,129	41	7	153	4,203
中学校	138	915	1,409	51	57	78	484	335	1,441	739	255	60	240	514	29	17	85	2,490
計	366	2,871	3,631	106	139	187	1,196	1,075	4,075	1,705	620	102	510	1,643	70	24	238	6,693

※下段の数字は%

学校種別と海に関して学ぶべきこと

(%)



## (11) 震災による海の学習の重要化

■質問 7：あなたは、東日本大震災によって、「海」を知る事や学ぶ事がより大切だと考えるようになりましたか？当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

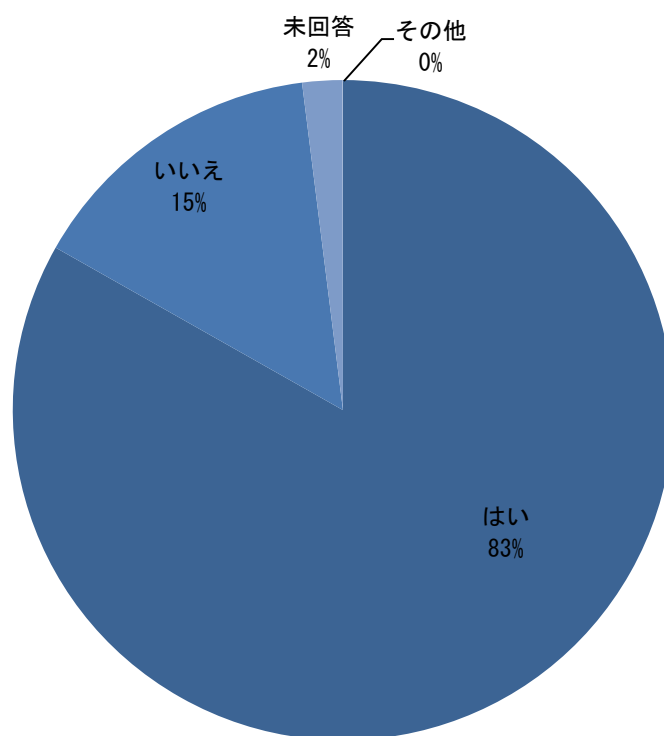
1.はい 2.いいえ

東日本大震災によって、海の学習が大切だと考えるようになったと回答したのは 83.2%であった。

図表 33：震災によって海の学習が大切だと考えるようになったかどうか

質問7：震災による海の学習の重要化	度数(人)	割合(%)
1 はい	5,579	83.2
2 いいえ	994	14.8
未回答	132	2.0
その他	1	0.0
計	6,706	100.0

質問7：震災による海の学習の重要化 (n=6,706)



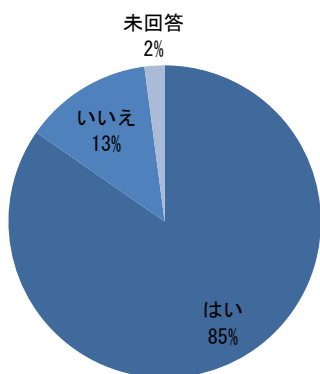
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 34：学校種別の震災によって海の学習が大切だと考えるようになったかどうか

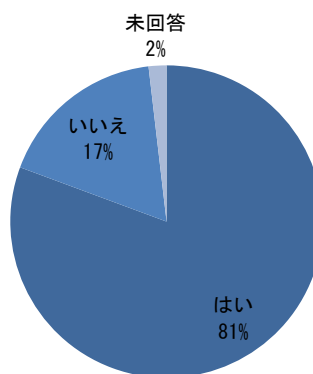
		質問7：震災による海の学習の重要化			
		はい	いいえ	未回答	計
種別	小学校	3,558 84.7	558 13.3	87 2.1	4,203
	中学校	2,008 80.6	436 17.5	46 1.8	2,490
計		5,566 83.2	994 14.9	133 2.0	6,693

※下段の数字は%

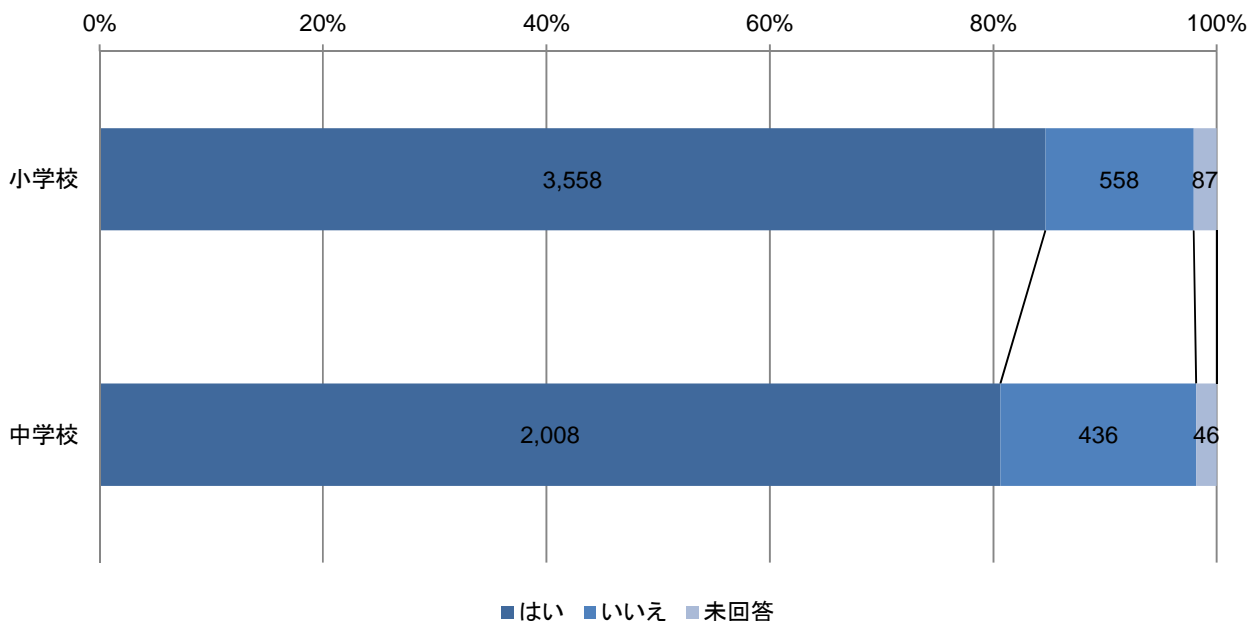
小学校(4,203校)の震災による海の学習の重要化



中学校(2,490校)の震災による海の学習の重要化



学校種別と震災による海の学習の重要化





## (12) 震災によって教えるべきだと思ったこと

■質問 7-2：質問 7 で「1.はい」を選択した方にお聞きします。  
具体的にどのようなことを教えるべきだと思ようになりましたか？

東日本大震災によって、海の学習が大切だと考えるようになったと回答した学校（質問 7 において「1」を選択した学校 5,579 校）に、具体的にどのような内容を教えるべきか質問したところ、97.1%が自由記述にて回答した。

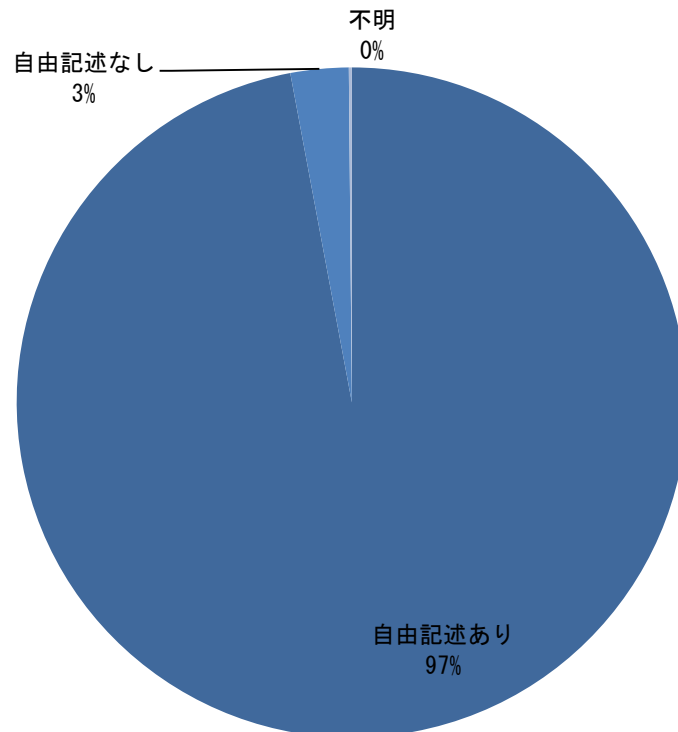
図表 35：震災によって大切だと考えるようになった学習内容の自由記述の有無

質問7-2：学習の内容	自由記述の有無	度数(人)	割合(%)
1	自由記述あり	5,415	97.1
2	自由記述なし	156	2.8
0	不明	8	0.1
計		5,579	100.0

※質問7で「1. はい」を選択した方のみ集計

### 質問7-2：学習の内容 自由記述の有無 (n=5,579)

※質問7で「1. はい」を選択した方のみ集計



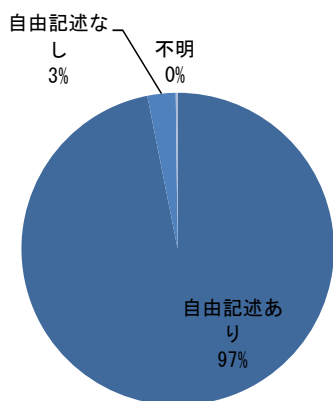
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 36：学校種別の震災によって大切だと考えるようになった学習内容の自由記述の有無

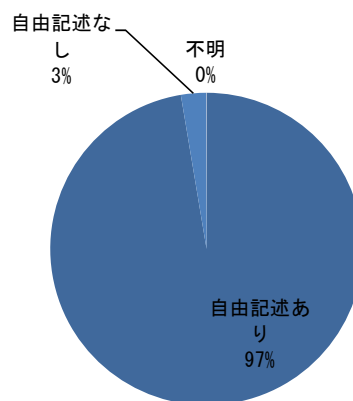
種別	質問7-2：学習の内容 自由記述の有無			計
	自由記述あり	自由記述なし	不明	
小学校	3,447 96.9%	104 2.9%	7 0.2%	3,558
中学校	1,955 97.4%	52 2.6%	1 0.0%	2,008
計	5,402 97.1%	156 2.8%	8 0.1%	5,566

※質問7で1と回答した学校のみ集計  
※下段の数字は%

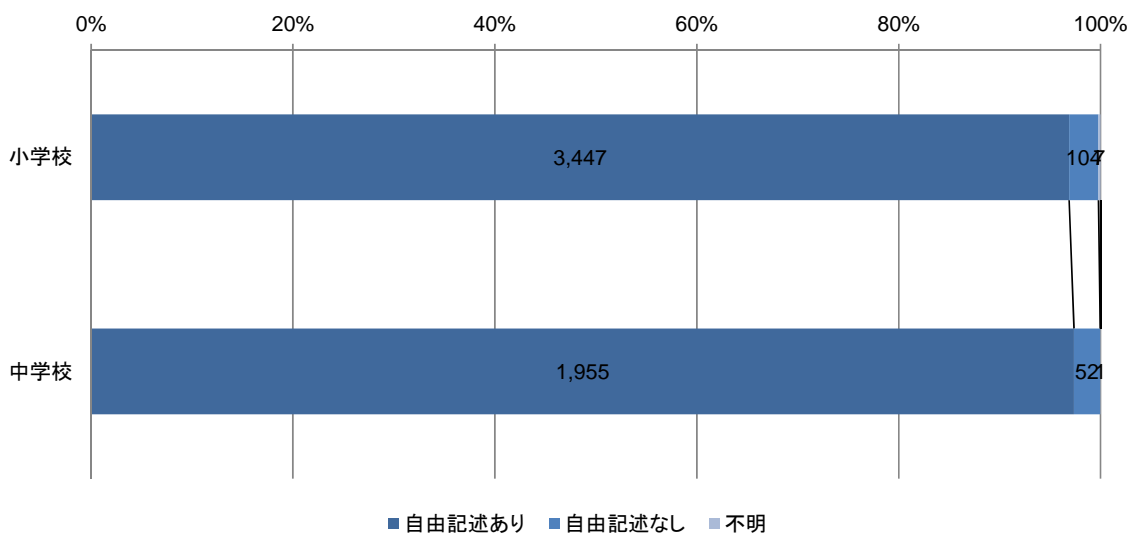
質問7で1と回答した小学校(3,558校)の学習内容の自由記述の有無



質問7で1と回答した中学校(2,008校)の学習内容の自由記述の有無



学校種別と学習内容の自由記述の有無  
(質問7で1と回答した小学校3,558校・中学校2,008校)



### 3) 集計結果 (クロス)

#### (1) 学校のロケーションと海洋教育の認知度

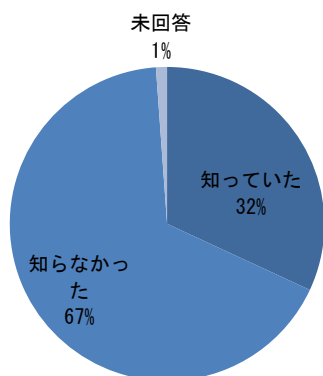
学校のロケーションと海洋教育の認知度の関係を見るため、質問1と質問2のクロス集計を行ったところ、以下の通りであった。認知度は、徒歩15分程度の場合の31.9%、徒歩30～1時間程度の場合30.3%、電車やバスの場合28.2%であった。

図表 37：ロケーション別の海洋教育の認知度

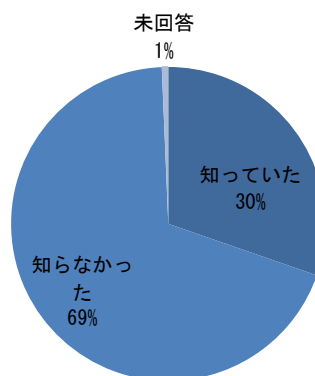
	質問2：海洋教育の認知度			計	
	1 知っていた	2 知らなかった	0 未回答		
質問1	1 徒歩15分程度	278 31.9	584 67.0	10 1.1	872
	2 徒歩30～1時間程度	319 30.3	727 69.0	7 0.7	1,053
	3 電車やバス	1,310 28.2	3,306 71.2	26 0.6	4,642
	0 未回答	51 36.7	56 40.3	32 23.0	139
計	1,958 29.2	4,673 69.7	75 1.1	6,706	

※下段の数字は%

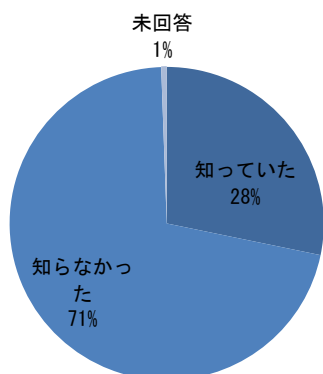
徒歩15分程度で海に行ける学校の回答者(872人)の「海洋教育」認知度



徒歩30分～1時間程度で海に行ける学校の回答者(1,053人)の「海洋教育」認知度



電車やバスを使わないと海に行けない学校の回答者(4,642人)の「海洋教育」認知度



学校から海に行くのに必要な時間と、海洋教育という言葉を知っているかどうかの関係を、 $\chi^2$  乗検定により分析したところ、有意水準 5%において、学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差があった。徒歩 15 分程度で行ける場合、認知度が高く、電車やバスを使わないと行けない場合、認知度が低かった。

図表 38 : ロケーション別の海洋教育の認知度の  $\chi^2$  乗検定

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分程度	278	584	862
徒歩30~1時間程度	319	727	1,046
電車やバス	1,310	3,306	4,616
計	1,907	4,617	6,524

期待値:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	252.0	610.0
徒歩30~1時間程度	305.8	740.2
電車やバス	1349.3	3266.7

統計量:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	2.689662715	1.110934979
徒歩30~1時間程度	0.57408063	0.237117557
電車やバス	1.143594007	0.472348662

$\chi^2$  乗: 6.22773855

自由度: 2

p値: 0.044428715

結果: 帰無仮説を棄却

標準化残差:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.6	-1.1
徒歩30~1時間程度	0.8	-0.5
電車やバス	-1.1	0.7

調整化残差:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	2.1	-2.1
徒歩30~1時間程度	1.0	-1.0
電車やバス	-2.4	2.4

※2以上もしくは-2以下は特徴的

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分程度	278	584	862
電車やバス	1,310	3,306	4,616
計	1,588	3,890	5,478

期待値:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	249.9	612.1
電車やバス	1338.1	3277.9

統計量:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	3.163876777	1.291577461
電車やバス	0.590827942	0.241191458

$\chi^2$  乗: 5.287473638

自由度: 1

p値: 0.021479361

結果: 帰無仮説を棄却

標準化残差:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.8	-1.1
電車やバス	-0.8	0.5

調整化残差:	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	2.2	-1.9
電車やバス	-2.2	1.9

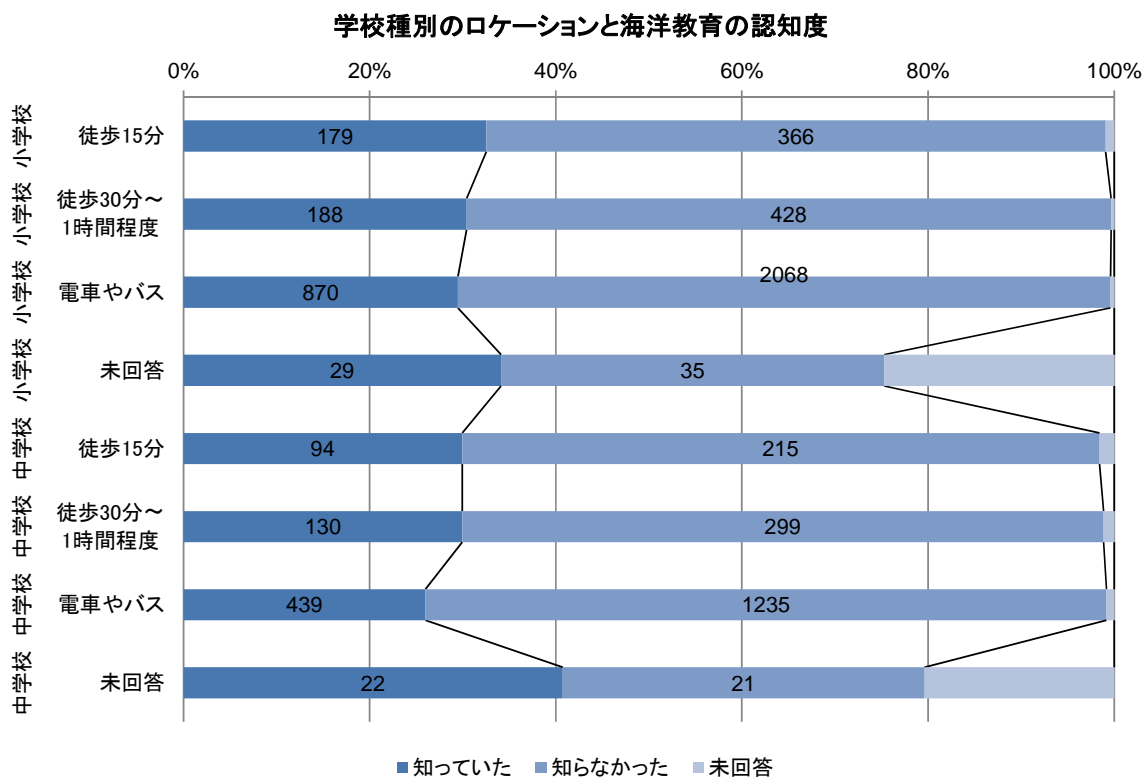
※2以上もしくは-2以下は特徴的

学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 39：学校種別のロケーション別の海洋教育の認知度

		質問2：海洋教育の認知度			計	
		知っていた	知らなかった	未回答		
質問1：ロケーション	小学校	徒歩15分	179 32.5	366 66.5	5 0.9	550
		徒歩30分～1時間程度	188 30.4	428 69.3	2 0.3	618
		電車やバス	870 29.5	2,068 70.1	12 0.4	2,950
		未回答	29 34.1	35 41.2	21 24.7	85
		小計	1,266 30.1	2,897 68.9	40 1.0	4,203
中学校	中学校	徒歩15分	94 29.9	215 68.5	5 1.6	314
		徒歩30分～1時間程度	130 30.0	299 68.9	5 1.2	434
		電車やバス	439 26.0	1,235 73.2	14 0.8	1,688
		未回答	22 40.7	21 38.9	11 20.4	54
		小計	685 27.5	1,770 71.1	35 1.4	2,490
合計		1,951 29.1	4,667 69.7	75 1.1	6,693	

※下段の数字は%



学校から海に行くのに必要な時間と、海洋教育という言葉を知っているかどうかの関係を、 $\chi^2$  乗検定により分析したところ、小学校の場合も中学校の場合も、有意水準 5%において、学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がなかった。

図表 40 : 小学校のロケーション別の海洋教育の認知度

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:

	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分程度	179	366	545
徒歩30～1時間程度	188	428	616
電車やバス	870	2,068	2,938
計	1,237	2,862	4,099

期待値:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	164.5	380.5
徒歩30～1時間程度	185.9	430.1
電車やバス	886.6	2051.4

統計量:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.283532655	0.554762367
徒歩30～1時間程度	0.023789549	0.010282205
電車やバス	0.312006487	0.134853957

$\chi^2$  乗: 2.31922722

自由度: 2

p値: 0.313607332

結果: 帰無仮説を棄却できない

標準化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.1	-0.7
徒歩30～1時間程度	0.2	-0.1
電車やバス	-0.6	0.4

調整化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.5	-1.5
徒歩30～1時間程度	0.2	-0.2
電車やバス	-1.3	1.3

※2以上もしくは-2以下は特徴的

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:

	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分程度	179	366	545
電車やバス	870	2,068	2,938
計	1,049	2,434	3,483

期待値:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	164.1	380.9
電車やバス	884.9	2053.1

統計量:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.345020214	0.579673872
電車やバス	0.249501708	0.107529701

$\chi^2$  乗: 2.281725494

自由度: 1

p値: 0.130906163

結果: 帰無仮説を棄却できない

標準化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.2	-0.8
電車やバス	-0.5	0.3

調整化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分程度	1.5	-1.3
電車やバス	-1.5	1.3

※2以上もしくは-2以下は特徴的

図表 41 : 中学校のロケーション別の海洋教育の認知度

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:

	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分	94	215	309
徒歩30分～1時間程度	130	299	429
電車やバス	439	1,235	1,674
計	663	1,749	2,412

期待値:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	84.9	224.1
徒歩30分～1時間程度	117.9	311.1
電車やバス	460.1	1213.9

統計量:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	0.967143099	0.366618567
徒歩30分～1時間程度	1.237149812	0.468971027
電車やバス	0.971386076	0.368226969

$\chi^2$  乗: 4.379495549

自由度: 2

p値: 0.11194498

結果: 帰無仮説を棄却できない

標準化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	1.0	-0.6
徒歩30分～1時間程度	1.1	-0.7
電車やバス	-1.0	0.6

調整化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	1.2	-1.2
徒歩30分～1時間程度	1.4	-1.4
電車やバス	-2.1	2.1

※2以上もしくは-2以下は特徴的

$\chi^2$  乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差はない  
対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育という言葉の認知度に差がある

有意水準: 5 %

実測値:

	知っていた	知らなかった	計
徒歩15分	94	215	309
徒歩30分～1時間程度	439	1,235	1,674
計	533	1,450	1,983

期待値:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	83.1	225.9
徒歩30分～1時間程度	449.9	1224.1

統計量:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	1.442484575	0.530237433
徒歩30分～1時間程度	0.266265074	0.097875369

$\chi^2$  乗: 2.33686245

自由度: 1

p値: 0.1263438

結果: 帰無仮説を棄却できない

標準化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	1.2	-0.7
徒歩30分～1時間程度	-0.5	0.3

調整化残差:

	知っていた	知らなかった
徒歩15分	1.5	-1.3
徒歩30分～1時間程度	-1.5	1.3

※2以上もしくは-2以下は特徴的

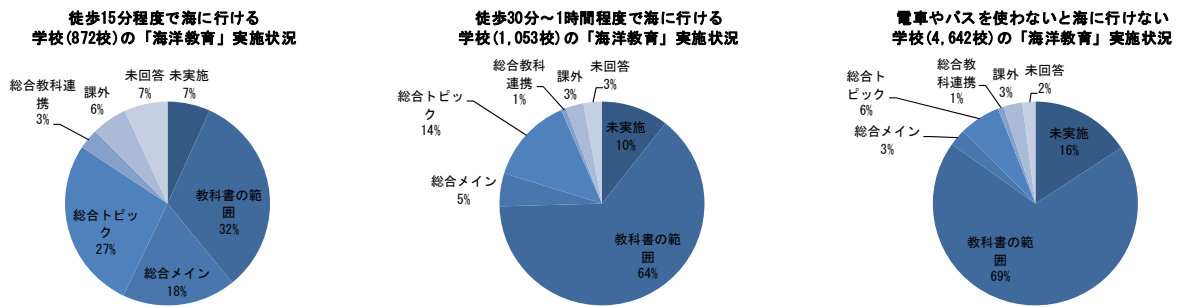
## (2) 学校のロケーションと海洋教育の実施状況

学校のロケーションと海洋教育の実施状況の関係を見るため、質問1と質問3のクロス集計を行ったところ、以下の通りであった。未実施と回答した学校は、徒歩15分程度の場合6.8%、電車やバスの場合16.8%であった。教科書以外で海洋教育を実施していると回答（「3」～「6」と回答）した学校は、徒歩15分程度の場合54%、電車やバスの場合13.1%であった。

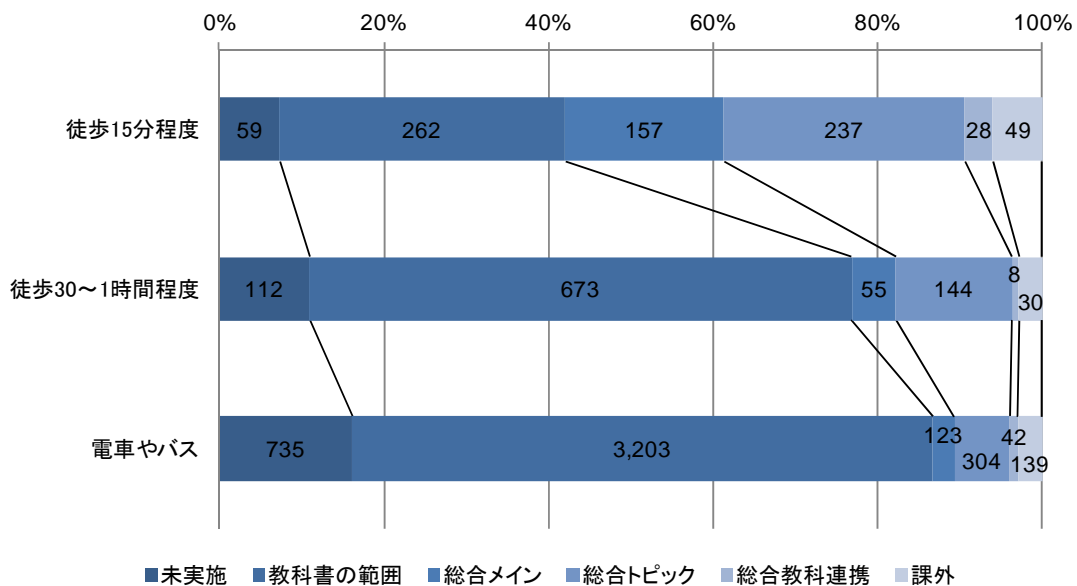
図表 42：ロケーション別の海洋教育の実施状況

	質問3：海洋教育の実施状況								計
	1 未実施	2 教科書の 範囲 の 教科書	3 メイン 総合	4 トピック 総合 ブック	5 総合 連携 教科 科	6 課外	0 未 回 答	3~6 で 実 施 以 外	
質問1 1 徒歩15分程度	59 6.8	282 32.3	157 18.0	237 27.2	28 3.2	49 5.6	60 6.9	471 54.0	872
2 徒歩30～ 1時間程度	112 10.6	673 63.9	55 5.2	144 13.7	8 0.8	30 2.8	31 2.9	237 22.5	1,053
3 電車やバス	735 15.8	3,203 69.0	123 2.6	304 6.5	42 0.9	139 3.0	96 2.1	608 13.1	4,642
0 未回答	16 11.5	55 39.6	5 3.6	10 7.2	0 0.0	3 2.2	50 36.0	18 12.9	139
計	922 13.7	4,213 62.8	340 5.1	695 10.4	78 1.2	221 3.3	237 3.5	1,334 19.9	6,706

※下段の数字は%



### 学校から海まで行くのに必要な時間と、海洋教育の実施状況



学校から海に行くのに必要な時間と、海洋教育の実施状況の関係を、 $\chi^2$ 二乗検定により分析したところ、有意水準 5%において、学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差があった。

徒歩 15 分程度の場合は、「未実施」が少なく、「教科書の範囲」が非常に少なかった。また、「総合教科連携」「課外」が多く、「総合メイン」「総合トピック」が多かった。

徒歩 30 分～1 時間の場合は、「未実施」が少なく、「総合トピック」が多かった。

電車やバスでないと行けない場合は、「総合教科連携」「課外」が少なく、「総合メイン」「総合トピック」が非常に少なかった。また、「未実施」が多く、「教科書の範囲」が非常に多かった。

図表 43：ロケーション別の海洋教育の実施状況の  $\chi^2$  二乗検定

$\chi^2$  二乗検定

帰無仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差はない

対立仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差がある

有意水準： 5 %

実測値：	未実施	教科書の範囲	総合メイン	総合トピック	総合教科連携	課外	計
徒歩15分程度	59	282	157	237	28	49	812
徒歩30～1時間程度	112	673	55	144	8	30	1,022
電車やバス	735	3,203	123	304	42	139	4,546
計	906	4,158	335	685	78	218	6,380

期待値：	未実施	教科書の範囲	総合メイン	総合トピック	総合教科連携	課外
徒歩15分程度	115.3	529.2	42.6	87.2	9.9	27.7
徒歩30～1時間程度	145.1	666.1	53.7	109.7	12.5	34.9
電車やバス	645.6	2962.7	238.7	488.1	55.6	155.3

統計量：	未実施	教科書の範囲	総合メイン	総合トピック	総合教科連携	課外
徒歩15分程度	27.49751727	115.4721088	306.7578988	257.4560622	32.9016317	16.28215179
徒歩30～1時間程度	7.563018126	0.07226787	0.033310541	10.7037712	1.616854599	0.693458655
電車やバス	12.39143947	19.48395812	56.08127322	69.43172659	3.317201575	1.717495144

$\chi^2$  二乗： 939.4731457

自由度： 10

p値： 2.0273E-195

結果： 帰無仮説を棄却

標準化残差：	未実施	教科書の範囲	総合メイン	総合トピック	総合教科連携	課外
徒歩15分程度	-5.2	-10.7	17.5	16.0	5.7	4.0
徒歩30～1時間程度	-2.8	0.3	0.2	3.3	-1.3	-0.8
電車やバス	3.5	4.4	-7.5	-8.3	-1.8	-1.3

調整化残差：	未実施	教科書の範囲	総合メイン	総合トピック	総合教科連携	課外
徒歩15分程度	-6.1	-19.5	19.3	18.2	6.2	4.4
徒歩30～1時間程度	-3.2	0.5	0.2	3.8	-1.4	-0.9
電車やバス	7.1	14.0	-14.3	-16.4	-3.4	-2.5

※2以上もしくは-2以下は特徴的



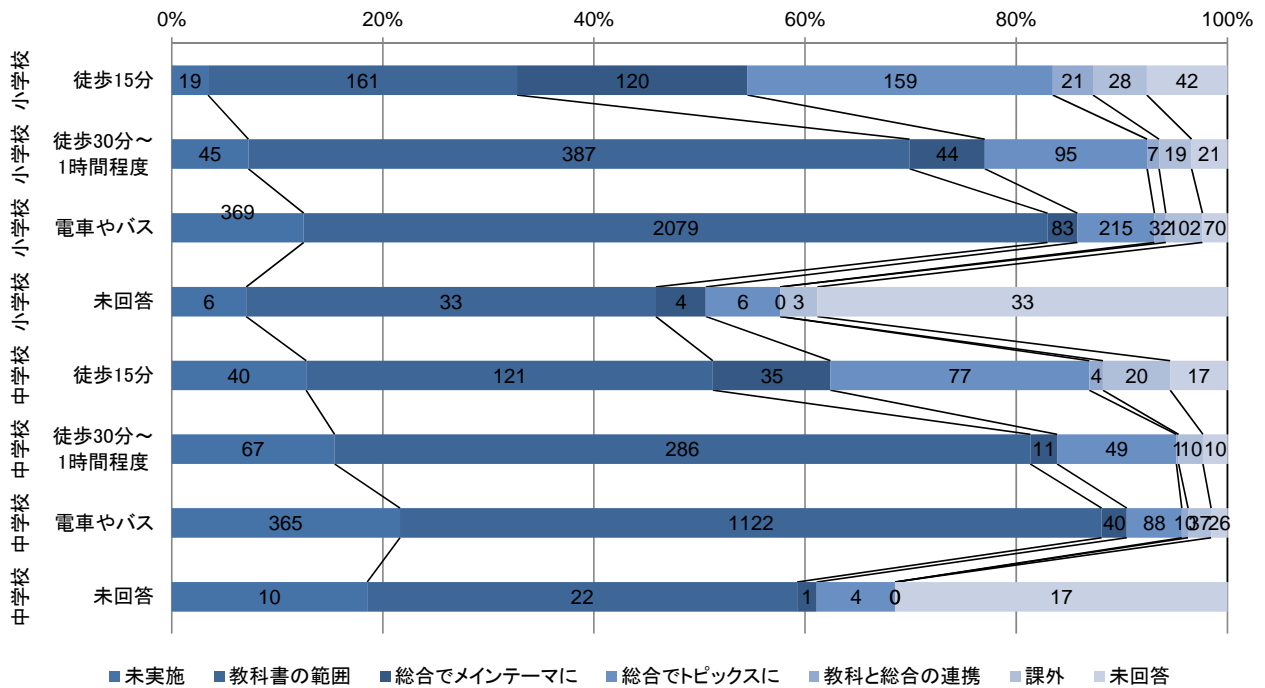
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 44：学校種別のロケーション別の海洋教育の実施状況

		質問3：海洋教育の実施状況								
		未実施	教科書の範囲	総合でメインテーマに	総合でピックスに	教科と総合の連携	総合の合計	課外	未回答	計
小学校	徒歩15分	19	161	120	159	21	300	28	42	550
	徒歩30分～1時間程度	45	387	44	95	7	146	19	21	618
	電車やバス	369	2,079	83	215	32	330	102	70	2,950
	未回答	6	33	4	6	0	10	3	33	85
	小計	439	2,660	251	475	60	786	152	166	4,203
中学校	徒歩15分	40	121	35	77	4	116	20	17	314
	徒歩30分～1時間程度	67	286	11	49	1	61	10	10	434
	電車やバス	365	1,122	40	88	10	138	37	26	1,688
	未回答	10	22	1	4	0	5	0	17	54
	小計	482	1,551	87	218	15	320	67	70	2,490
合計		921	4,211	338	693	75	1,106	219	236	6,693

※下段の数字は%

学校種別のロケーションと海洋教育の実施状況



学校から海に行くのに必要な時間と、海洋教育の実施状況の関係を、 $\chi$ 二乗検定により分析したところ、小学校の場合、有意水準 5%において、学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差があった。

徒歩 15 分程度の場合は、「未実施」が少なく、「教科書の範囲」が非常に少なかった。また、「総合教科連携」「課外」が多く、「総合メイン」「総合トピック」が非常に多かった。

徒歩 30 分～1 時間の場合は、「未実施」が少なく、「総合トピック」が多かった。

電車やバスでないと行けない場合は、「総合教科連携」が少なく、「総合メイン」「総合トピック」が非常に少なかった。また、「未実施」が多く、「教科書の範囲」が非常に多かった。

図表 45：小学校のロケーション別の海洋教育の実施状況の  $\chi$  二乗検定

$\chi$  二乗検定

帰無仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差はない  
 対立仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差がある

有意水準： 5 %

実測値：	未実施	教科書の範囲	総合でメイン	総合でトピック	教科と総合の連	課外	計
徒歩15分	19	161	120	159	21	28	508
徒歩30分～1時間程度	45	387	44	95	7	19	597
電車やバス	369	2,079	83	215	32	102	2,880
計	433	2,627	247	469	60	149	3,985

期待値：	未実施	教科書の範囲	総合でメイン	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	55.2	334.9	31.5	59.8	7.6	19.0
徒歩30分～1時間程度	64.9	393.6	37.0	70.3	9.0	22.3
電車やバス	312.9	1898.6	178.5	339.0	43.4	107.7

統計量：	未実施	教科書の範囲	総合でメイン	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	23.7380854	90.28755059	248.817562	164.6368948	23.30567075	4.269924599
徒歩30分～1時間程度	6.085504127	0.109198487	1.322869741	8.710031986	0.439991852	0.494374234
電車やバス	10.04511293	17.14917905	51.10121331	45.32768416	2.977424602	0.300005579

$\chi$  二乗： 699.1182782

自由度： 10

p値： 9.7107E-144

結果： 帰無仮説を棄却

標準化残差：	未実施	教科書の範囲	総合でメイン	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	-4.9	-9.5	15.8	12.8	4.8	2.1
徒歩30分～1時間程度	-2.5	-0.3	1.2	3.0	-0.7	-0.7
電車やバス	3.2	4.1	-7.1	-6.7	-1.7	-0.5

調整化残差：	未実施	教科書の範囲	総合でメイン	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	-5.5	-17.4	17.4	14.6	5.2	2.3
徒歩30分～1時間程度	-2.8	-0.6	1.3	3.4	-0.7	-0.8
電車やバス	6.4	13.5	-14.0	-13.6	-3.3	-1.1

学校から海に行くのに必要な時間と、海洋教育の実施状況の関係を、 $\chi$ 二乗検定により分析したところ、中学校の場合も、有意水準 5%において、学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差があった。

徒歩 15 分程度の場合は、「未実施」が少なく、「教科書の範囲」が非常に少なかった。また、「課外」が多く、「総合メイン」「総合トピック」が非常に多かった。

徒歩 30 分～1 時間の場合は、「未実施」が少なく、「総合トピック」が多かった。

電車やバスでないと行けない場合は、「総合でメイン」「課外」が少なく、「総合トピック」が非常に少なかった。また、「未実施」「教科書の範囲」が多かった。

図表 46：中学校のロケーション別の海洋教育の実施状況の  $\chi$  二乗検定

$\chi$  二乗検定

帰無仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差はない

対立仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、海洋教育の実施状況に差がある

有意水準： 5 %

実測値：	未実施	教科書の範囲	総合でメインテ	総合でトピック	教科と総合の連	課外	計
徒歩15分	40	121	35	77	4	20	297
徒歩30分～1時間程度	67	286	11	49	1	10	424
電車やバス	365	1,122	40	88	10	37	1,662
計	472	1,529	86	214	15	67	2,383

期待値：	未実施	教科書の範囲	総合でメインテ	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	58.8	190.6	10.7	26.7	1.9	8.4
徒歩30分～1時間程度	84.0	272.1	15.3	38.1	2.7	11.9
電車やバス	329.2	1066.4	60.0	149.3	10.5	46.7

統計量：	未実施	教科書の範囲	総合でメインテ	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	6.02522811	25.39357799	55.00763209	94.96927651	2.427965862	16.25230328
徒歩30分～1時間程度	3.433761455	0.715281357	1.209328024	3.133848749	1.043590277	0.309589965
電車やバス	3.895082045	2.900365569	6.655479297	25.13753437	0.020367562	2.025393472

$\chi$  二乗： 250.555606

自由度： 10

p値： 4.14766E-48

結果： 帰無仮説を棄却

標準化残差：	未実施	教科書の範囲	総合でメインテ	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	-2.5	-5.0	7.4	9.7	1.6	4.0
徒歩30分～1時間程度	-1.9	0.8	-1.1	1.8	-1.0	-0.6
電車やバス	2.0	1.7	-2.6	-5.0	-0.1	-1.4

調整化残差：	未実施	教科書の範囲	総合でメインテ	総合でトピック	教科と総合の連	課外
徒歩15分	-2.9	-9.0	8.1	10.9	1.7	4.4
徒歩30分～1時間程度	-2.3	1.6	-1.2	2.0	-1.1	-0.6
電車やバス	4.0	5.2	-4.8	-9.6	-0.3	-2.6

※2以上もしくは-2以下は特徴的

### (3) 学校のロケーションと学校外機関に期待するサポート

学校のロケーションと学校外機関に期待するサポートの関係を見るため、質問1と質問4のクロス集計を行った。外部講師や共同開発が有効と回答した学校は、徒歩15分程度の場合それぞれ58.3%、9.4%であったが、電車やバスの場合、それぞれ47.7%、3.5%と少なかった。逆に教材や情報発信、体験学習プログラムが有効と回答した学校は、徒歩15分の場合それぞれ46.0%、21.7%、31.0%であったが、電車やバスの場合、それぞれ49.6%、25.2%、36.5%と多かった。

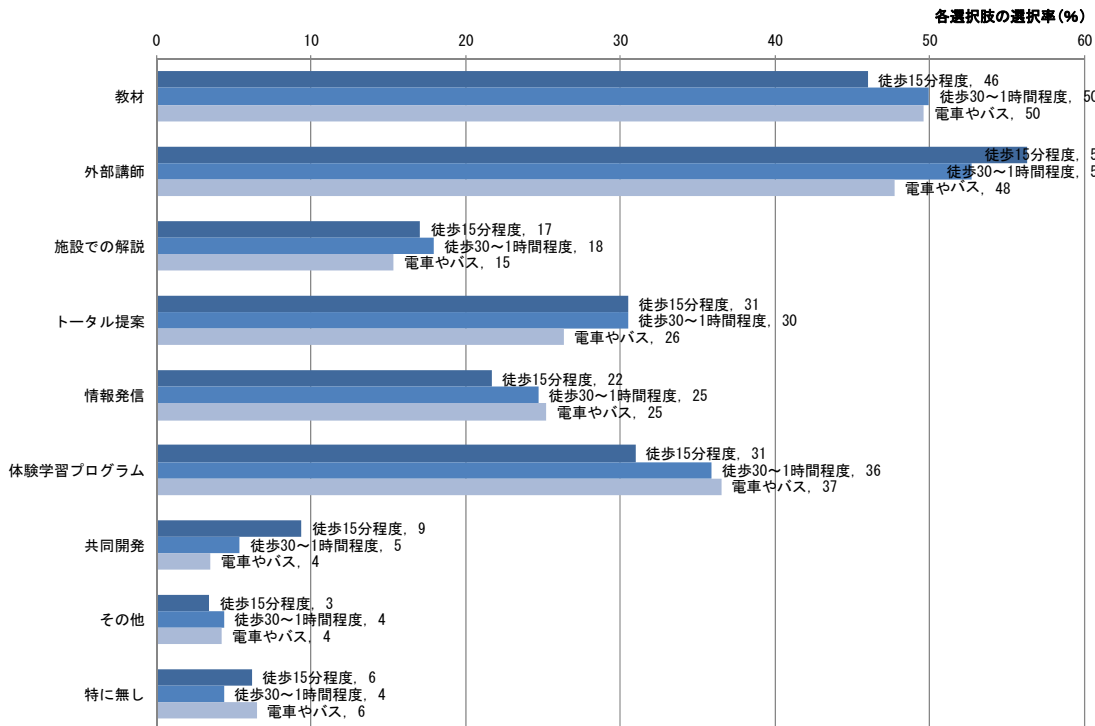
図表 47：ロケーション別の学校外機関に期待するサポート

質問1	質問4：有用な学校外機関サポート														
	1 教材			2 外部講師			3 施設での解説			4 トータル提案			5 情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
1 徒歩15分程度	401	471	872	491	381	872	149	723	872	266	606	872	189	683	872
	46.0	54.0	100.0	56.3	43.7	100.0	17.1	82.9	100.0	30.5	69.5	100.0	21.7	78.3	100.0
2 徒歩30～1時間程度	526	527	1,053	555	498	1,053	189	864	1,053	321	732	1,053	260	793	1,053
	50.0	50.0	100.0	52.7	47.3	100.0	17.9	82.1	100.0	30.5	69.5	100.0	24.7	75.3	100.0
3 電車やバス	2,304	2,338	4,642	2,215	2,427	4,642	713	3,929	4,642	1,223	3,419	4,642	1,171	3,471	4,642
	49.6	50.4	100.0	47.7	52.3	100.0	15.4	84.6	100.0	26.3	73.7	100.0	25.2	74.8	100.0
0 未回答	61	78	139	58	81	139	11	128	139	39	100	139	32	107	139
	43.9	56.1	100.0	41.7	58.3	100.0	7.9	92.1	100.0	28.1	71.9	100.0	23.0	77.0	100.0
計	3,292	3,414	6,706	3,319	3,387	6,706	1,062	5,644	6,706	1,849	4,857	6,706	1,652	5,054	6,706
	49.1	50.9	100.0	49.5	50.5	100.0	15.8	84.2	100.0	27.6	72.4	100.0	24.6	75.4	100.0

質問1	質問4：有用な学校外機関サポート														
	6 体験学習プログラム			7 共同開発			8 その他			9 特に無し			0 未回答		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
1 徒歩15分程度	270	602	872	82	790	872	30	842	872	54	818	872	65	807	872
	31.0	69.0	100.0	9.4	90.6	100.0	3.4	96.6	100.0	6.2	93.8	100.0	7.5	92.5	100.0
2 徒歩30～1時間程度	378	675	1,053	57	996	1,053	46	1,007	1,053	46	1,007	1,053	90	963	1,053
	35.9	64.1	100.0	5.4	94.6	100.0	4.4	95.6	100.0	4.4	95.6	100.0	8.5	91.5	100.0
3 電車やバス	1,695	2,947	4,642	163	4,479	4,642	197	4,445	4,642	301	4,341	4,642	451	4,191	4,642
	36.5	63.5	100.0	3.5	96.5	100.0	4.2	95.8	100.0	6.5	93.5	100.0	9.7	90.3	100.0
0 未回答	40	99	139	4	135	139	2	137	139	6	133	139	34	105	139
	28.8	71.2	100.0	2.9	97.1	100.0	1.4	98.6	100.0	4.3	95.7	100.0	24.5	75.5	100.0
計	2,383	4,323	6,706	306	6,400	6,706	275	6,431	6,706	407	6,299	6,706	640	6,066	6,706
	35.5	64.5	100.0	4.6	95.4	100.0	4.1	95.9	100.0	6.1	93.9	100.0	9.5	90.5	100.0

※下段の数字は%

学校から海まで行くのに必要な時間と、有用だと考える学校外機関のサポート



学校から海に行くのに必要な時間と、学校外機関の各サポートが有用だと考えるかどうかの関係、 $\chi^2$ 乗検定により分析したところ、有意水準 5%において、以下のような結果になった。

「教材」「施設での解説」「情報発信」に関しては差が見られなかった。

「外部講師」と「共同開発」は、徒歩 15 分程度の場合は有用だと考えられ、電車やバスの場合は有用だと考えられない傾向にあった。「トータル提案」は、徒歩 15 分及び徒歩 30～1 時間の場合は有用だと考えられ、電車やバスの場合は有用だと考えられない傾向にあった。「体験学習プログラム」は、電車やバスの場合に有用だと考えられ、徒歩 15 分程度の場合は有用だと考えられない傾向にあった。

図表 48：ロケーション別の学校外機関に期待するサポートの $\chi^2$ 乗検定

$\chi^2$ 乗検定

帰無仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差はない  
対立仮説： 学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差がある

有意水準： 5%

実測値：	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分程度	401	471	872	491	381	872	149	723	872	266	606	872	189	683	872
徒歩30～1時間程度	526	527	1,053	555	498	1,053	189	864	1,053	321	732	1,053	260	793	1,053
電車やバス	2,304	2,338	4,642	2,215	2,427	4,642	713	3,929	4,642	1,223	3,419	4,642	1,171	3,471	4,642
計	3,231	3,336	6,567	3,261	3,306	6,567	1,051	5,516	6,567	1,810	4,757	6,567	1,620	4,947	6,567

実測値：	体験学習プログラム			共同開発			その他			特に無し			未回答		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分程度	270	602	872	82	790	872	30	842	872	54	818	872	65	807	872
徒歩30～1時間程度	378	675	1,053	57	996	1,053	46	1,007	1,053	46	1,007	1,053	90	963	1,053
電車やバス	1,695	2,947	4,642	163	4,479	4,642	197	4,445	4,642	301	4,341	4,642	451	4,191	4,642
計	2,343	4,224	6,567	302	6,265	6,567	273	6,294	6,567	401	6,166	6,567	606	5,961	6,567

期待値：

期待値：	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	429.0	443.0	433.0	439.0	139.6	732.4	240.3	631.7	215.1	656.9
徒歩30～1時間程度	518.1	534.9	522.9	530.1	168.5	884.5	290.2	762.8	259.8	793.2
電車やバス	2283.9	2358.1	2305.1	2336.9	742.9	3899.1	1279.4	3362.6	1145.1	3496.9

期待値：	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	311.1	560.9	40.1	831.9	36.3	835.7	53.2	818.8
徒歩30～1時間程度	375.7	677.3	48.4	1004.6	43.8	1009.2	64.3	988.7
電車やバス	1656.2	2985.8	213.5	4428.5	193.0	4449.0	283.5	4358.5

統計量：

統計量：	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	1.83114	1.77351	7.76553	7.65983	0.63893	0.12174	2.73935	1.0423	3.16966	1.03797
徒歩30～1時間程度	0.12102	0.11721	1.97156	1.94472	2.48764	0.47399	3.26257	1.24138	0.00022	7.1E-05
電車やバス	0.17708	0.17151	3.52141	3.47348	1.20482	0.22956	2.48892	0.94701	0.58464	0.19145

統計量：	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	5.43364	3.01397	43.7773	2.11025	1.07769	0.04674	0.01065	0.00069
徒歩30～1時間程度	0.01416	0.00785	1.5185	0.0732	0.11312	0.00491	5.20786	0.33869
電車やバス	0.9094	0.50443	11.9341	0.57528	0.08396	0.00364	1.08612	0.07063

$\chi^2$ 乗：

$\chi^2$ 乗：	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	4.19146907	26.33652716	5.156678396	11.72153969	4.984015273
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	9.883465806	59.9886269	1.330059084	6.714650379	

自由度：

自由度：	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	2	2	2	2	2
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	2	2	2	2	

p値：

p値：	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	0.122979877	1.91027E-06	0.075899954	0.00284905	0.08274368
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	0.007142211	9.41099E-14	0.514258338	0.034828294	

結果：

結果：	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却できない
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却	

標準化残差：

標準化残差：	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	-1.4	1.3	2.8	-2.8	0.8	-0.3	1.7	-1.0	-1.8	1.0
徒歩30～1時間程度	0.3	-0.3	1.4	-1.4	1.6	-0.7	1.8	-1.1	0.0	0.0
電車やバス	0.4	-0.4	-1.9	1.9	-1.1	0.5	-1.6	1.0	0.8	-0.4

標準化残差：	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	-2.3	1.7	6.6	-1.5	-1.0	0.2	0.1	0.0
徒歩30～1時間程度	0.1	-0.1	1.2	-0.3	0.3	-0.1	-2.3	0.6
電車やバス	1.0	-0.7	-3.5	0.8	0.3	-0.1	1.0	-0.3

標準化残差：

標準化残差：	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	-2.0	2.0	4.2	-4.2	0.9	-0.9	2.1	-2.1	-2.2	2.2
徒歩30～1時間程度	0.5	-0.5	2.2	-2.2	1.9	-1.9	2.3	-2.3	0.0	0.0
電車やバス	1.1	-1.1	-4.9	4.9	-2.2	2.2	-3.4	3.4	1.6	-1.6

標準化残差：	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分程度	-3.1	3.1	7.3	-7.3	-1.1	1.1	0.1	-0.1
徒歩30～1時間程度	0.2	-0.2	1.4	-1.4	0.4	-0.4	-2.6	2.6
電車やバス	2.2	-2.2	-6.5	6.5	0.5	-0.5	2.0	-2.0

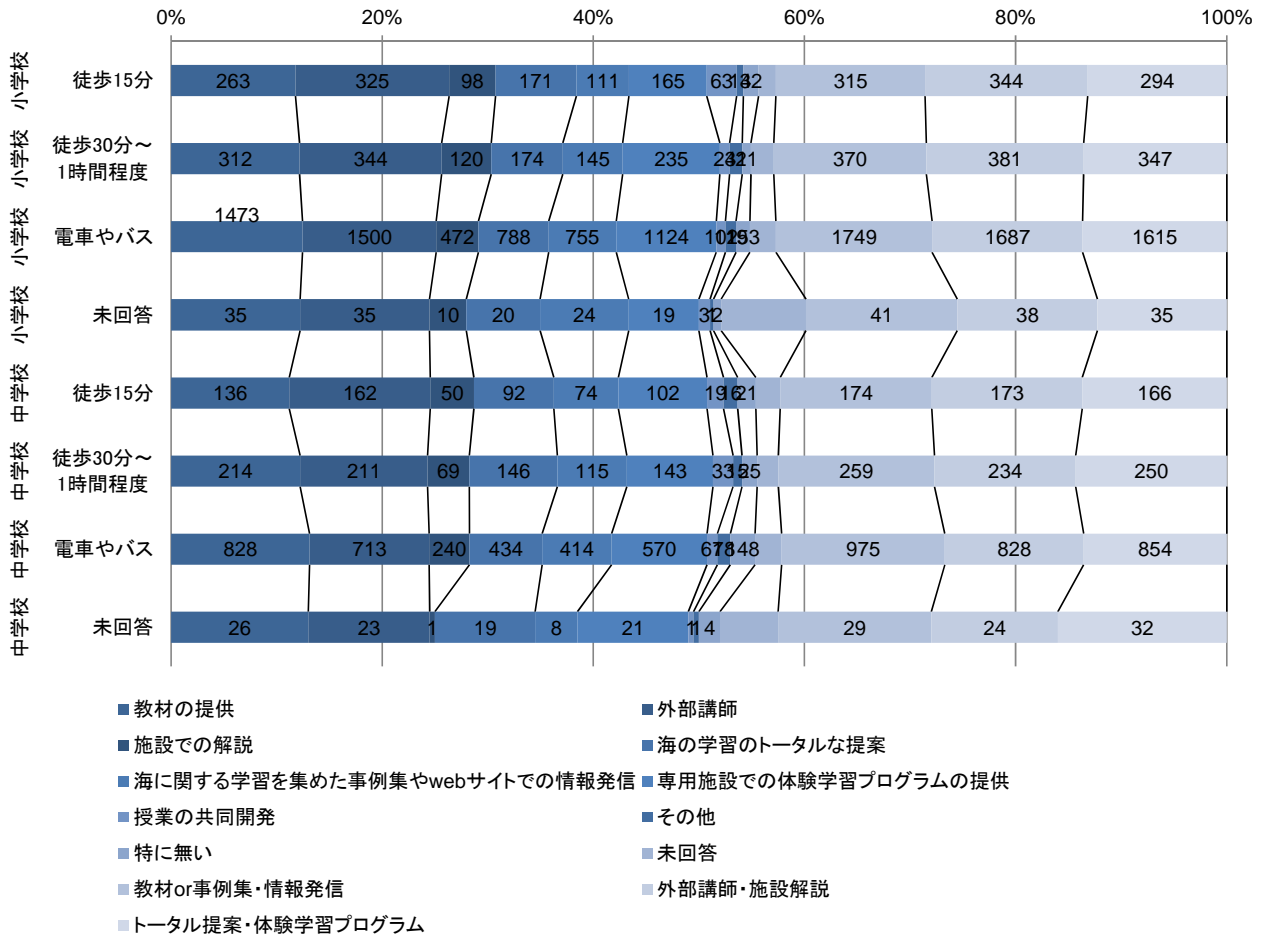
学校種別に集計したところ、以下のようになった。

図表 49：学校種別のロケーション別の学校外機関に期待するサポート

質問1：ロケーション	当該学校数	質問3：海洋教育の実施状況													
		教材の提供	外部講師	施設での解説	海の学習のトータルな提案	海に関する学習を集めた事例集やwebサイトでの情報発信	専用施設での体験学習プログラムの提供	授業の共同開発	その他	特に無い	未回答	教材or事例集・情報発信	外部講師・施設解説	トータル提案・体験学習プログラム	
小学校	徒歩15分	550	263	325	98	171	111	165	63	14	32	37	315	344	294
	徒歩30分～1時間程度	618	312	344	120	174	145	235	24	31	21	55	370	381	347
	電車やバス	2,950	1,473	1,500	472	788	755	1,124	102	119	153	294	1,749	1,687	1,615
	未回答	85	35	35	10	20	24	19	3	1	2	23	41	38	35
小計	4,203	2,083	2,204	700	1,153	1,035	1,543	192	165	208	409	2,475	2,450	2,291	
中学校	徒歩15分	314	136	162	50	92	74	102	19	16	21	28	174	173	166
	徒歩30分～1時間程度	434	214	211	69	146	115	143	33	15	25	35	259	234	250
	電車やバス	1,688	828	713	240	434	414	570	61	78	148	157	975	828	854
	未回答	54	26	23	1	19	8	21	1	1	4	11	29	24	32
小計	2,490	1,204	1,109	360	691	611	836	114	110	198	231	1,437	1,259	1,302	
合計	6,693	3,287	3,313	1,060	1,844	1,646	2,379	306	275	406	640	3,912	3,709	3,593	

※下段の数字は%

学校種別のロケーションと海洋教育の実施状況



学校から海に行くのに必要な時間と、学校外機関の各サポートが有用だと考えるかどうかの関係を、 $\chi^2$ 乗検定により分析したところ、小学校の場合、有意水準 5%において、以下のような結果になった。

「教材」「施設での解説」「トータル提案」「その他」「特に無し」「教材 or 情報発信」「トータル提案 or 体験学習プログラム」に関しては差が見られなかった。

「外部講師」「共同開発」「外部講師 or 施設での解説」は、徒歩 15 分程度の場合は有用だと考えられ、電車やバスの場合は有用だと考えられない傾向にあった。「情報発信」「体験学習プログラム」は、電車やバスの場合に有用だと考えられ、徒歩 15 分程度の場合は有用だと考えられない傾向にあった。

図表 50：小学校のロケーション別の学校外機関に期待するサポート

$\chi^2$ 乗検定  
 帰無仮説：学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用かどうかには差はない  
 対立仮説：学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用かどうかには差がある  
 有意水準：5%

実測値：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	263	281	544	350	323	673	560	981	1,541	550	171	721	550	111	661
徒歩30分～1時間程度	312	306	618	344	274	618	618	120	738	618	174	792	444	618	1,062
電車やバス	1,473	1,477	2,950	1,500	1,450	2,950	472	2,478	2,950	788	2,162	2,950	755	2,195	2,950
計	2,048	2,070	4,118	2,168	1,949	4,118	690	3,428	4,118	1,133	2,985	4,118	1,011	3,107	4,118

期待値：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	273.5	276.5	550	289.1	260.9	550	92.7	457.3	550	151.3	398.7	550	135.0	415.0	550
徒歩30分～1時間程度	307.3	310.7	618	325.3	292.7	618	103.6	514.4	618	170.0	448.0	618	151.7	466.3	618
電車やバス	1467.1	1482.9	2950	1553.8	1396.2	2950	494.3	2455.7	2950	811.8	2138.2	2950	724.2	2225.8	2950

統計量：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	0.49543	0.40119	0.44831	0.30348	0.29652	0.30000	0.37651	0.67449	0.52500	0.55883	0.97113	0.72811	1.33142	0.86642	0.91458
徒歩30分～1時間程度	0.07038	0.09963	0.08500	0.09051	0.10949	0.10000	0.21316	0.25299	0.23000	0.09257	0.03514	0.06385	0.29790	0.09965	0.19878
電車やバス	0.02357	0.02322	0.02339	0.02894	0.07111	0.05000	0.00546	0.20238	0.00000	0.68877	0.26143	0.19582	1.30582	0.42491	0.42491

$\chi^2$ 乗検定

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	0.95344454	15.24832069	4.79212086	4.607583841	7.793169001										
徒歩30分～1時間程度	13.31327742	68.53264579	4.717497149	4.32773984											
電車やバス	0.954705351	8.328230243	0.858926561												

自由度：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
徒歩30分～1時間程度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
電車やバス	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

p値：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	0.00321991	0.00048505	0.01076048	0.00937939	0.00231166										
徒歩30分～1時間程度	0.001246222	1.31607E-15	0.094538457	0.114879655											
電車やバス	0.02042382	0.01555914	0.65893322												

結果：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	0.6	0.2	0.8	1.2	-1.4	-0.2	1.3	-0.7	0.6	-2.1	1.2	-0.9	0.9	0.0	
徒歩30分～1時間程度	0.2	-0.3	-0.1	1.0	-1.2	-0.2	0.5	-0.5	0.0	-0.7	0.0	-0.7	0.0	0.0	
電車やバス	0.1	-0.2	-0.1	-1.0	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	-1.8	1.8	-0.0	1.8	1.8	

標準化残差：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	-0.6	0.6	0.0	1.2	-1.4	-0.2	1.3	-0.7	0.6	-2.1	1.2	-0.9	0.9	0.0	
徒歩30分～1時間程度	0.3	-0.3	0.0	1.0	-1.2	-0.2	0.5	-0.5	0.0	-0.7	0.0	-0.7	0.0	0.0	
電車やバス	0.2	-0.2	0.0	-1.0	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	-1.8	1.8	-0.0	1.8	1.8	

標準化残差：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	-1.0	1.0	0.0	3.2	-3.2	0.0	0.7	-0.7	0.0	-2.0	2.0	-2.6	2.6	0.0	
徒歩30分～1時間程度	0.4	-0.4	0.0	1.7	-1.7	0.0	1.1	-1.1	0.0	-1.3	1.3	-0.7	0.7	0.0	
電車やバス	0.4	-0.4	0.0	-3.7	3.7	0.0	-2.1	2.1	0.0	-1.8	1.8	-2.9	2.9	0.0	

標準化残差：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	-3.7	3.7	0.0	8.3	-8.3	0.0	-1.9	1.9	0.0	0.9	-0.9	0.0	0.9	0.9	
徒歩30分～1時間程度	0.6	-0.6	0.0	-0.9	0.9	0.0	1.4	-1.4	0.0	-2.0	2.0	-0.9	0.9	0.0	
電車やバス	2.3	-2.3	0.0	-5.5	5.5	0.0	0.3	-0.3	0.0	0.9	-0.9	0.0	0.9	0.9	

標準化残差：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
徒歩15分	-0.9	0.9	0.0	2.0	-2.0	0.0	-0.7	0.7	0.0	-1.7	1.7	-1.7	1.7	0.0	
徒歩30分～1時間程度	0.4	-0.4	0.0	1.7	-1.7	0.0	1.1	-1.1	0.0	-1.3	1.3	-0.7	0.7	0.0	
電車やバス	0.4	-0.4	0.0	-2.9	2.9	0.0	-0.1	0.1	0.0	-1.8	1.8	-2.9	2.9	0.0	

学校から海に行くのに必要な時間と、学校外機関の各サポートが有用だと考えるかどうかの関係を、 $\chi^2$ 乗検定により分析したところ、中学校の場合、有意水準 5%において、以下のような結果になった。

「教材」「施設での解説」「情報発信」「体験学習プログラム」「その他」「特に無し」「教材 or 情報発信」に関しては差が見られなかった。

「外部講師」は、徒歩 15 分程度の場合には有用だと考えられ、電車やバスの場合には有用だと考えられない傾向にあった。「トータル提案」「共同開発」「トータル提案 or 体験学習プログラム」は、徒歩 30 分～1 時間程度の場合に有用だと考えられ、電車やバスの場合には有用だと考えられない傾向にあった。「外部講師 or 施設での解説」は、電車やバスの場合に有用だと考えられる傾向にあった。

図表 51：中学校のロケーション別の学校外機関に期待するサポート

$\chi^2$ 乗検定

帰無仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用かどうかの違いはない  
 対立仮説: 学校から海まで行くのに必要な時間によって、学校外機関の各サポートが有用かどうかの違いがある

有意水準: 5%

実測値:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	196	178	314	162	314	50	284	314	322	314
徒歩30分～1時間程度	210	229	434	229	434	80	424	434	161	434
電車やバス	828	860	1,688	713	975	1,688	240	1,688	434	1,688
計	1,178	1,253	2,436	1,085	1,350	2,436	350	2,077	2,436	603

実測値:	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し		未回答	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	102	212	314	19	295	314	18	298	314	21
徒歩30分～1時間程度	141	271	434	21	411	434	21	419	434	31
電車やバス	570	1,118	1,688	61	1,627	1,688	79	1,610	1,688	148
計	813	1,621	2,436	113	2,323	2,436	100	2,327	2,436	220

実測値:	教材 or 情報発信		外部講師・施設解説		トータル・体験学習プロ	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	174	140	314	173	141	314
徒歩30分～1時間程度	250	173	434	234	209	434
電車やバス	975	713	1,688	823	860	1,688
計	1,400	1,023	2,436	1,235	1,201	2,436

期待値:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	151.8	162.2	140.0	174.0	46.3	267.7	86.6	227.4	77.7	236.3
徒歩30分～1時間程度	209.0	224.1	193.0	240.5	64.0	370.0	119.7	314.3	107.4	325.6
電車やバス	816.3	871.7	752.0	855.5	248.0	1,459.3	465.1	1,222.3	417.9	1,270.7

期待値:	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	105.1	208.9	14.1	299.4	14.1	299.0	25.0	299.0
徒歩30分～1時間程度	145.2	288.8	20.1	413.9	19.4	414.4	34.0	399.4
電車やバス	564.7	1,123.3	78.3	1,609.7	75.5	1,612.5	134.4	1,553.6

期待値:	教材 or 情報発信		外部講師・施設解説		トータル・体験学習プロ	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	181.3	132.5	159.2	154.8	163.7	150.3
徒歩30分～1時間程度	258.4	183.1	220.8	214.0	238.3	203.7
電車やバス	975.7	712.3	655.8	632.2	680.0	695.0

統計量:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	1.65321	1.54500	3.46215	2.78511	0.20984	0.05183	0.33407	0.17720	0.17867	0.05378
徒歩30分～1時間程度	0.08113	0.07937	1.58565	1.27581	0.39710	0.08865	5.78670	2.19688	0.53397	0.17543
電車やバス	0.18823	0.15731	2.07613	1.07089	0.30884	0.05338	2.15191	0.81978	0.05333	0.01762

統計量:	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	0.08873	0.24468	1.34991	0.05487	0.27063	0.07388	0.43109	0.05655
徒歩30分～1時間程度	0.03337	0.01678	8.22468	0.40008	1.00531	0.04711	2.84033	0.22989
電車やバス	0.04889	0.02458	3.82310	0.18598	0.08076	0.00378	1.36977	0.11853

統計量:	教材 or 情報発信		外部講師・施設解説		トータル・体験学習プロ	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	0.30919	0.42348	1.19781	1.23172	0.03224	0.03511
徒歩30分～1時間程度	0.26473	0.26024	0.05713	0.31265	2.89023	2.71201
電車やバス	0.00441	0.00671	0.90733	0.92351	0.70001	0.83579

$\chi^2$ 乗:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
3.684194362			12.8502931		1.179720652		11.38644679		0.993092181	
0.256679023			14.04955555		1.420745944		5.060768013			

自由度:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2										

p値:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	0.158494661	0.114924661	0.001615432	0.001615432	0.354402107	0.00261518	1.38644679	0.00261518	0.608627054	
0.879422786			0.000885655		0.491460862		0.079628437			

結果:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない
帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない

標準化残差:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-1.3	1.3	1.3	-1.3	0.3	-0.2	0.3	-0.4	-0.4	0.3
徒歩30分～1時間程度	0.3	-0.3	-1.3	1.3	0.8	-0.8	2.4	-1.5	0.7	-0.4
電車やバス	0.4	-0.4	-1.4	1.3	-0.6	0.2	-1.3	0.9	-0.2	0.1

標準化残差:	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-0.3	0.2	1.2	-0.3	0.5	-0.1	-0.8	0.2
徒歩30分～1時間程度	-0.2	0.1	2.7	-0.4	-1.0	-0.2	-1.8	-0.5
電車やバス	0.2	-0.2	-2.0	0.4	-0.3	-0.1	1.3	-0.3

標準化残差:	教材 or 情報発信		外部講師・施設解説		トータル・体験学習プロ	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-0.4	0.2	-1.1	-1.1	0.3	-0.3
徒歩30分～1時間程度	0.3	-0.6	0.9	-1.0	1.6	-1.6
電車やバス	0.0	0.0	-0.9	1.0	-0.9	0.9

標準化残差:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-1.0	0.0	2.7	-2.7	0.8	-0.8	0.7	-0.7	-0.5	0.5
徒歩30分～1時間程度	0.4	-0.4	1.0	-1.0	-1.1	1.1	-3.1	3.1	-0.4	0.4

標準化残差:	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-0.4	0.4	1.3	-1.3	0.6	-0.6	-0.9	0.9
徒歩30分～1時間程度	-0.2	0.2	3.2	-3.2	-1.1	1.1	-1.9	1.9
電車やバス	0.3	-0.3	-3.6	3.6	0.5	-0.5	2.2	-2.2

標準化残差:	教材 or 情報発信		外部講師・施設解説		トータル・体験学習プロ	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
徒歩15分	-0.9	0.9	1.5	-1.5	2.6	-2.5
徒歩30分～1時間程度	0.9	-0.9	-2.4	2.4	-2.3	2.3
電車やバス	-0.1	0.1				



#### (4) 海洋教育の実施状況と海洋教育内容の自由記述の有無

設問3と設問3-2の自由記述の有無のクロス集計を行ったところ、総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校（質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校1,334校）はいずれも96%以上が自由記述に回答した。

図表52：海洋教育の実施状況と海洋教育内容の自由記述の有無

	質問3-2			計
	有り	無し	未回答	
1 未実施	6 0.7	914 99.1	2 0.2	922
2 教科書の範囲	33 0.8	4,172 99.0	8 0.2	4,213
3 総合でメインテーマに	333 97.9	6 1.8	1 0.3	340
4 総合でトピックスに	689 99.1	6 0.9	0 0.0	695
5 教科と総合の連携	78 100.0	0 0.0	0 0.0	78
6 課外	213 96.4	8 3.6	0 0.0	221
0 未回答	126 53.2	38 16.0	73 30.8	237
計	1,478 22.0	5,144 76.7	84 1.3	6,706

※下段の数字は%

## (5) 海洋教育の実施状況と体験学習の有無

海洋教育の実施状況と体験学習の有無の関係を見るため、設問3と設問3-3の体験学習の有無のクロス集計を行った。総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校（質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校1,334校）は、いずれも67%以上が体験学習に取り組んでいた。

図表 53：海洋教育の実施状況と体験学習の有無

	質問3-3			計
	有り	無し	未回答	
1 未実施	4 0.4	0 0.0	918 99.6	922
2 教科書の範囲	37 0.9	14 0.3	4,162 98.8	4,213
3 総合でメインテーマに	263 77.4	44 12.9	33 9.7	340
4 総合でトピックスに	466 67.1	143 20.6	86 12.4	695
5 教科と総合の連携	63 80.8	10 12.8	5 6.4	78
6 課外	169 76.5	29 13.1	23 10.4	221
0 未回答	113 47.7	25 10.5	99 41.8	237
計	1,115 16.6	265 4.0	5,326 79.4	6,706

※下段の数字は%

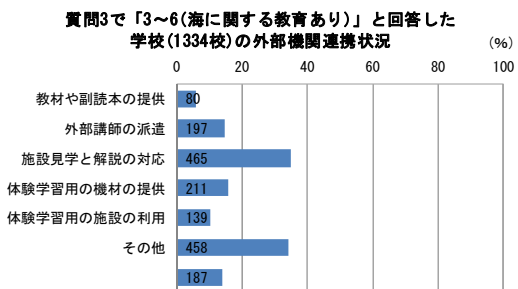
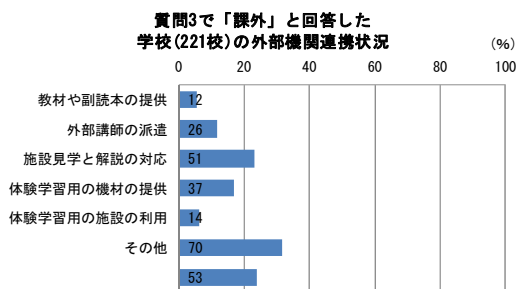
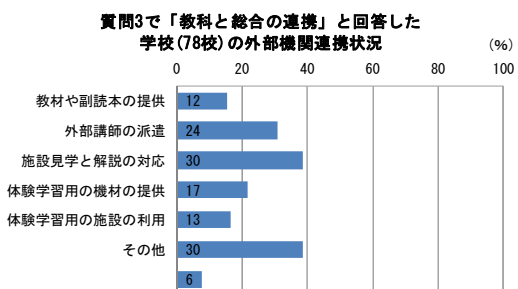
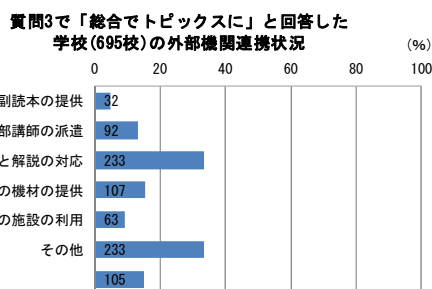
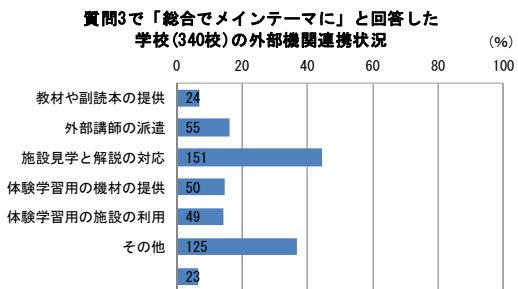
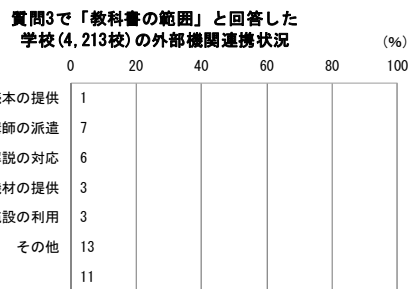
## (6) 海洋教育の実施状況と学校外機関・個人の協力

海洋教育の実施状況と学校外機関・個人の協力の関係を見るため、設問3と設問3-4のクロス集計を行った。総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校（質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校1,334校）は、83.1%が学校外機関・団体と連携を行っていた。

図表54：海洋教育の実施状況と学校外機関・個人の協力状況

	質問3-4								n	
	1 大学や研究機関	2 水族館等の博物館	3 漁業協同組合等の漁業関連団体	4 財団法人等の公益機関	5 市民団体やNPO等	6 その他	7 連携なし	0 未回答		8 1~6のいずれかと連携あり
1 未実施	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	920 99.8	1 0.1	922
2 教科書の範囲	1 0.0	7 0.2	6 0.1	3 0.1	3 0.1	13 0.3	11 0.3	4,179 99.2	23 0.5	4,213
3 総合でメインテーマに	24 7.1	55 16.2	151 44.4	50 14.7	49 14.4	125 36.8	23 6.8	14 4.1	304 89.4	340
4 総合でトピックスに	32 4.6	92 13.2	233 33.5	107 15.4	63 9.1	233 33.5	105 15.1	20 2.9	570 82.0	695
5 教科と総合の連携	12 15.4	24 30.8	30 38.5	17 21.8	13 16.7	30 38.5	6 7.7	0 0.0	73 93.6	78
6 課外	12 5.4	26 11.8	51 23.1	37 16.7	14 6.3	70 31.7	53 24.0	7 3.2	162 73.3	221
0 未回答	11 4.6	21 8.9	47 19.8	23 9.7	16 6.8	46 19.4	29 12.2	99 41.8	112 47.3	237
3~6の合計	80 6.0	197 14.8	465 34.9	211 15.8	139 10.4	458 34.3	187 14.0	41 3.1	1,109 83.1	1,334
総計	92 1.4	225 3.4	518 7.7	237 3.5	158 2.4	518 7.7	228 3.4	5,239 78.1	1,245 18.6	6,706

※下段の数字は%



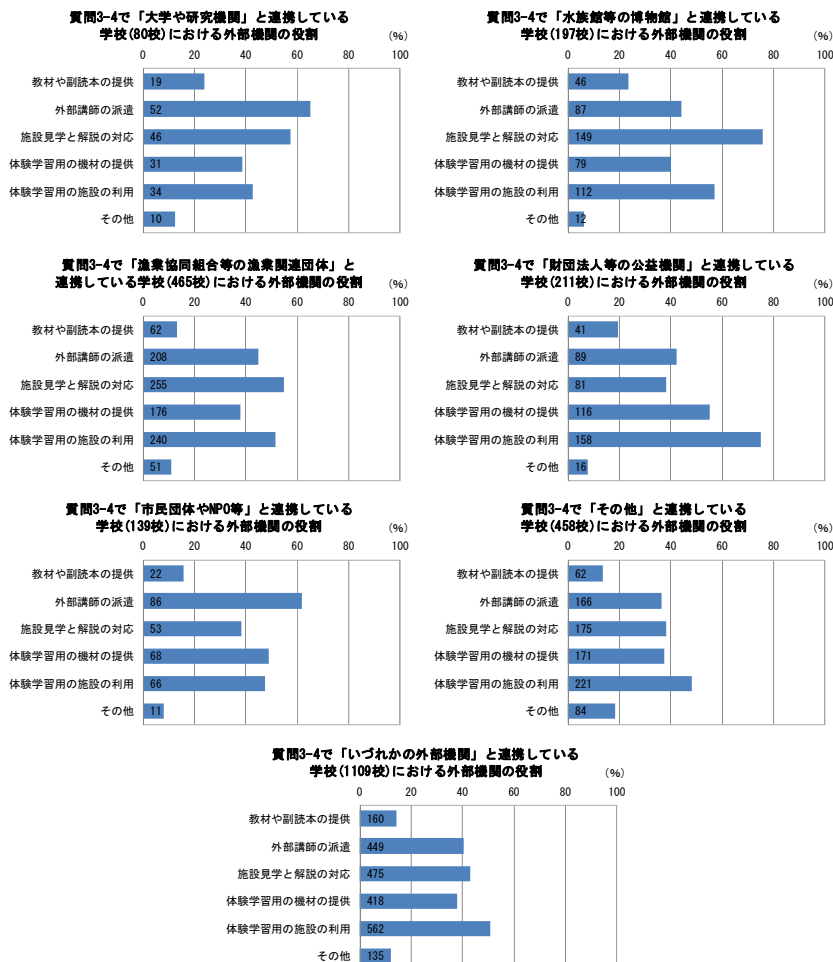
## (7) 学校外機関・個人の協力と役割

学校外機関・個人の協力と役割の関係を見るため、設問 3-4 と設問 3-5 のクロス集計を行った。大学や研究機関、市民団体や NPO と連携している場合は、外部講師の派遣と回答した学校がそれぞれ 65.0%、61.9% と最も多かった。水族館等の博物館、漁業協同組合等の漁業関連団体と連携している場合は、施設見学と解説の対応と回答した学校がそれぞれ 75.6%、54.8% と最も多かった。財団法人等の公益機関と連携している場合は、体験学習用の施設の利用と回答した学校が 74.9% で最も多かった。

図表 55：海洋教育の実施状況と学校外機関・個人の役割

	質問3-5							n
	1 教材や副読本の提供	2 外部講師の派遣	3 施設見学と解説の対応	4 体験学習用の機材の提供	5 体験学習用の施設の利用	6 その他	0 未回答	
1 大学や研究機関	19 23.8	52 65.0	46 57.5	31 38.8	34 42.5	10 12.5	2 2.5	80
2 水族館等の博物館	46 23.4	87 44.2	149 75.6	79 40.1	112 56.9	12 6.1	6 3.0	197
3 漁業協同組合等の漁業関連団体	62 13.3	208 44.7	255 54.8	176 37.8	240 51.6	51 11.0	13 2.8	465
4 財団法人等の公益機関	41 19.4	89 42.2	81 38.4	116 55.0	158 74.9	16 7.6	8 3.8	211
5 市民団体やNPO等	22 15.8	86 61.9	53 38.1	68 48.9	66 47.5	11 7.9	9 6.5	139
6 その他	62 13.5	166 36.2	175 38.2	171 37.3	221 48.3	84 18.3	51 11.1	458
7 連携なし	3 1.6	1 0.5	3 1.6	1 0.5	4 2.1	0 0.0	180 96.3	187
0 未回答	2 4.9	1 2.4	1 2.4	2 4.9	3 7.3	0 0.0	36 87.8	41
1~6のいずれかと連携	160 14.4	449 40.5	475 42.8	418 37.7	562 50.7	135 12.2	82 7.4	1,109

※質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した方のみ集計。下段の数字は%。



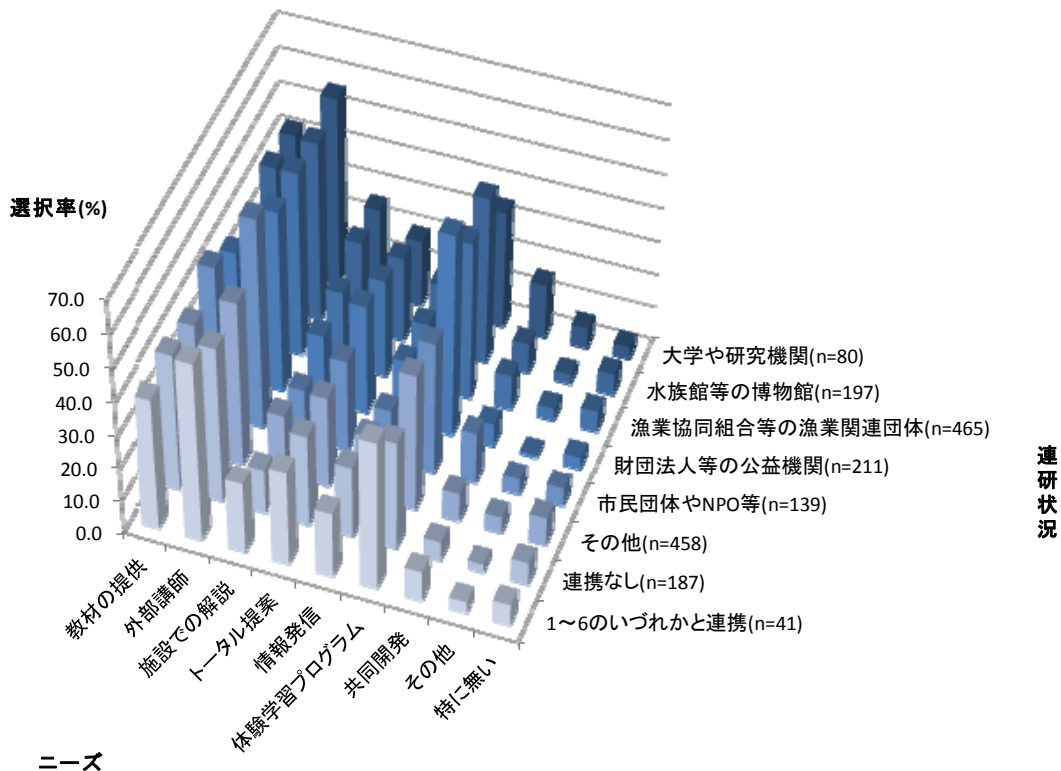
## (8) 学校外機関・個人の協力とニーズ

学校外機関・個人の協力を得ているかどうかと学校外機関に期待するサポートの関係を見るため、質問3-4と質問4のクロス集計を行った。財団法人等の公益機関と連携している場合、体験学習プログラムの選択率が60.2%と最も高かったが、それ以外の学校外機関と連携している場合は、外部講師の選択率が最も高かった。いずれとも連携していない場合も、外部講師の選択率が47.1%と最も高かった。なお、集計は質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校1,334校についてのみ行った。

図表 56：学校外機関・個人との連携状況と学校外機関に期待するサポート

	質問4 学校外機関のサポートニーズ											n
	1 教材の提供	2 外部講師	3 施設での	4 トータル	5 情報発信	6 体験学習プログラム	7 共同開発	8 その他	9 特に無い	0 未回答		
質問3-4 学校外機関連携	1 大学や研究機関	34 42.5	45 56.3	21 26.3	16 20.0	19 23.8	28 35.0	13 16.3	5 6.3	3 3.8	4 5.0	80
	2 水族館等の博物館	85 43.1	105 53.3	53 26.9	50 25.4	40 20.3	98 49.7	18 9.1	6 3.0	13 6.6	6 3.0	197
	3 漁業協同組合等の漁業関連団体	170 36.6	255 54.8	105 22.6	137 29.5	91 19.6	219 47.1	49 10.5	18 3.9	30 6.5	14 3.0	465
	4 財団法人等の公益機関	82 38.9	114 54.0	43 20.4	69 32.7	41 19.4	127 60.2	15 7.1	2 0.9	8 3.8	8 3.8	211
	5 市民団体やNPO等	63 45.3	87 62.6	21 15.1	38 27.3	22 15.8	55 39.6	22 15.8	7 5.0	8 5.8	5 3.6	139
	6 その他	180 39.3	225 49.1	86 18.8	127 27.7	89 19.4	190 41.5	40 8.7	23 5.0	39 8.5	18 3.9	458
	7 連携なし	78 41.7	88 47.1	26 13.9	52 27.8	41 21.9	62 33.2	11 5.9	5 2.7	13 7.0	25 13.4	187
	0 未回答	8 19.5	13 31.7	5 12.2	7 17.1	7 17.1	4 9.8	1 2.4	2 4.9	1 2.4	19 46.3	41
1~6のいずれかと連携	442 39.9	599 54.0	238 21.5	320 28.9	217 19.6	499 45.0	101 9.1	39 3.5	73 6.6	37 3.3	1,109	

学校外機関・個人との連携状況とニーズ



学校外機関との連携状況と、学校外機関の各サポートが有用だと考えるかどうかの関係を、 $\chi^2$ 乗検定により分析したところ、有意水準5%において、以下のような結果になった。

「その他」を有用だと考えるかどうかには差が見られなかった。

「大学や研究機関」と連携している場合は、「体験学習プログラム」の選択率が低い傾向にあった。「水族館等の博物館」と連携している場合は、「施設での解説」の選択率が高い傾向にあった。「漁業協同組合等の漁業関連団体」と連携している場合は、「教材」の選択率がやや低い傾向にあった。「財団法人等の公益機関」と連携している場合は、「体験学習プログラム」の選択率が高い傾向にあった。「市民団体やNPO等」と連携している場合は、「外部講師」「共同開発」の選択肢が高い傾向にあった。

図表 57：学校外機関・個人との連携状況と学校外機関に期待するサポートの $\chi^2$ 乗検定

$\chi^2$ 乗検定

帰無仮説： 学校外機関との連携状況によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差はない  
対立仮説： 学校外機関との連携状況によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差がある

有意水準： 5%

実測値：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
大学や研究機関	34	46	80	45	35	80	21	59	80	16	64	80	19	61	80
水族館等の博物館	85	112	197	105	92	197	53	144	197	50	147	197	40	157	197
漁業協同組合等の漁業	170	295	465	255	210	465	105	360	465	137	328	465	91	374	465
財団法人等の公益機関	82	129	211	114	97	211	43	168	211	69	142	211	41	170	211
市民団体やNPO等	63	76	139	87	52	139	21	118	139	38	101	139	22	117	139
その他	180	278	458	225	233	458	86	372	458	127	331	458	89	369	458
計	614	936	1,550	831	719	1,550	329	1,221	1,550	437	1,113	1,550	302	1,248	1,550

	体験学習プログラム			共同開発			その他			特に無し			未回答		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
大学や研究機関	28	52	80	13	67	80	5	75	80	3	77	80	4	76	80
水族館等の博物館	98	99	197	18	179	197	6	191	197	13	184	197	6	191	197
漁業協同組合等の漁業	219	246	465	49	416	465	18	447	465	30	435	465	14	451	465
財団法人等の公益機関	127	84	211	15	196	211	2	209	211	8	203	211	8	203	211
市民団体やNPO等	55	84	139	22	117	139	7	132	139	8	131	139	5	134	139
その他	190	268	458	40	418	458	23	435	458	39	419	458	18	440	458
計	717	833	1,550	157	1,393	1,550	61	1,489	1,550	101	1,449	1,550	55	1,495	1,550

期待値：

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	31.7	48.3	42.9	37.1	17.0	63.0	22.6	57.4	15.6	64.4
水族館等の博物館	78.0	119.0	105.6	91.4	41.8	155.2	55.5	141.5	38.4	158.6
漁業協同組合等の漁業	184.2	280.8	249.3	215.7	98.7	366.3	131.1	333.9	90.6	374.4
財団法人等の公益機関	83.6	127.4	113.1	97.9	44.8	166.2	59.5	151.5	41.1	169.9
市民団体やNPO等	55.1	83.9	74.5	64.5	29.5	109.5	39.2	99.8	27.1	111.9
その他	181.4	276.6	245.5	212.5	97.2	360.8	129.1	328.9	89.2	368.8

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	37.0	43.0	8.1	71.9	3.1	76.9	5.2	74.8
水族館等の博物館	91.1	105.9	20.0	177.0	7.8	189.2	12.8	184.2
漁業協同組合等の漁業	215.1	249.9	47.1	417.9	18.3	446.7	30.3	434.7
財団法人等の公益機関	97.6	113.4	21.4	189.6	8.3	202.7	13.7	197.3
市民団体やNPO等	64.3	74.7	14.1	124.9	5.5	133.5	9.1	129.9
その他	211.9	246.1	46.4	411.6	18.0	440.0	29.8	428.2

統計量：

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	0.16834	0.22674	0.10377	0.99337	0.95139	35.0816	1.90495	25.7294	0.74728	64.4129
水族館等の博物館	0.62121	1.63878	0.00361	16.1215	2.99195	71.2949	0.55285	72.7694	0.0681	158.617
漁業協同組合等の漁業	1.09468	2.37051	0.13032	56.8127	0.40213	143.539	0.26552	176.701	0.00177	374.4
財団法人等の公益機関	0.02999	1.41276	0.0068	30.7679	0.07126	56.8574	1.52081	80.6065	0.0003	169.889
市民団体やNPO等	1.1444	0.11169	2.08935	29.3176	2.45106	46.6838	0.03608	60.6601	0.95385	111.917
その他	0.01123	9.61687	1.71936	75.2653	1.29362	151.491	0.03502	174.959	0.00062	368.764

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	2.19195	1.88671	2.95912	0.33351	1.08896	0.04461	0.93939	0.06548
水族館等の博物館	0.51816	0.446	0.19138	0.02157	0.39633	0.01624	0.00208	0.00014
漁業協同組合等の漁業	0.07071	0.06086	0.07665	0.00864	0.00492	0.0002	0.00297	0.00021
財団法人等の公益機関	8.85302	7.62018	1.89992	0.21413	4.78557	0.19605	2.40391	0.16756
市民団体やNPO等	1.34475	1.15749	4.45593	0.50221	0.42775	0.01752	0.12345	0.0086
その他	2.25592	1.94177	0.88044	0.09923	1.37343	0.05627	2.80911	0.1958

χ二乗:

教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
18.44720167	219.3315096	513.109609	595.7403171	1249.771917
体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
28.34753322	11.64273581	8.40784577	6.718697612	

自由度:

教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
5	5	5	5	5
体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
5	5	5	5	

p値:

教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
0.002435131	2.06616E-45	1.1812E-108	1.6835E-126	4.8594E-268
体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
3.11249E-05	0.040024981	0.135144811	0.242415686	

結果:

教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却
体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	

標準化残差:

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	0.4	-0.3	0.3	-0.3	1.0	-0.5	-1.4	0.9	0.9	-0.4
水族館等の博物館	0.8	-0.6	-0.1	0.1	1.7	-0.9	-0.7	0.5	0.3	-0.1
漁業協同組合等の漁業	-1.0	0.8	0.4	-0.4	0.6	-0.3	0.5	-0.3	0.0	0.0
財団法人等の公益機関	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.3	0.1	1.2	-0.8	0.0	0.0
市民団体やNPO等	1.1	-0.9	1.4	-1.6	-1.6	0.8	-0.2	0.1	-1.0	0.5
その他	-0.1	0.1	-1.3	1.4	-1.1	0.6	-0.2	0.1	0.0	0.0

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	-1.5	1.4	1.7	-0.6	1.0	-0.2	-1.0	0.3
水族館等の博物館	0.7	-0.7	-0.4	0.1	-0.6	0.1	0.0	0.0
漁業協同組合等の漁業	0.3	-0.2	0.3	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.0
財団法人等の公益機関	3.0	-2.8	-1.4	0.5	-2.2	0.4	-1.6	0.4
市民団体やNPO等	-1.2	1.1	2.1	-0.7	0.7	-0.1	-0.4	0.1
その他	-1.5	1.4	-0.9	0.3	1.2	-0.2	1.7	-0.4

標準化残差:

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	0.5	-0.5	0.5	-0.5	1.1	-1.1	-1.7	1.7	1.0	-1.0
水族館等の博物館	1.1	-1.1	-0.1	0.1	2.1	-2.1	-0.9	0.9	0.3	-0.3
漁業協同組合等の漁業	-1.6	1.6	0.6	-0.6	0.9	-0.9	0.7	-0.7	0.1	-0.1
財団法人等の公益機関	-0.2	0.2	0.1	-0.1	-0.3	0.3	1.6	-1.6	0.0	0.0
市民団体やNPO等	1.4	-1.4	2.2	-2.2	-1.8	1.8	-0.2	0.2	-1.1	1.1
その他	-0.2	0.2	-2.3	2.3	-1.5	1.5	-0.3	0.3	0.0	0.0

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
大学や研究機関	-2.1	2.1	1.9	-1.9	1.1	-1.1	-1.0	1.0
水族館等の博物館	1.1	-1.1	-0.5	0.5	-0.7	0.7	0.1	-0.1
漁業協同組合等の漁業	0.4	-0.4	0.3	-0.3	-0.1	0.1	-0.1	0.1
財団法人等の公益機関	4.4	-4.4	-1.6	1.6	-2.4	2.4	-1.7	1.7
市民団体やNPO等	-1.7	1.7	2.3	-2.3	0.7	-0.7	-0.4	0.4
その他	-2.4	2.4	-1.2	1.2	1.4	-1.4	2.1	-2.1

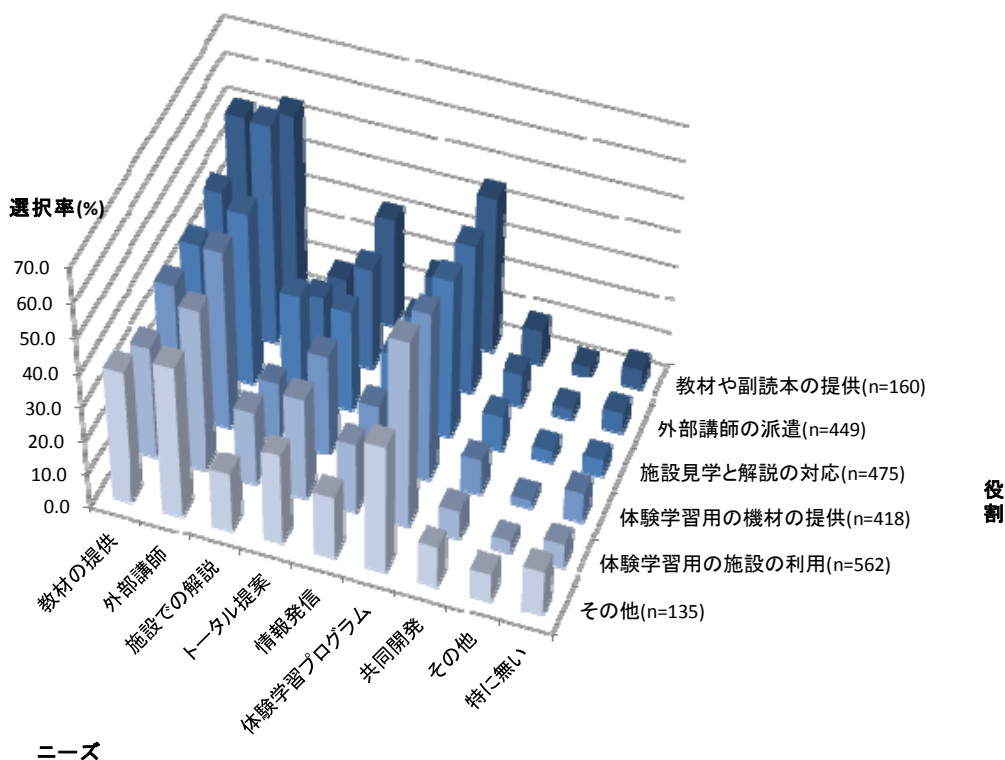
### (9) 学校外機関・個人の役割とニーズ

学校外機関・個人の役割と学校外機関に期待するサポートの関係を見るため、質問3・5と質問4のクロス集計を行った。教材や副読本の提供、外部講師の派遣、施設見学と解説の対応、体験学習用の機材の提供を受けている場合、外部講師の選択率がそれぞれ55.0%、63.7%、50.7%、51.9%と最も高かった。体験学習用の施設の提供を受けている場合は、体験学習プログラムの選択率が54.4%と最も高かった。なお、集計は質問3で「3」～「6」を選択し、かつ質問3・4で「1」～「6」を選択した学校1,109校についてのみ行った。

図表 58：学校外機関・個人の役割と学校外機関に期待するサポート

	質問4 学校外機関のサポートニーズ										n	
	1 教材の提供	2 外部講師	3 施設での 解説	4 トータル 提案	5 情報発信	6 体験学習 プログラム	7 共同開発	8 その他	9 特に無い	0 未回答		
質問 3   5  学校 外 機 関 役 割	1 教材や副読本の提供	82 51.3	88 55.0	17 10.6	51 31.9	29 18.1	73 45.6	16 10.0	5 3.1	10 6.3	10 6.3	160
	2 外部講師の派遣	185 41.2	286 63.7	78 17.4	133 29.6	83 18.5	197 43.9	45 10.0	14 3.1	27 6.0	20 4.5	449
	3 施設見学と解説の対応	180 37.9	241 50.7	145 30.5	140 29.5	99 20.8	221 46.5	48 10.1	19 4.0	24 5.1	17 3.6	475
	4 体験学習用の機材の提供	162 38.8	217 51.9	72 17.2	123 29.4	77 18.4	206 49.3	43 10.3	10 2.4	36 8.6	17 4.1	418
	5 体験学習用の施設の利用	186 33.1	267 47.5	123 21.9	167 29.7	116 20.6	306 54.4	50 8.9	21 3.7	40 7.1	15 2.7	562
	6 その他	53 39.3	60 44.4	23 17.0	36 26.7	25 18.5	51 37.8	16 11.9	11 8.1	18 13.3	4 3.0	135
	0 未回答	37 45.1	50 61.0	15 18.3	14 17.1	11 13.4	23 28.0	5 6.1	1 1.2	5 6.1	11 13.4	82

学校外機関・個人の役割とニーズ





学校外機関との連携状況と、学校外機関の各サポートが有用だと考えるかどうかの関係を、 $\chi^2$  二乗検定により分析したところ、有意水準 5%において、以下のような結果になった。

「共同開発」と「その他」に関しては有意な差が見られなかった。

「教材や副読本の提供」を受けている場合は、「教材」の選択率が高く、「施設での解説」の選択率が低い傾向にあった。「外部講師の派遣」を受けている場合は、「外部講師」の選択率が高く、「施設での解説」の選択率が低い傾向にあった。「施設見学と解説の対応」を受けている場合は、「施設での解説」の選択率が高い傾向にあった。「体験学習用の機材の提供」を受けている場合は、「施設での解説」の選択率が低い傾向にあった。「体験学習用の施設の利用」を受けている場合は、「体験学習プログラム」の選択率が高い傾向にあり、「教材」や「外部講師」の選択率が低い傾向にあった。これらのことから、すでに受けているサポートのさらなる充実を求めている傾向があることがわかった。

図表 59：学校外機関・個人の役割と学校外機関に期待するサポートの $\chi^2$  二乗検定

$\chi^2$  二乗検定

帰無仮説： 学校外機関の役割によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差はない  
対立仮説： 学校外機関の役割によって、学校外機関の各サポートが有用だと思うかどうかには差がある

有意水準： 5 %

実測値：

	教材			外部講師			施設での解説			トータル提案			情報発信		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
教材や副読本の提供	82	78	160	88	72	160	17	143	160	51	109	160	29	131	160
外部講師の派遣	185	264	449	286	163	449	78	371	449	133	316	449	83	366	449
施設見学と解説の対応	180	295	475	241	234	475	145	330	475	140	335	475	99	376	475
体験学習用の機材の提供	162	256	418	217	201	418	72	346	418	123	295	418	77	341	418
体験学習用の施設の利用	186	376	562	267	295	562	123	439	562	167	395	562	116	446	562
その他	53	82	135	60	75	135	23	112	135	36	99	135	25	110	135
計	848	1,351	2,199	1,159	1,040	2,199	458	1,741	2,199	650	1,549	2,199	429	1,770	2,199

	体験学習プログラム			共同開発			その他			特に無し			未回答		
	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計	選択	未選択	計
教材や副読本の提供	73	87	160	16	144	160	5	155	160	10	150	160	10	150	160
外部講師の派遣	197	252	449	45	404	449	14	435	449	27	422	449	20	429	449
施設見学と解説の対応	221	254	475	48	427	475	19	456	475	24	451	475	17	458	475
体験学習用の機材の提供	206	212	418	43	375	418	10	408	418	36	382	418	17	401	418
体験学習用の施設の利用	306	256	562	50	512	562	21	541	562	40	522	562	15	547	562
その他	51	84	135	16	119	135	11	124	135	18	117	135	4	131	135
計	1,054	1,145	2,199	218	1,981	2,199	80	2,119	2,199	155	2,044	2,199	83	2,116	2,199

期待値：

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
教材や副読本の提供	61.7	98.3	84.3	75.7	33.3	126.7	47.3	112.7	31.2	128.8
外部講師の派遣	173.1	275.9	236.6	212.4	93.5	355.5	132.7	316.3	87.6	361.4
施設見学と解説の対応	183.2	291.8	250.4	224.6	98.9	376.1	140.4	334.6	92.7	382.3
体験学習用の機材の提供	161.2	256.8	220.3	197.7	87.1	330.9	123.6	294.4	81.5	336.5
体験学習用の施設の利用	216.7	345.3	296.2	265.8	117.1	444.9	166.1	395.9	109.6	452.4
その他	52.1	82.9	71.2	63.8	28.1	106.9	39.9	95.1	26.3	108.7

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
教材や副読本の提供	76.7	83.3	15.9	144.1	5.8	154.2	11.3	148.7
外部講師の派遣	215.2	233.8	44.5	404.5	16.3	432.7	31.6	417.4
施設見学と解説の対応	227.7	247.3	47.1	427.9	17.3	457.7	33.5	441.5
体験学習用の機材の提供	200.4	217.6	41.4	376.6	15.2	402.8	29.5	388.5
体験学習用の施設の利用	269.4	292.6	55.7	506.3	20.4	541.6	39.6	522.4
その他	64.7	70.3	13.4	121.6	4.9	130.1	9.5	125.5

統計量：

	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
教材や副読本の提供	6.67834	1.07909	0.15978	45.4899	7.9966	45.2085	0.29037	62.1677	0.15706	128.786
外部講師の派遣	0.8113	0.37331	10.2917	85.0017	2.57443	139.244	0.00059	172.062	0.24102	361.405
施設見学と解説の対応	0.055	8.85208	0.34938	28.2386	21.4525	148.187	0.00117	165.887	0.43279	382.333
体験学習用の機材の提供	0.00404	6.1703	0.04973	79.9128	2.60501	130.656	0.0025	160.58	0.25354	336.453
体験学習用の施設の利用	4.3556	17.7456	2.87981	76.7137	0.30231	173.628	0.00465	197.869	0.36895	452.36
その他	0.01697	6.34486	1.74814	26.1326	0.93135	47.0081	0.38204	51.6678	0.06787	108.663

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し	
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択
教材や副読本の提供	0.17749	0.16339	0.0012	0.00013	0.11575	0.00437	0.14479	0.01098
外部講師の派遣	1.54078	1.41833	0.00535	0.00059	0.3337	0.0126	0.68276	0.05177
施設見学と解説の対応	0.19551	0.17997	0.0176	0.00194	0.17108	0.00646	2.68485	0.2036
体験学習用の機材の提供	0.15927	0.14661	0.05882	0.00647	1.78287	0.06731	1.45018	0.10997
体験学習用の施設の利用	4.98065	4.58481	0.58611	0.0645	0.01503	0.00057	0.00377	0.00029
その他	2.90346	2.6727	0.51159	0.0563	7.54827	0.28497	7.56472	0.57365

χ二乗:	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	52.48651004	356.9678813	719.7931713	810.9154188	1771.521241
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	19.12296055	1.310596381	10.34297295	13.48132513	

自由度:	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	5	5	5	5	5
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	5	5	5	5	

p値:	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	4.28715E-10	5.53117E-75	2.5783E-153	5.0332E-173	0
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	0.001823352	0.933837552	0.066080452	0.019262446	

結果:	教材	外部講師	施設での解説	トータル提案	情報発信
	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却
	体験学習プログラム	共同開発	その他	特に無し	
	帰無仮説を棄却	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却できない	帰無仮説を棄却	

標準化残差:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信		
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	
	教材や副読本の提供	2.6	-2.0	0.4	-0.4	-2.8	1.5	0.5	-0.3	-0.4	0.2
	外部講師の派遣	0.9	-0.7	3.2	-3.4	-1.6	0.8	0.0	0.0	-0.5	0.2
	施設見学と解説の対応	-0.2	0.2	-0.6	0.6	4.6	-2.4	0.0	0.0	0.7	-0.3
	体験学習用の機材の提供	0.1	-0.1	-0.2	0.2	-1.6	0.8	-0.1	0.0	-0.5	0.2
	体験学習用の施設の利便性	-2.1	1.7	-1.7	1.8	0.5	-0.3	0.1	0.0	0.6	-0.3
	その他	0.1	-0.1	-1.3	1.4	-1.0	0.5	-0.6	0.4	-0.3	0.1

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し		
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	
	教材や副読本の提供	-0.4	0.4	0.0	0.0	-0.3	0.1	-0.4	0.1
	外部講師の派遣	-1.2	1.2	0.1	0.0	-0.6	0.1	-0.8	0.2
	施設見学と解説の対応	-0.4	0.4	0.1	0.0	0.4	-0.1	-1.6	0.5
	体験学習用の機材の提供	0.4	-0.4	0.2	-0.1	-1.3	0.3	1.2	-0.3
	体験学習用の施設の利便性	2.2	-2.1	-0.8	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0
	その他	-1.7	1.6	0.7	-0.2	2.7	-0.5	2.8	-0.8

標準化残差:	教材		外部講師		施設での解説		トータル提案		情報発信		
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	
	教材や副読本の提供	3.4	-3.4	0.6	-0.6	-3.3	3.3	0.7	-0.7	-0.5	0.5
	外部講師の派遣	1.3	-1.3	5.2	-5.2	-2.0	2.0	0.0	0.0	-0.6	0.6
	施設見学と解説の対応	-0.3	0.3	-1.0	1.0	5.9	-5.9	0.0	0.0	0.8	-0.8
	体験学習用の機材の提供	0.1	-0.1	-0.4	0.4	-2.0	2.0	-0.1	0.1	-0.6	0.6
	体験学習用の施設の利便性	-3.1	3.1	-2.9	2.9	0.7	-0.7	0.1	-0.1	0.8	-0.8
	その他	0.2	-0.2	-2.0	2.0	-1.1	1.1	-0.8	0.8	-0.3	0.3

	体験学習プログラム		共同開発		その他		特に無し		
	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	選択	未選択	
	教材や副読本の提供	-0.6	0.6	0.0	0.0	-0.4	0.4	-0.4	0.4
	外部講師の派遣	-1.9	1.9	0.1	-0.1	-0.7	0.7	-1.0	1.0
	施設見学と解説の対応	-0.7	0.7	0.2	-0.2	0.5	-0.5	-1.9	1.9
	体験学習用の機材の提供	0.6	-0.6	0.3	-0.3	-1.5	1.5	1.4	-1.4
	体験学習用の施設の利便性	3.6	-3.6	-0.9	0.9	0.1	-0.1	0.1	-0.1
	その他	-2.4	2.4	0.8	-0.8	2.9	-2.9	2.9	-2.9

## 4) 集計結果（各地域）

### (1) 県別・学校種別回答率

県別の回答率は、小学校では宮城県の31.2%、中学校では香川県の38.5%、合計では宮城県の32.4%が最も高かった。大阪府は小学校で9.4%、中学校で12.6%、合計で10.6%と全てにおいて最も低かった。地域別では、信越・北陸地方が小学校で24.0%、中学校で29.9%、合計で25.8%と全てにおいて最も高かった。近畿地方が小学校で14.6%、中学校で18.3%、合計で15.8%と最も低かった。

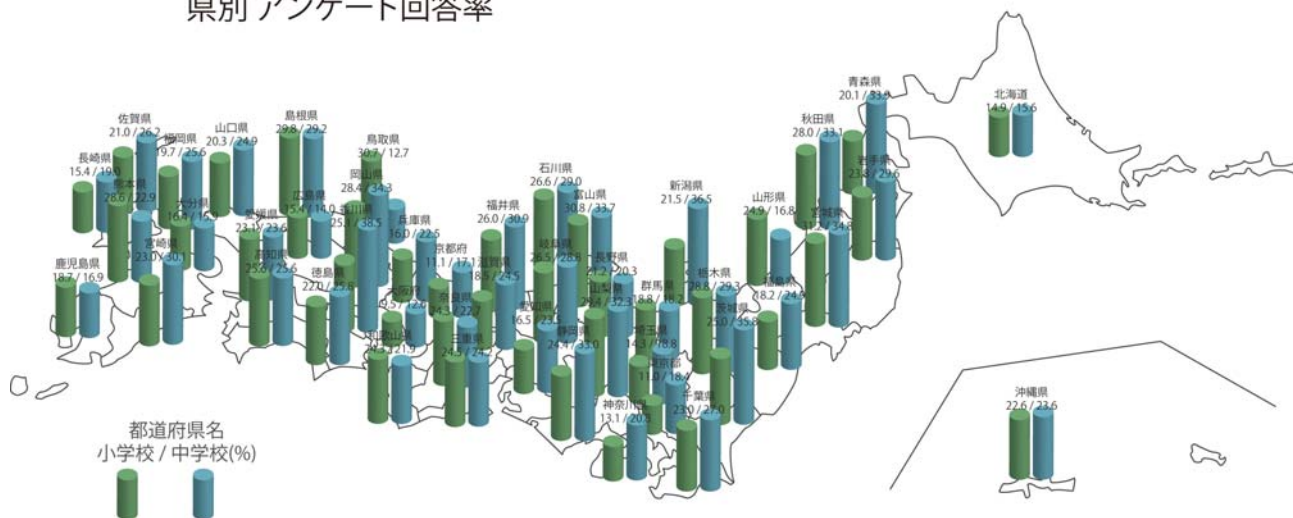
図表 60：県別の学校種別の回答校数

	全学校数(校)			回答校数(校)				回答率(%)		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	小中学校	計	小学校	中学校	計
北海道	1,201	671	1,872	179	105	2	286	14.9	15.6	15.3
青森県	333	171	504	67	58	0	125	20.1	33.9	24.8
岩手県	378	189	567	90	56	0	146	23.8	29.6	25.7
宮城県	446	224	670	139	78	0	217	31.2	34.8	32.4
秋田県	246	130	376	69	43	0	112	28.0	33.1	29.8
山形県	309	113	422	77	19	0	96	24.9	16.8	22.7
福島県	501	245	746	91	61	0	152	18.2	24.9	20.4
北海道・東北地方	3,414	1,743	5,157	712	420	2	1,134	20.9	24.1	22.0
茨城県	564	243	807	141	87	0	228	25.0	35.8	28.3
栃木県	393	174	567	113	51	0	164	28.8	29.3	28.9
群馬県	335	176	511	63	32	0	95	18.8	18.2	18.6
埼玉県	821	447	1,268	117	84	0	201	14.3	18.8	15.9
千葉県	848	407	1,255	195	110	0	305	23.0	27.0	24.3
東京都	1,367	816	2,183	151	150	0	301	11.0	18.4	13.8
神奈川県	890	476	1,366	117	99	0	216	13.1	20.8	15.8
山梨県	197	96	293	58	31	0	89	29.4	32.3	30.4
関東地方	5,415	2,835	8,250	955	644	0	1,599	17.6	22.7	19.4
新潟県	531	241	772	114	88	0	202	21.5	36.5	26.2
富山県	198	83	281	61	28	0	89	30.8	33.7	31.7
石川県	229	100	329	61	29	0	90	26.6	29.0	27.4
福井県	204	81	285	53	25	0	78	26.0	30.9	27.4
長野県	387	197	584	82	40	0	122	21.2	20.3	20.9
信越・北陸地方	1,549	702	2,251	371	210	0	581	24.0	29.9	25.8
岐阜県	378	198	576	100	57	0	157	26.5	28.8	27.3
静岡県	525	294	819	128	97	0	225	24.4	33.0	27.5
愛知県	983	439	1,422	162	103	0	265	16.5	23.5	18.6
三重県	396	178	574	97	43	0	140	24.5	24.2	24.4
東海地方	2,282	1,109	3,391	487	300	0	787	21.3	27.1	23.2
滋賀県	232	106	338	43	26	0	69	18.5	24.5	20.4
京都府	423	199	622	47	34	0	81	11.1	17.1	13.0
大阪府	1,040	533	1,573	98	67	1	166	9.4	12.6	10.6
兵庫県	805	386	1,191	129	87	0	216	16.0	22.5	18.1
奈良県	214	119	333	52	27	0	79	24.3	22.7	23.7
和歌山県	272	137	409	66	30	0	96	24.3	21.9	23.5
近畿地方	2,986	1,480	4,466	435	271	1	707	14.6	18.3	15.8
鳥取県	140	63	203	43	8	0	51	30.7	12.7	25.1
島根県	235	106	341	70	31	0	101	29.8	29.2	29.6
岡山県	416	172	588	118	59	0	177	28.4	34.3	30.1
広島県	531	272	803	82	38	1	121	15.4	14.0	15.1
山口県	320	169	489	65	42	0	107	20.3	24.9	21.9
中国地方	1,642	782	2,424	378	178	1	557	23.0	22.8	23.0
徳島県	200	89	289	44	23	0	67	22.0	25.8	23.2
香川県	179	78	257	45	30	0	75	25.1	38.5	29.2
愛媛県	334	140	474	77	33	0	110	23.1	23.6	23.2
高知県	219	121	340	56	31	1	88	25.6	25.6	25.9
四国地方	932	428	1,360	222	117	1	340	23.8	27.3	25.0
福岡県	767	375	1,142	151	96	0	247	19.7	25.6	21.6
佐賀県	181	103	284	38	27	1	66	21.0	26.2	23.2
長崎県	384	195	579	59	37	0	96	15.4	19.0	16.6
熊本県	409	188	597	117	43	0	160	28.6	22.9	26.8
大分県	311	138	449	51	22	0	73	16.4	15.9	16.3
宮崎県	248	146	394	57	44	0	101	23.0	30.1	25.6
鹿児島県	572	254	826	107	43	3	153	18.7	16.9	18.5
沖縄県	279	161	440	63	38	4	105	22.6	23.6	23.9
九州・沖縄地方	3,151	1,560	4,711	643	350	8	1,001	20.4	22.4	21.2
計	21,371	10,639	32,010	4,203	2,490	13	6,706	19.7	23.4	20.9

なお、以下は、県別の回答率を地図上に表現したものである。

図表 61： 県別・学校種別の回答校数の分布

県別 アンケート回答率



## (2) 県別の学校のロケーション

次の表は学校のロケーションを県別にまとめたものである。徒歩 15 分程度の割合が最も多いのは長崎県の 52.1%で、次いで沖縄県の 50.5%であった。海のない栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県では 0%となっている。これらを除き、徒歩 15 分程度の割合が最も少ないのは福島県の 2.6%で、電車やバスの割合が最も多いのは東京都で 86.4%であった。電車やバスの割合が最も少ないのは、沖縄県で 8.6%、次いで長崎県で 16.7%であった。

図表 62：県別の学校と海との距離

	度数(校)				計	割合(%)				計
	1 徒歩 15 分程 度	2 1 徒 時歩 間3 程0 度	3 電車 や バス	未 回 答		1 徒歩 15 分程 度	2 1 徒 時歩 間3 程0 度	3 電車 や バス	未 回 答	
北海道	65	35	182	4	286	22.7	12.2	63.6	1.4	100.0
青森県	25	21	78	1	125	20.0	16.8	62.4	0.8	100.0
岩手県	16	20	109	1	146	11.0	13.7	74.7	0.7	100.0
宮城県	20	43	151	3	217	9.2	19.8	69.6	1.4	100.0
秋田県	4	15	93	0	112	3.6	13.4	83.0	0.0	100.0
山形県	11	7	78	0	96	11.5	7.3	81.3	0.0	100.0
福島県	4	16	130	2	152	2.6	10.5	85.5	1.3	100.0
北海道・東北地方	145	157	821	11	1,134	12.8	13.8	72.4	1.0	100.0
茨城県	19	37	170	2	228	8.3	16.2	74.6	0.9	100.0
栃木県	0	1	162	1	164	0.0	0.6	98.8	0.6	100.0
群馬県	0	1	93	1	95	0.0	1.1	97.9	1.1	100.0
埼玉県	0	3	194	4	201	0.0	1.5	96.5	2.0	100.0
千葉県	27	64	205	9	305	8.9	21.0	67.2	3.0	100.0
東京都	9	27	260	5	301	3.0	9.0	86.4	1.7	100.0
神奈川県	23	42	147	4	216	10.6	19.4	68.1	1.9	100.0
山梨県	0	0	87	2	89	0.0	0.0	97.8	2.2	100.0
関東地方	78	175	1,318	28	1,599	4.9	10.9	82.4	1.8	100.0
新潟県	20	34	143	5	202	9.9	16.8	70.8	2.5	100.0
富山県	8	16	64	1	89	9.0	18.0	71.9	1.1	100.0
石川県	25	25	40	0	90	27.8	27.8	44.4	0.0	100.0
福井県	16	11	51	0	78	20.5	14.1	65.4	0.0	100.0
長野県	0	1	116	5	122	0.0	0.8	95.1	4.1	100.0
信越・北陸地方	69	87	414	11	581	11.9	15.0	71.3	1.9	100.0
岐阜県	0	0	154	3	157	0.0	0.0	98.1	1.9	100.0
静岡県	27	62	130	6	225	12.0	27.6	57.8	2.7	100.0
愛知県	13	37	210	5	265	4.9	14.0	79.2	1.9	100.0
三重県	33	26	72	9	140	23.6	18.6	51.4	6.4	100.0
東海地方	73	125	566	23	787	9.3	15.9	71.9	2.9	100.0
滋賀県	0	2	67	0	69	0.0	2.9	97.1	0.0	100.0
京都府	7	1	64	9	81	8.6	1.2	79.0	11.1	100.0
大阪府	7	15	140	4	166	4.2	9.0	84.3	2.4	100.0
兵庫県	29	45	134	8	216	13.4	20.8	62.0	3.7	100.0
奈良県	0	1	77	1	79	0.0	1.3	97.5	1.3	100.0
和歌山県	25	19	51	1	96	26.0	19.8	53.1	1.0	100.0
近畿地方	68	83	533	23	707	9.6	11.7	75.4	3.3	100.0
鳥取県	4	22	25	0	51	7.8	43.1	49.0	0.0	100.0
島根県	18	14	68	1	101	17.8	13.9	67.3	1.0	100.0
岡山県	22	17	134	4	177	12.4	9.6	75.7	2.3	100.0
広島県	27	24	70	0	121	22.3	19.8	57.9	0.0	100.0
山口県	29	33	39	6	107	27.1	30.8	36.4	5.6	100.0
中国地方	100	110	336	11	557	18.0	19.7	60.3	2.0	100.0
徳島県	11	12	43	1	67	16.4	17.9	64.2	1.5	100.0
香川県	20	19	35	1	75	26.7	25.3	46.7	1.3	100.0
愛媛県	30	29	50	1	110	27.3	26.4	45.5	0.9	100.0
高知県	21	18	45	4	88	23.9	20.5	51.1	4.5	100.0
四国地方	82	78	173	7	340	24.1	22.9	50.9	2.1	100.0
福岡県	29	66	144	8	247	11.7	26.7	58.3	3.2	100.0
佐賀県	8	13	44	1	66	12.1	19.7	66.7	1.5	100.0
長崎県	50	28	16	2	96	52.1	29.2	16.7	2.1	100.0
熊本県	32	17	107	4	160	20.0	10.6	66.9	2.5	100.0
大分県	12	18	42	1	73	16.4	24.7	57.5	1.4	100.0
宮崎県	14	20	64	3	101	13.9	19.8	63.4	3.0	100.0
鹿児島県	59	34	55	5	153	38.6	22.2	35.9	3.3	100.0
沖縄県	53	42	9	1	105	50.5	40.0	8.6	1.0	100.0
九州・沖縄地方	257	238	481	25	1,001	25.7	23.8	48.1	2.5	100.0
計	872	1,053	4,642	139	6,706	13.0	15.7	69.2	2.1	100.0

### (3) 県別の海洋教育の認知度

次の表は海洋教育の認知度を県別にまとめたものである。海洋教育という言葉を知っていた割合が最も高かったのは山形県で42.7%、次いで高知県で40.9%、奈良県が40.5%であった。知らなかった割合が最も高かったのは宮崎県と島根県で86.1%であった。

図表 63：県別の海洋教育の認知度

	度数(校)				割合(%)			
	1	2	未回答	計	1	2	未回答	計
	知っていた	知らなかった			知っていた	知らなかった		
北海道	84	195	7	286	29.4	68.2	2.4	100.0
青森県	23	100	2	125	18.4	80.0	1.6	100.0
岩手県	27	118	1	146	18.5	80.8	0.7	100.0
宮城県	64	151	2	217	29.5	69.6	0.9	100.0
秋田県	35	77	0	112	31.3	68.8	0.0	100.0
山形県	41	55	0	96	42.7	57.3	0.0	100.0
福島県	46	105	1	152	30.3	69.1	0.7	100.0
北海道・東北地方	320	801	13	1,134	28.2	70.6	1.1	100.0
茨城県	82	142	4	228	36.0	62.3	1.8	100.0
栃木県	33	130	1	164	20.1	79.3	0.6	100.0
群馬県	24	69	2	95	25.3	72.6	2.1	100.0
埼玉県	75	125	1	201	37.3	62.2	0.5	100.0
千葉県	94	207	4	305	30.8	67.9	1.3	100.0
東京都	96	201	4	301	31.9	66.8	1.3	100.0
神奈川県	71	142	3	216	32.9	65.7	1.4	100.0
山梨県	30	57	2	89	33.7	64.0	2.2	100.0
関東地方	505	1,073	21	1,599	31.6	67.1	1.3	100.0
新潟県	58	142	2	202	28.7	70.3	1.0	100.0
富山県	26	63	0	89	29.2	70.8	0.0	100.0
石川県	18	72	0	90	20.0	80.0	0.0	100.0
福井県	15	63	0	78	19.2	80.8	0.0	100.0
長野県	25	97	0	122	20.5	79.5	0.0	100.0
信越・北陸地方	142	437	2	581	24.4	75.2	0.3	100.0
岐阜県	59	98	0	157	37.6	62.4	0.0	100.0
静岡県	73	151	1	225	32.4	67.1	0.4	100.0
愛知県	62	201	2	265	23.4	75.8	0.8	100.0
三重県	48	89	3	140	34.3	63.6	2.1	100.0
東海地方	242	539	6	787	30.7	68.5	0.8	100.0
滋賀県	15	54	0	69	21.7	78.3	0.0	100.0
京都府	21	58	2	81	25.9	71.6	2.5	100.0
大阪府	53	113	0	166	31.9	68.1	0.0	100.0
兵庫県	59	153	4	216	27.3	70.8	1.9	100.0
奈良県	32	45	2	79	40.5	57.0	2.5	100.0
和歌山県	34	62	0	96	35.4	64.6	0.0	100.0
近畿地方	214	485	8	707	30.3	68.6	1.1	100.0
鳥取県	13	38	0	51	25.5	74.5	0.0	100.0
島根県	12	87	2	101	11.9	86.1	2.0	100.0
岡山県	44	128	5	177	24.9	72.3	2.8	100.0
広島県	42	78	1	121	34.7	64.5	0.8	100.0
山口県	30	74	3	107	28.0	69.2	2.8	100.0
中国地方	141	405	11	557	25.3	72.7	2.0	100.0
徳島県	15	52	0	67	22.4	77.6	0.0	100.0
香川県	27	48	0	75	36.0	64.0	0.0	100.0
愛媛県	33	76	1	110	30.0	69.1	0.9	100.0
高知県	36	50	2	88	40.9	56.8	2.3	100.0
四国地方	111	226	3	340	32.6	66.5	0.9	100.0
福岡県	94	149	4	247	38.1	60.3	1.6	100.0
佐賀県	17	49	0	66	25.8	74.2	0.0	100.0
長崎県	27	67	2	96	28.1	69.8	2.1	100.0
熊本県	27	132	1	160	16.9	82.5	0.6	100.0
大分県	17	56	0	73	23.3	76.7	0.0	100.0
宮崎県	13	87	1	101	12.9	86.1	1.0	100.0
鹿児島県	54	98	1	153	35.3	64.1	0.7	100.0
沖縄県	34	69	2	105	32.4	65.7	1.9	100.0
九州・沖縄地方	283	707	11	1,001	28.3	70.6	1.1	100.0
計	1,958	4,673	75	6,706	29.2	69.7	1.1	100.0

(4) 県別の海洋教育の実施状況

次の表は海洋教育の実施状況を県別にまとめたものである。総合的な学習の時間や課外活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校（質問3で「3」「4」「5」「6」を選択した学校 1,334校）の割合が最も高かったのは沖縄県で43.8%、次いで岡山県で39.0%、長崎県で34.0%であった。最も低かったのは埼玉県で5.5%であった。

図表 64：県別の海洋教育内容の実施状況

	度数(校)								割合(%)								合計	
	1	2	3	4	5	6	未回答	3 5 6 計	合計	1	2	3	4	5	6	未回答		3 5 6 計
	未実施	教科書の範囲	メインテーマに 総合で	トピックに 総合で	総合の連携 教科と	課外	未回答	3 5 6 計		未実施	教科書の範囲	メインテーマに 総合で	トピックに 総合で	総合の連携 教科と	課外	未回答	3 5 6 計	
北海道	44	171	23	35	1	3	9	62	286	15.4	59.8	8.0	12.2	0.3	1.0	3.1	21.7	100.0
青森県	25	78	7	12	1	1	1	21	125	20.0	62.4	5.6	9.6	0.8	0.8	0.8	16.8	100.0
岩手県	20	96	9	16	0	2	3	27	146	13.7	65.8	6.2	11.0	0.0	1.4	2.1	18.5	100.0
宮城県	31	146	8	24	2	2	4	36	217	14.3	67.3	3.7	11.1	0.9	0.9	1.8	16.6	100.0
秋田県	10	90	2	6	0	2	2	10	112	8.9	80.4	1.8	5.4	0.0	1.8	1.8	8.9	100.0
山形県	25	46	7	12	3	1	2	23	96	26.0	47.9	7.3	12.5	3.1	1.0	2.1	24.0	100.0
福島県	21	116	1	7	2	2	3	12	152	13.8	76.3	0.7	4.6	1.3	1.3	2.0	7.9	100.0
北海道・東北地方	176	743	57	112	9	13	24	191	1,134	15.5	65.5	5.0	9.9	0.8	1.1	2.1	16.8	100.0
茨城県	33	176	2	7	2	6	2	17	228	14.5	77.2	0.9	3.1	0.9	2.6	0.9	7.5	100.0
栃木県	22	103	4	16	4	8	7	32	164	13.4	62.8	2.4	9.8	2.4	4.9	4.3	19.5	100.0
群馬県	16	64	1	3	0	9	2	13	95	16.8	67.4	1.1	3.2	0.0	9.5	2.1	13.7	100.0
埼玉県	38	146	3	3	2	3	6	11	201	18.9	72.6	1.5	1.5	1.0	1.5	3.0	5.5	100.0
千葉県	43	216	12	22	1	1	10	36	305	14.1	70.8	3.9	7.2	0.3	0.3	3.3	11.8	100.0
東京都	54	188	10	18	5	14	12	47	301	17.9	62.5	3.3	6.0	1.7	4.7	4.0	15.6	100.0
神奈川県	38	142	9	17	4	2	4	32	216	17.6	65.7	4.2	7.9	1.9	0.9	1.9	14.8	100.0
山梨県	8	75	1	0	3	1	1	5	89	9.0	84.3	1.1	0.0	3.4	1.1	1.1	5.6	100.0
関東地方	252	1,110	42	86	21	44	44	193	1,599	15.8	69.4	2.6	5.4	1.3	2.8	2.8	12.1	100.0
新潟県	35	133	4	21	1	6	2	32	202	17.3	65.8	2.0	10.4	0.5	3.0	1.0	15.8	100.0
富山県	14	61	0	5	1	5	3	11	89	15.7	68.5	0.0	5.6	1.1	5.6	3.4	12.4	100.0
石川県	12	59	1	6	0	8	4	15	90	13.3	65.6	1.1	6.7	0.0	8.9	4.4	16.7	100.0
福井県	7	49	4	12	0	3	3	19	78	9.0	62.8	5.1	15.4	0.0	3.8	3.8	24.4	100.0
長野県	21	72	5	9	0	9	6	23	122	17.2	59.0	4.1	7.4	0.0	7.4	4.9	18.9	100.0
信越・北陸地方	89	374	14	53	2	31	18	100	581	15.3	64.4	2.4	9.1	0.3	5.3	3.1	17.2	100.0
岐阜県	24	84	14	27	1	5	2	47	157	15.3	53.5	8.9	17.2	0.6	3.2	1.3	29.9	100.0
静岡県	36	130	13	26	6	4	10	49	225	16.0	57.8	5.8	11.6	2.7	1.8	4.4	21.8	100.0
愛知県	51	173	6	24	1	5	5	36	265	19.2	65.3	2.3	9.1	0.4	1.9	1.9	13.6	100.0
三重県	13	82	12	20	2	5	6	39	140	9.3	58.6	8.6	14.3	1.4	3.6	4.3	27.9	100.0
東海地方	124	469	45	97	10	19	23	171	787	15.8	59.6	5.7	12.3	1.3	2.4	2.9	21.7	100.0
滋賀県	11	47	2	3	1	1	4	7	69	15.9	68.1	2.9	4.3	1.4	1.4	5.8	10.1	100.0
京都府	7	39	10	8	1	4	12	23	81	8.6	48.1	12.3	9.9	1.2	4.9	14.8	28.4	100.0
大阪府	20	92	10	18	2	17	7	47	166	12.0	55.4	6.0	10.8	1.2	10.2	4.2	28.3	100.0
兵庫県	29	115	18	31	3	8	12	60	216	13.4	53.2	8.3	14.4	1.4	3.7	5.6	27.8	100.0
奈良県	6	54	5	6	1	2	5	14	79	7.6	68.4	6.3	7.6	1.3	2.5	6.3	17.7	100.0
和歌山県	5	59	4	21	2	4	1	31	96	5.2	61.5	4.2	21.9	2.1	4.2	1.0	32.3	100.0
近畿地方	78	406	49	87	10	36	41	182	707	11.0	57.4	6.9	12.3	1.4	5.1	5.8	25.7	100.0
鳥取県	8	34	1	4	0	1	3	6	51	15.7	66.7	2.0	7.8	0.0	2.0	5.9	11.8	100.0
島根県	11	72	4	9	0	2	3	15	101	10.9	71.3	4.0	8.9	0.0	2.0	3.0	14.9	100.0
岡山県	14	81	20	35	5	9	13	69	177	7.9	45.8	11.3	19.8	2.8	5.1	7.3	39.0	100.0
広島県	7	80	9	14	1	7	3	31	121	5.8	66.1	7.4	11.6	0.8	5.8	2.5	25.6	100.0
山口県	7	66	6	15	1	5	7	27	107	6.5	61.7	5.6	14.0	0.9	4.7	6.5	25.2	100.0
中国地方	47	333	40	77	7	24	29	148	557	8.4	59.8	7.2	13.8	1.3	4.3	5.2	26.6	100.0
徳島県	6	33	2	10	3	8	5	23	67	9.0	49.3	3.0	14.9	4.5	11.9	7.5	34.3	100.0
香川県	11	45	5	6	1	4	3	16	75	14.7	60.0	6.7	8.0	1.3	5.3	4.0	21.3	100.0
愛媛県	10	74	6	13	0	5	2	24	110	9.1	67.3	5.5	11.8	0.0	4.5	1.8	21.8	100.0
高知県	7	51	9	11	1	3	6	24	88	8.0	58.0	10.2	12.5	1.1	3.4	6.8	27.3	100.0
四国地方	34	203	22	40	5	20	16	87	340	10.0	59.7	6.5	11.8	1.5	5.9	4.7	25.6	100.0
福岡県	36	161	9	25	1	7	8	42	247	14.6	65.2	3.6	10.1	0.4	2.8	3.2	17.0	100.0
佐賀県	3	47	5	9	0	2	0	16	66	4.5	71.2	7.6	13.6	0.0	3.0	0.0	24.2	100.0
長崎県	7	53	10	19	1	3	3	33	96	7.3	55.2	10.4	19.8	1.0	3.1	3.1	34.4	100.0
熊本県	16	94	7	32	1	5	5	45	160	10.0	58.8	4.4	20.0	0.6	3.1	3.1	28.1	100.0
大分県	11	34	12	6	0	4	6	22	73	15.1	46.6	16.4	8.2	0.0	5.5	8.2	30.1	100.0
宮崎県	17	73	2	3	1	2	3	8	101	16.8	72.3	2.0	3.0	1.0	2.0	3.0	7.9	100.0
鹿児島県	23	72	12	24	6	8	8	50	153	15.0	47.1	7.8	15.7	3.9	5.2	5.2	32.7	100.0
沖縄県	9	41	14	25	4	3	9	46	105	8.6	39.0	13.3	23.8	3.8	2.9	8.6	43.8	100.0
九州・沖縄地方	122	575	71	143	14	34	42	262	1,001	12.2	57.4	7.1	14.3	1.4	3.4	4.2	26.2	100.0
計	922	4,213	340	695	78	221	237	1,334	6,706	13.7	62.8	5.1	10.4	1.2	3.3	3.5	19.9	100.0